

本資料のうち枠囲みの内容は、
機密事項に属しますので公開
できません。

柏崎刈羽原子力発電所第6号機 設計及び工事計画審査資料	
資料番号	KK6 添-1-056 (比較表) 改1
提出年月日	2023年12月14日

先行審査プラントの記載との比較表

(VI-1-9-1-1 非常用発電装置の出力の決定に関する説明書)

東京電力ホールディングス株式会社

柏崎刈羽原子力発電所第6号機


先行審査プラントの記載との比較表（VI-1-9-1-1 非常用発電装置の出力の決定に関する説明書）

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考
	<p>1. 概要</p> <p>本資料は、「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」（以下「技術基準規則」という。）第45条及び第72条並びにそれらの「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈」（以下「解釈」という。）に基づき設置する非常用ディーゼル発電設備のディーゼル機関及び発電機（以下「非常用ディーゼル発電機」という。）、技術基準規則第72条及びその解釈に基づき設置する第一ガスタービン発電機（6,7号機共用（以下同じ。））及び電源車（6,7号機共用（以下同じ。））、技術基準規則第76条及びその解釈に基づき設置する5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備（6,7号機共用（以下同じ。））、技術基準規則第75条及びその解釈に基づき設置するモニタリングポスト用発電機（6,7号機共用（以下同じ。））並びに技術基準規則第63条、第65条及び第67条並びにそれらの解釈に基づき設置する可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備（6,7号機共用（以下同じ。））の出力の決定に関して説明するものである。</p> <p>また、技術基準規則第48条及び第78条に基づく「発電用火力設備に関する技術基準を定める省令」（以下「火力省令」という。）及び「原子力発電工作物に係る電気設備に関する技術基準を定める命令」（以下「原子力電技命令」という。）の準用について、本資料にて非常用</p>	<p>1. 概要</p> <p>本資料は、「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」（以下「技術基準規則」という。）第45条及び第72条並びにそれらの「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈」（以下「解釈」という。）に基づき設置する非常用ディーゼル発電設備のディーゼル機関及び発電機（以下「非常用ディーゼル発電機」という。）、技術基準規則第72条及びその解釈に基づき設置する第一ガスタービン発電機（7号機設備,6,7号機共用（以下同じ。））及び電源車（7号機設備,6,7号機共用（以下同じ。））、技術基準規則第76条及びその解釈に基づき設置する5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備（7号機設備,6,7号機共用（以下同じ。））、技術基準規則第75条及びその解釈に基づき設置するモニタリングポスト用発電機（7号機設備,6,7号機共用（以下同じ。））並びに技術基準規則第63条、第65条、第67条及び第68条並びにそれらの解釈に基づき設置する可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備（7号機設備,6,7号機共用（以下同じ。））の出力の決定に関して説明するものである。</p> <p>7号機設備,6,7号機共用の設備のうち、5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備、モニタリングポスト用発電機及び可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備の出力の決定に関する説明は、令和2年10月14日付け原規規発第2010147号にて認可された柏崎刈羽原子力発電所第7号機の設計及び工事の計画のV-1-9-1-1「非常用発電装置の出力の決定に関する説明書」による。</p> <p>また、技術基準規則第48条及び第78条に基づく「発電用火力設備に関する技術基準を定める省令」（以下「火力省令」という。）及び「原子力発電工作物に係る電気設備に関する技術基準を定める命令」（以下「原子力電技命令」という。）の準用について、本資料にて非常用</p>	<p>・設工認申請号機の違いによる差異 （第一ガスタービン発電機について、「7号機設備,6,7号機共用」は7号機タービン建屋南側の屋外に設置しており、7号機設工認にて申請済み。 電源車について、「7号機設備,6,7号機共用」は荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所に保管しており、7号機設工認にて申請済み。 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備について、「7号機設備,6,7号機共用」は5号機東側保管場所及び大湊側高台保管場所に保管しており、7号機設工認にて申請済み。 可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備について、「7号機設備,6,7号機共用」は荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所に保管しており、7号機設工認にて申請済み。 モニタリングポスト用発電機について、「7号機設備,6,7号機共用」はモニタリングポスト2周辺エリア、モニタリングポスト5周辺エリア及びモニタリングポスト8周辺エリアに設置しており、7号機設工認にて申請済み。）</p> <p>・法改正に伴う記載の追加による差異</p> <p>・表現上の差異 （6,7号機共用の設備である為、7号機設工認図書の呼び込み（※1））</p>

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
 ■：前回提出時からの変更箇所


本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考
	<p>電源設備のガスタービン及び内燃機関に対する火力省令への適合性、並びに非常用電源設備の発電機、遮断器及びその他電気設備に対する原子力電技命令への適合性について説明するものである。</p>	<p>電源設備のガスタービン及び内燃機関に対する火力省令への適合性、並びに非常用電源設備の発電機、遮断器及びその他電気設備に対する原子力電技命令への適合性について説明するものである。</p> <p>7号機設備, 6,7号機共用の設備の火力省令の適合性及び原子力電技命令の適合に関する説明は, 令和2年10月14日付け原規規発第2010147号にて認可された柏崎刈羽原子力発電所第7号機の設計及び工事の計画のV-1-9-1-1「非常用発電装置の出力の決定に関する説明書」による。</p>	<p>・表現上の差異 (※1と同様)</p>
	<p>更に、技術基準規則第45条第3項第1号及びその解釈に規定する「高エネルギーのアーキ放電による電気盤の損壊の拡大を防止するために必要な措置」(非常用ディーゼル発電機に接続される電気盤に関する措置に係る部分を除く。)として、遮断器の遮断時間の適切な設計方針について説明するものである。</p>	<p>更に、技術基準規則第45条第3項第1号及びその解釈に規定する「高エネルギーのアーキ放電による電気盤の損壊の拡大を防止するために必要な措置」として、アーキ放電の遮断時間の適切な設計方針について説明するものである。</p>	<p>・工事計画の申請範囲の差異 (7号機は「非常用ディーゼル発電機に接続される電気盤以外の電気盤に対する HEAF 対策」と「非常用ディーゼル発電機に接続される電気盤に対する HEAF 対策」で分割申請を行っているが、6号機は一括で申請を行っていることによる違い (※2))</p>
2. 基本方針		2. 基本方針	
2.1 常設の非常用発電装置の出力に関する設計方針		2.1 常設の非常用発電装置の出力に関する設計方針	
<p>設計基準対象施設のうち常設の非常用発電装置である非常用ディーゼル発電機は、設計基準事故時に発電用原子炉施設の安全性を確保するために必要な装置の機能を維持するため、運転時の異常な過渡変化時又は設計基準事故時において工学的安全施設及び設計基準事故に対処するための設備がその機能を確保するために必要な電力を供給できる出力を有する設計とする。また、工学的安全施設等の設備が必要とする電源が所定の時間内に所定の電圧に到達し、継続的に供給できる設計とする。</p>		<p>設計基準対象施設のうち常設の非常用発電装置である非常用ディーゼル発電機は、設計基準事故時に発電用原子炉施設の安全性を確保するために必要な装置の機能を維持するため、運転時の異常な過渡変化時又は設計基準事故時において工学的安全施設及び設計基準事故に対処するための設備がその機能を確保するために必要な電力を供給できる出力を有する設計とする。また、工学的安全施設等の設備が必要とする電源が所定の時間内に所定の電圧に到達し、継続的に供給できる設計とする。</p>	<p>・差異無し</p>

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
：前回提出時からの変更箇所


本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考
	<p>重大事故等対処設備のうち常設の非常用発電装置である非常用ディーゼル発電機及び第一ガスタービン発電機は、重大事故等が発生した場合において、炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、使用済燃料貯蔵プール内の燃料体等の著しい損傷及び運転停止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止するために必要な電力を供給できる出力を有する設計とする。</p>	<p>重大事故等対処設備のうち常設の非常用発電装置である非常用ディーゼル発電機及び第一ガスタービン発電機は、重大事故等が発生した場合において、炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、使用済燃料貯蔵プール内の燃料体等の著しい損傷及び運転停止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止するために必要な電力を供給できる出力を有する設計とする。</p>	<p>・差異無し</p>
	<p>非常用ディーゼル発電機は、3系統の母線で構成する非常用高圧母線に接続し、高圧補機へ給電する設計とする。また、動力変圧器を通して降圧し、3系統の母線で構成する非常用低圧母線の低圧補機へ給電する設計とする。</p>	<p>非常用ディーゼル発電機は、3系統の母線で構成する非常用高圧母線に接続し、高圧補機へ給電する設計とする。また、動力変圧器を通して降圧し、3系統の母線で構成する非常用低圧母線の低圧補機へ給電する設計とする。</p>	<p>・差異無し</p>
	<p>第一ガスタービン発電機は、外部電源系及び非常用ディーゼル発電設備の機能が喪失（全交流動力電源喪失）した場合に、重大事故等時の対応に必要な設備に電力を供給できる設計とする。</p>	<p>第一ガスタービン発電機は、外部電源系及び非常用ディーゼル発電設備の機能が喪失（全交流動力電源喪失）した場合に、重大事故等時の対応に必要な設備に電力を供給できる設計とする。</p>	<p>・差異無し</p>
	<p>第一ガスタービン発電機は、設置（変更）許可申請書の添付書類十における、重大事故等時に想定される事故シーケンスのうち最大負荷となる「崩壊熱除去機能喪失（取水機能が喪失した場合）」時に電力を供給できる出力を有する設計とする。</p>	<p>第一ガスタービン発電機は、設置（変更）許可申請書の添付書類十における、重大事故等時に想定される事故シーケンスのうち最大負荷となる「崩壊熱除去機能喪失（取水機能が喪失した場合）」時に電力を供給できる出力を有する設計とする。</p>	<p>・差異無し</p>

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
：前回提出時からの変更箇所


本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考
	<p><u>モニタリングポスト用発電機は、専用の負荷に電力を供給できる出力を有する設計とする。</u></p>		<p>・表現上の差異（※1と同様）</p>
	<p>設計基準対象施設及び重大事故等対処施設に施設する非常用発電装置である非常用ディーゼル発電機<u>並びに重大事故等対処施設に施設する非常用発電装置である第一ガスタービン発電機及びモニタリングポスト用発電機（ガスタービン及び内燃機関については、燃料系を含める。）</u>は、火力省令第19～23条、第25～29条のうち関連する事項を準用する設計とする。<u>ガスタービン及び附属設備は、「ガスタービン等の構造」、「調速装置」、「非常停止装置」及び「計測装置」について各事項を準用し、</u>内燃機関及び附属設備は、「内燃機関等の構造等」、「調速装置」、「非常停止装置」、「過圧防止装置」及び「計測装置」について各事項を準用する設計とする。</p>	<p>設計基準対象施設及び重大事故等対処施設に施設する非常用発電装置である非常用ディーゼル発電機は、火力省令第25～29条のうち関連する事項を準用する設計とする。内燃機関及び附属設備は、「内燃機関等の構造等」、「調速装置」、「非常停止装置」、「過圧防止装置」及び「計測装置」について各事項を準用する設計とする。</p>	<p>・表現上の差異（※1と同様）</p>
	<p>なお、<u>ガスタービン及び内燃機関</u>における火力省令第19条第4項又は第25条第3項に基づく強度評価の基本方針、強度評価方法及び強度評価結果は、<u>V-3</u>「強度に関する説明書」の別添にて説明する。</p>	<p>なお、内燃機関における火力省令第25条第3項に基づく強度評価の基本方針、強度評価方法及び強度評価結果は、<u>VI-3</u>「強度に関する説明書」の別添にて説明する。</p>	<p>・表現上の差異（※1と同様）</p> <p>・設工認申請号機の違いによる差異</p>
	<p>非常用ディーゼル発電機、<u>第一ガスタービン発電機、モニタリングポスト用発電機、</u>遮断器及びその他電気設備は、原子力電技令第4～16条、第19～28条、第30～35条の関連する事項を準用する設計とする。「感電、火災等の防止」として、「電気設備における感電、火災等の防止」、「電路の絶縁」、「電線等の断線の防止」、「電線の接続」、「電気機械器具の熱的強度」、「高圧又は特別高圧の電気機械器具の危険の防止」、「電気設備の接地」、「電気設備の接地の方法」及び「発電所等への取扱者以外の者の立入の防止」について各事項を準用する設計とする。「異常の予防及び保護対策」として、「特別高圧電路等と結合する変圧器等の火災等の防止」及び「過電流からの電線及び電気機械器具の保護対策」について各事項を準用する設計とする。「電氣的、磁氣的障害の防止」</p>	<p>非常用ディーゼル発電機、遮断器及びその他電気設備は、原子力電技令第4～16条、第19～28条、第30～35条の関連する事項を準用する設計とする。「感電、火災等の防止」として、「電気設備における感電、火災等の防止」、「電路の絶縁」、「電線等の断線の防止」、「電線の接続」、「電気機械器具の熱的強度」、「高圧又は特別高圧の電気機械器具の危険の防止」、「電気設備の接地」、「電気設備の接地の方法」及び「発電所等への取扱者以外の者の立入の防止」について各事項を準用する設計とする。「異常の予防及び保護対策」として、「特別高圧電路等と結合する変圧器等の火災等の防止」及び「過電流からの電線及び電気機械器具の保護対策」について各事項を準用する設計とする。「電氣的、磁氣的障害の防止」</p>	<p>・表現上の差異（※1と同様）</p>

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
：前回提出時からの変更箇所


本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考
	<p>として、「電気設備の電氣的、磁氣的障害の防止」について各事項を準用する設計とする。また、「供給支障の防止」として、「発電設備等の損傷による供給支障の防止」、「発電機等の機械的強度」及び「常時監視をしない発電所等の施設」について各事項を準用する設計とする。</p>	<p>いて各事項を準用する設計とする。また、「供給支障の防止」として、「発電設備等の損傷による供給支障の防止」、「発電機等の機械的強度」及び「常時監視をしない発電所等の施設」について各事項を準用する設計とする。</p>	
	<p><u>2.1.1 ガスタービン</u></p>		
	<p><u>ガスタービンは、火力省令を準用し、以下の設計とする。</u></p>		<p>・表現上の差異（※1と同様）</p>
	<p><u>(1) ガスタービン等の構造</u></p>		
	<p><u>ガスタービンは、非常調速装置が作動したときに達する回転速度に対して構造上十分な機械的強度及びガスの温度が著しく上昇した場合に燃料の流入を自動的に遮断する装置が作動したときに達するタービン入口ガス温度高トリップ作動温度における十分な熱的強度を有する設計とする。軸受は、車軸の両側に設けた転がり軸受により運転中の荷重を安定に支持できるものであって、かつ、異常な摩耗、変形及び過熱が生じない設計とする。調速装置により調節することができる最低速度から過速度トリップが作動したときに達する最高速度までの間に被動機全体の危険速度がない設計とする。耐圧部分の構造は、最高使用圧力又は最高使用温度において発生する応力に対し十分な強度を有した設計とする。</u></p>		<p>・表現上の差異（※1と同様）</p>
	<p><u>(2) 調速装置</u></p>		
	<p><u>回転速度及び出力が負荷の変動の際にも持続的に動揺することを防止するため、ガスタービンに流入する燃料を自動的に調整する調速装置を設ける設計とする。</u></p>		<p>・表現上の差異（※1と同様）</p>
	<p><u>(3) 非常停止装置</u></p>		
	<p><u>運転中に生じた過回転その他の異常による危害の発生を防止するため、その異常が発生した場合にガスター</u></p>		<p>・表現上の差異（※1と同様）</p>

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
：前回提出時からの変更箇所


本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考
	<u>ビンに流入する燃料を自動的かつ速やかに遮断する非常調速装置その他非常停止装置を設ける設計とする。</u>		
	(4) 計測装置		
	<u>設備の損傷を防止するため、回転速度、潤滑油圧力、潤滑油温度等の運転状態を計測する装置を設ける設計とする。</u>		・表現上の差異（※1と同様）
	2.1.2 内燃機関	2.1.1 内燃機関	
	内燃機関は、火力省令を準用し、以下の設計とする。	内燃機関は、火力省令を準用し、以下の設計とする。	・差異無し
	(1) 内燃機関等の構造等	(1) 内燃機関等の構造等	
	非常調速装置が作動したときに達する回転速度に対して構造上十分な機械的強度を有する設計とする。軸受は、運転中の荷重を安定に支持できるもので、かつ、異常な摩耗、変形及び過熱が生じない設計とする。耐圧部分は、最高使用圧力又は最高使用温度において発生する応力に対し十分な強度を有した設計とする。また、非常用ディーゼル発電機は屋内に設置する設計とするため、酸素欠乏の発生のおそれのないように、建屋に吸排気部を設置する設計とする。	非常調速装置が作動したときに達する回転速度に対して構造上十分な機械的強度を有する設計とする。軸受は、運転中の荷重を安定に支持できるもので、かつ、異常な摩耗、変形及び過熱が生じない設計とする。耐圧部分は、最高使用圧力又は最高使用温度において発生する応力に対し十分な強度を有した設計とする。また、非常用ディーゼル発電機は屋内に設置する設計とするため、酸素欠乏の発生のおそれのないように、建屋に吸排気部を設置する設計とする。	・差異無し
	(2) 調速装置	(2) 調速装置	
	回転速度及び出力が負荷の変動の際にも持続的に動揺することを防止するため、内燃機関に流入する燃料を自動的に調整する調速装置を設ける設計とする。	回転速度及び出力が負荷の変動の際にも持続的に動揺することを防止するため、内燃機関に流入する燃料を自動的に調整する調速装置を設ける設計とする。	・差異無し
	(3) 非常停止装置	(3) 非常停止装置	
	運転中に生じた過回転その他の異常による危害の発	運転中に生じた過回転その他の異常による危害の発	・差異無し

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
：前回提出時からの変更箇所


本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考
	生を防止するため、その異常が発生した場合に内燃機関に流入する燃料を自動的かつ速やかに遮断する非常调速装置その他の非常停止装置を設ける設計とする。	生を防止するため、その異常が発生した場合に内燃機関に流入する燃料を自動的かつ速やかに遮断する非常调速装置その他の非常停止装置を設ける設計とする。	
	(4) 過圧防止措置 非常用ディーゼル発電機は、過圧が生じるおそれがあるシリンダ内の圧力を逃すためにシリンダ安全弁を設ける設計とする。	(4) 過圧防止措置 非常用ディーゼル発電機は、過圧が生じるおそれがあるシリンダ内の圧力を逃すためにシリンダ安全弁を設ける設計とする。	・差異無し
	(5) 計測装置 設備の損傷を防止するため、回転速度、潤滑油圧力、潤滑油温度等の運転状態を計測する装置を設ける設計とする。	(5) 計測装置 設備の損傷を防止するため、回転速度、潤滑油圧力、潤滑油温度等の運転状態を計測する装置を設ける設計とする。	・差異無し
2.1.3 発電機		2.1.2 発電機	
	発電機は、原子力電技命令を準用し、以下の設計とする。	発電機は、原子力電技命令を準用し、以下の設計とする。	・差異無し
(1) 感電、火災等の防止 感電防止のため接地し、また、充電部分に容易に接触できない設計とする。電路は大地から絶縁する設計とし、絶縁抵抗測定等により異常のないことを確認する。電線の接続箇所は、端子台等により接続することで電気抵抗を増加させないとともに、絶縁性能の低下及び通常の使用状態において断線のおそれがない設計とする。 <u>電気機械器具は、「日本電気技術規格委員会規格 J E S C E 7 0 0 2」(以下「J E S C E 7 0 0 2」という。)等に基づき、通常の使用状態において発生する熱に耐える設計とする。</u> 火災防止のため、高圧の電気機械器具は金属製の筐体に格納することで可燃性のものと隔離し、外箱等は接地を施す設計とする。電気設備は、適切な接地工事を施す設計とする。取扱者以外の者の立入を防止するため、発電所には人が容易に構内に立ち入るおそれ	(1) 感電、火災等の防止 感電防止のため接地し、また、充電部分に容易に接触できない設計とする。電路は大地から絶縁する設計とし、絶縁抵抗測定等により異常のないことを確認する。電線の接続箇所は、端子台等により接続することで電気抵抗を増加させないとともに、絶縁性能の低下及び通常の使用状態において断線のおそれがない設計とする火災防止のため、高圧の電気機械器具は金属製の筐体に格納することで可燃性のものと隔離し、外箱等は接地を施す設計とする。電気設備は、適切な接地工事を施す設計とする。取扱者以外の者の立入を防止するため、発電所には人が容易に構内に立ち入るおそれ	(1) 感電、火災等の防止 感電防止のため接地し、また、充電部分に容易に接触できない設計とする。電路は大地から絶縁する設計とし、絶縁抵抗測定等により異常のないことを確認する。電線の接続箇所は、端子台等により接続することで電気抵抗を増加させないとともに、絶縁性能の低下及び通常の使用状態において断線のおそれがない設計とする火災防止のため、高圧の電気機械器具は金属製の筐体に格納することで可燃性のものと隔離し、外箱等は接地を施す設計とする。電気設備は、適切な接地工事を施す設計とする。取扱者以外の者の立入を防止するため、発電所には人が容易に構内に立ち入るおそれ	・差異無し ・記載の適正化による差異 (原子力電技命令第8条に記載の電気機械器具は遮断器や変成器等(発電機を除く)である。 6号機申請において、電気機械器具を含むパッケージ品である第一ガスタービン発電機は6,7号機共用設備であり対象外。 なお、非常用ディーゼル発電機については発電機本体を対象としており、原子力電技命令第8条の対象外である。)

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
：前回提出時からの変更箇所


本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考
	がないようフェンス等を設ける設計とする。		
	(2) 異常の予防及び保護対策	(2) 異常の予防及び保護対策	
	異常の予防及び保護対策のため、過電流を過電流継電器にて検出し、遮断器を開放する設計とする。	異常の予防及び保護対策のため、過電流を過電流継電器にて検出し、遮断器を開放する設計とする。	・差異無し
	(3) 電氣的、磁氣的障害の防止	(3) 電氣的、磁氣的障害の防止	
	発電機は、閉鎖構造（金属製の筐体）及び接地の実施により、電気設備その他の物件の機能に電氣的又は磁氣的な障害を与えない設計とする。	発電機は、閉鎖構造（金属製の筐体）及び接地の実施により、電気設備その他の物件の機能に電氣的又は磁氣的な障害を与えない設計とする。	・差異無し
	(4) 供給支障の防止	(4) 供給支障の防止	
	発変電設備等の損傷による供給支障の防止のため、過電流等を生じた場合、保護継電器にて検知し、遮断器を開放して自動的に発電機を電路から遮断する設計とする。発電機は、短絡電流及び非常調速装置が動作して達する回転速度に対して、十分な機械的強度を有する設計とし、三相短絡試験等により異常のないことを確認する。発電所構内には、発電機の運転に必要な知識及び技能を有する者が常時駐在することにより、常時監視しない発電所は施設しない設計とする。	発変電設備等の損傷による供給支障の防止のため、過電流等を生じた場合、保護継電器にて検知し、遮断器を開放して自動的に発電機を電路から遮断する設計とする。発電機は、短絡電流及び非常調速装置が動作して達する回転速度に対して、十分な機械的強度を有する設計とし、三相短絡試験等により異常のないことを確認する。発電所構内には、発電機の運転に必要な知識及び技能を有する者が常時駐在することにより、常時監視しない発電所は施設しない設計とする。	・差異無し
	2.1.4 遮断器	2.1.3 遮断器	
	遮断器は、原子力電技命令を準用し、以下の設計とする。	遮断器は、原子力電技命令を準用し、以下の設計とする。	・差異無し
	(1) 感電、火災等の防止	(1) 感電、火災等の防止	
	遮断器は、感電防止のため接地し、また、充電部分に容易に接触できない設計とする。電路は大地から絶縁する設計とし、絶縁抵抗測定等により異常のないことを確認する。電線の接続箇所は、端子台等により接続することで電気抵抗を増加させないとともに、絶縁性能の低下及び通常の使用状態において断線のおそれがない設計	遮断器は、感電防止のため接地し、また、充電部分に容易に接触できない設計とする。電路は大地から絶縁する設計とし、絶縁抵抗測定等により異常のないことを確認する。電線の接続箇所は、端子台等により接続することで電気抵抗を増加させないとともに、絶縁性能の低下及び通常の使用状態において断線のおそれがない設計	・差異無し

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
：前回提出時からの変更箇所


本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考
	<p>とする。遮断器は、JESC E7002等に基づき、通常の使用状態において発生する熱に耐える設計とし、火災発生防止のため、閉鎖された金属製の外箱に収納し、隔離する設計とする。遮断器は適切な接地を施し、鉄台及び金属製の外箱には、A種接地工事（高圧設備）、C種又はD種接地工事（低圧設備）を施す設計とする。取扱者以外の者の立入を防止するため、発電所には人が容易に構内に立ち入るおそれがないようフェンス等を設ける設計とする。</p>	<p>とする。遮断器は、「日本電気技術規格委員会規格 JESC E7002」等に基づき、通常の使用状態において発生する熱に耐える設計とし、火災発生防止のため、閉鎖された金属製の外箱に収納し、隔離する設計とする。遮断器は適切な接地を施し、鉄台及び金属製の外箱には、A種接地工事（高圧設備）、C種又はD種接地工事（低圧設備）を施す設計とする。取扱者以外の者の立入を防止するため、発電所には人が容易に構内に立ち入るおそれがないようフェンス等を設ける設計とする。</p>	<p>・表現上の差異 (7号機では「2.1.3 発電機 (1)感電, 火災等の防止」にて正式名称を記載。)</p>
	<p>(2) 異常の予防及び保護対策</p> <p>異常の予防及び保護対策のため、過電流遮断器は、施設する箇所を通過する短絡電流を遮断する能力を有し、高圧電路に施設する過電流遮断器はその作動に伴いその開閉状態を表示する装置を有する設計とする。</p>	<p>(2) 異常の予防及び保護対策</p> <p>異常の予防及び保護対策のため、過電流遮断器は、施設する箇所を通過する短絡電流を遮断する能力を有し、高圧電路に施設する過電流遮断器はその作動に伴いその開閉状態を表示する装置を有する設計とする。</p>	<p>・差異無し</p>
	<p>重要安全施設への電力供給に係る電気盤及び当該電気盤に影響を与えるおそれのある電気盤（安全施設（重要安全施設を除く。）への電力供給に係るものに限る。）のうち非常用ディーゼル発電機に接続される電気盤以外の電気盤（以下「HEAF対策対象盤」という。）については、適切な遮断時間にてアーク放電が発生した遮断器の上流の遮断器を開放し、アーク放電の継続を防止することでアーク火災を防止し、電気盤の損壊の拡大を防止することができる設計とする。HEAF対策対象盤を表2-1に示す。</p>	<p>重要安全施設への電力供給に係る電気盤及び当該電気盤に影響を与えるおそれのある電気盤（安全施設（重要安全施設を除く。）への電力供給に係るものに限る。）（以下「HEAF対策対象盤」という。）については、非常用ディーゼル発電機からの給電時以外は、適切な遮断時間にてアーク放電が発生した遮断器の上流の遮断器を開放し、アーク放電の継続を防止することでアーク火災を防止し、電気盤の損壊の拡大を防止することができる設計とする。</p>	<p>・工事計画の申請範囲の差異（※2と同様）</p>
	<p>非常用ディーゼル発電機からの給電時におけるメタルクラッド開閉装置のアーク火災防止対策については、アーク放電時の短絡電流を 51保護リレーで検出し、非常用ディーゼル発電機受電遮断器の開放又は非常用ディーゼル発電機の停止によりアーク放電を遮断する設計とするため、次式によって求められるアークエネルギーがアーク火災発生の閾値を超えないように 51保護リ</p>	<p>非常用ディーゼル発電機からの給電時におけるメタルクラッド開閉装置 (以下「M/C」という。) のアーク火災防止対策については、アーク放電時の短絡電流を検出し、非常用ディーゼル発電機受電遮断器の開放又は非常用ディーゼル発電機の停止によりアーク放電を遮断する設計とする。HEAF対策対象盤を表2-1に示す。</p>	<p>※比較表の7号機の記載は分割申請を行った「非常用ディーゼル発電機に接続される電気盤に対する HEAF 対策」の内容。</p> <p>・記載の適正化による差異</p> <p>・工事計画の申請範囲の差異（※2と同様）</p>

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
：前回提出時からの変更箇所


本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考
	<p><u>レーの動作時間を適切に設定することとし、51 保護リレーの動作設定域等を考慮した電流供給停止時間の最大値による各アークエネルギー評価結果を表 2-1 に示す。</u></p> <p><u>実機における 51 保護リレーの動作時間の設定にあたっては、電流供給停止時間を表 2-1 の値以下とし、かつ、他の保護リレーと協調を図った上で、アーク放電時の短絡電流の供給時間を可能な限り短くするよう設定する。</u></p>		
	<p>HEAF 対策対象盤の適切な遮断時間の設計にあたっては、HEAF 対策対象盤は、「高エネルギーアーク損傷(HEAF)に係る電気盤の設計に関する審査ガイド」を踏まえ、アーク放電を発生させる試験、アーク火災発生の評価を実施し、高エネルギーアーク損傷に係る対策の判断基準としてアーク火災が発生しないアークエネルギーの閾値 <u>(メタルクラッド開閉装置(以下「M/C」という。))は25MJ、</u> パワーセンタ (以下「P/C」という。)は18MJ、モータコントロールセンタ (以下「MCC」という。)は4.4MJを設定する。</p>	<p>HEAF 対策対象盤の適切な遮断時間の設計にあたっては、HEAF 対策対象盤は、「高エネルギーアーク損傷(HEAF)に係る電気盤の設計に関する審査ガイド」を踏まえ、アーク放電を発生させる試験、アーク火災発生の評価を実施し、高エネルギーアーク損傷に係る対策の判断基準としてアーク火災が発生しないアークエネルギーの閾値 <u>は、M/Cは25MJ (非常用ディーゼル発電機からの給電時は16MJ)、</u> パワーセンタ (以下「P/C」という。)は18MJ、モータコントロールセンタ(以下「MCC」という。)は4.4MJを設定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表現上の差異 (6号機ではメタルクラッド開閉装置について「M/C」と略称を使用する旨の記載を前述している。) ・工事計画の申請範囲の差異 (※2と同様)
	<p>発生するアークエネルギーは、次式により求め、各遮断器の遮断時間を表 2-2 に示す。</p>	<p>発生するアークエネルギーは、次式により求め、<u>非常用ディーゼル発電機からの給電時以外のアーク放電の遮断時間、非常用ディーゼル発電機からの給電時のアーク放電の遮断時間</u>を表 2-2 に示す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・工事計画の申請範囲の差異 (※2と同様)
<p>$E_{3\phi} = V_{arc} \times I_{arc} \times t_{arc}$</p> <p>$E_{3\phi}$: 三相のアークエネルギー</p> <p>V_{arc} : アーク電圧の平均値</p> <p>I_{arc} : 三相短絡電流の平均値</p> <p>t_{arc} : アーク発生時の<u>遮断器</u>の遮断時間</p>		<p>$E_{3\phi} = V_{arc} \times I_{arc} \times t_{arc}$</p> <p>$E_{3\phi}$: 三相のアークエネルギー</p> <p>V_{arc} : アーク電圧の平均値</p> <p>I_{arc} : 三相短絡電流の平均値</p> <p>t_{arc} : アーク発生時の<u>アーク放電</u>の遮断時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・工事計画の申請範囲の差異 (※2と同様)

青字 : 柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
 : 前回提出時からの変更箇所


本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考
	<p>図2-1に示した各母線に接続されるすべての遮断器（非常用ディーゼル発電機に係る部分を除く。）をアーク放電発生箇所とし、各アーク放電発生箇所の上流の遮断器を開放することによりアーク放電を遮断する。</p>	<p><u>非常用ディーゼル発電機からの給電時以外は、各母線に接続されるすべての遮断器</u>をアーク放電発生箇所とし、各アーク放電発生箇所の上流の遮断器を開放することによりアーク放電を遮断する。<u>また、非常用ディーゼル発電機からの給電時は、非常用ディーゼル発電機受電遮断器の開放又は非常用ディーゼル発電機を停止することによりアーク放電を遮断する。（図2-1参照）</u></p>	<p>・工事計画の申請範囲の差異（※2と同様）</p>
	(3) 電氣的, 磁氣的障害の防止	(3) 電氣的, 磁氣的障害の防止	
	<p>遮断器は、閉鎖構造（金属製の管体）及び接地の実施により、電氣的又は磁氣的な障害を与えない設計とする。</p>	<p>遮断器は、閉鎖構造（金属製の管体）及び接地の実施により、電氣的又は磁氣的な障害を与えない設計とする。</p>	<p>・差異無し</p>
	(4) 供給支障の防止	(4) 供給支障の防止	
	<p>発電設備等の損傷による供給支障の防止のため、過電流等を生じた場合、保護継電器にて検知し、遮断器を開放して自動的に発電機を電路から遮断する設計とする。発電所構内には、遮断器の運転に必要な知識及び技能を有する者が常時駐在することにより、常時監視しない発電所は施設しない設計とする。</p>	<p>発電設備等の損傷による供給支障の防止のため、過電流等を生じた場合、保護継電器にて検知し、遮断器を開放して自動的に発電機を電路から遮断する設計とする。発電所構内には、遮断器の運転に必要な知識及び技能を有する者が常時駐在することにより、常時監視しない発電所は施設しない設計とする。</p>	<p>・差異無し</p>
	2.1.5 その他電気設備	2.1.4 その他電気設備	
	<p>その他の非常用電源設備は、原子力電技命令を準用し、以下の設計とする。</p>	<p>その他の非常用電源設備は、原子力電技命令を準用し、以下の設計とする。</p>	<p>・差異無し</p>
	(1) 感電, 火災等の防止	(1) 感電, 火災等の防止	
	<p>電気設備は、感電の防止のため接地し、また、外箱やカバー等により充電部分に容易に接触できない設計と</p>	<p>電気設備は、感電の防止のため接地し、また、外箱やカバー等により充電部分に容易に接触できない設計と</p>	<p>・差異無し</p>

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
：前回提出時からの変更箇所

本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考
	<p>する。回路は大地から絶縁する設計とし、絶縁抵抗測定等により異常のないことを確認する。電線の接続箇所については、接続板、接続用ボルト・ナット等により接続することで電気抵抗を増加させないとともに、絶縁性能の低下及び通常の使用状態において断線のおそれがない設計とする。電気設備は、熱的強度について期待される使用状態において発生する熱に耐える設計とする。火災防止のため、可燃性の物から離して施設する設計とする。必要箇所には、異常時の電圧上昇等による影響を及ぼさないよう適切な接地を施す設計とする。取扱者以外の者の立入を防止するため、発電所には人が容易に構内に立ち入るおそれがないようフェンス等を設ける設計とする。</p>	<p>する。回路は大地から絶縁する設計とし、絶縁抵抗測定等により異常のないことを確認する。電線の接続箇所については、接続板、接続用ボルト・ナット等により接続することで電気抵抗を増加させないとともに、絶縁性能の低下及び通常の使用状態において断線のおそれがない設計とする。電気設備は、熱的強度について期待される使用状態において発生する熱に耐える設計とする。火災防止のため、可燃性の物から離して施設する設計とする。必要箇所には、異常時の電圧上昇等による影響を及ぼさないよう適切な接地を施す設計とする。取扱者以外の者の立入を防止するため、発電所には人が容易に構内に立ち入るおそれがないようフェンス等を設ける設計とする。</p>	
(2) 異常の予防及び保護対策	<p>高圧電路と結合する変圧器は、電気設備の損傷、感電又は火災のおそれがないよう、適切な接地を施す設計とする。過電流からの電線及び電気機械器具の保護対策のため、電気設備には、過電流を検知できるよう保護継電器、過電流検知器及び配線用遮断器を設置し、過電流を検知した場合は、遮断器を開放する設計とする。</p>	<p>高圧電路と結合する変圧器は、電気設備の損傷、感電又は火災のおそれがないよう、適切な接地を施す設計とする。過電流からの電線及び電気機械器具の保護対策のため、電気設備には、過電流を検知できるよう保護継電器、過電流検知器及び配線用遮断器を設置し、過電流を検知した場合は、遮断器を開放する設計とする。</p>	<p>・差異無し</p>
(3) 電氣的、磁氣的障害の防止	<p>閉鎖構造（金属製の筐体）及び接地の実施により、電気設備その他の物件の機能に電氣的又は磁氣的な障害を与えない設計とする。</p>	<p>閉鎖構造（金属製の筐体）及び接地の実施により、電気設備その他の物件の機能に電氣的又は磁氣的な障害を与えない設計とする。</p>	<p>・差異無し</p>
(4) 供給支障の防止	<p>変圧器、母線及びそれを支持する碍子は、短絡電流により生ずる機械的衝撃に耐える設計とする。発電所構内には、電気設備の運転に必要な知識及び技能を有する者が常時駐在することにより、常時監視しない発電所は施設しない設計とする。</p>	<p>変圧器、母線及びそれを支持する碍子は、短絡電流により生ずる機械的衝撃に耐える設計とする。発電所構内には、電気設備の運転に必要な知識及び技能を有する者が常時駐在することにより、常時監視しない発電所は施設しない設計とする。</p>	<p>・差異無し</p>

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
：前回提出時からの変更箇所

本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考																																																																																																			
	<p style="text-align: center;"><u>表2-1 HEAF対策対象盤</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>常時使用される電気盤*1</th> <th>①：重要安全施設 (MS-1) への電力供給に係る電気盤</th> <th>②：①の電気盤の周囲2.5m以内に設置されている電気盤*2</th> <th>HEAF対策対象盤</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常用高圧母線 (M/C7C, M/C7D, M/C7E)</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>非常用低圧母線 (パワーセンタ)</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>(P/C7C-1, P/C7C-2, P/C7D-1, P/C7D-2, M/C7E-1, P/C7E-2)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用低圧母線 (モータコントロールセンタ)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(MCC7C-1-1, MCC7C-1-2, MCC7C-1-3, MCC7C-1-4, MCC7C-1-6, MCC7C-1-7, MCC7C-2-1, MCC7D-1-1, MCC7D-1-2, MCC7D-1-3, MCC7D-1-4, MCC7D-1-6, MCC7D-1-7, MCC7D-2-1, MCC7E-1-1A, MCC7E-1-1B, MCC7E-1-2, MCC7E-1-3, MCC7E-2-1)</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>非常用低圧母線 (モータコントロールセンタ)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(MCC7C-1-5, MCC7D-1-5)</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>常用高圧母線, 常用低圧母線</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>共用高圧母線, 共用低圧母線</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>AM用 MCC</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記*1：電線路, 主発電機又は非常用電源設備から電気が供給されている電気盤をいう。 *2：「高エネルギーアーク損傷 (HEAF) に係る電気盤の設計に関する審査ガイド」による。</p>	常時使用される電気盤*1	①：重要安全施設 (MS-1) への電力供給に係る電気盤	②：①の電気盤の周囲2.5m以内に設置されている電気盤*2	HEAF対策対象盤	非常用高圧母線 (M/C7C, M/C7D, M/C7E)	○		○	非常用低圧母線 (パワーセンタ)	○		○	(P/C7C-1, P/C7C-2, P/C7D-1, P/C7D-2, M/C7E-1, P/C7E-2)				非常用低圧母線 (モータコントロールセンタ)				(MCC7C-1-1, MCC7C-1-2, MCC7C-1-3, MCC7C-1-4, MCC7C-1-6, MCC7C-1-7, MCC7C-2-1, MCC7D-1-1, MCC7D-1-2, MCC7D-1-3, MCC7D-1-4, MCC7D-1-6, MCC7D-1-7, MCC7D-2-1, MCC7E-1-1A, MCC7E-1-1B, MCC7E-1-2, MCC7E-1-3, MCC7E-2-1)	×	×	×	非常用低圧母線 (モータコントロールセンタ)				(MCC7C-1-5, MCC7D-1-5)	×	×	×	常用高圧母線, 常用低圧母線	×	×	×	共用高圧母線, 共用低圧母線	×	×	×	AM用 MCC	×	×	×	<p style="text-align: center;"><u>表2-1 HEAF対策対象盤</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>柏崎刈羽原子力発電所第6号機 電気盤</th> <th>①：常時接続される電気盤か*1</th> <th>②：重要安全施設 (MS-1) への電力供給に係る電気盤か</th> <th>③：重要安全施設 (MS-1) への電力供給に係る電気盤の周囲2.5m以内に設置されている電気盤か*2</th> <th>HEAF対策が必要な電気盤</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常用高圧母線 (M/C6C, M/C6D, M/C6E)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>非常用低圧母線 (パワーセンタ)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>(P/C6C-1, P/C6C-2, P/C6D-1, P/C6D-2, P/C6E-1, P/C6E-2)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用低圧母線 (モータコントロールセンタ)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(MCC6C-1-1, MCC6C-1-2, MCC6C-1-3, MCC6C-1-4, MCC6C-1-5, MCC6C-1-7, MCC6C-1-8, MCC6C-2-1, MCC6D-1-1, MCC6D-1-2, MCC6D-1-3, MCC6D-1-4, MCC6D-1-5, MCC6D-1-7, MCC6D-1-8, MCC6D-2-1, MCC6E-1-1, MCC6E-1-2, MCC6E-1-3, MCC6E-1-4, MCC6E-2-1)</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>非常用低圧母線 (モータコントロールセンタ)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(MCC6C-1-6, MCC6D-1-6)</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>常用高圧母線, 常用低圧母線</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>共用高圧母線, 共用低圧母線</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>AM用 MCC</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記*1：電線路, 主発電機又は非常用電源設備から電気が供給されている「電気盤」をいう。 *2：「高エネルギーアーク損傷 (HEAF) に係る電気盤の設計に関する審査ガイド」による。</p> <p>【凡例】○：対象 ×：対象外</p>	柏崎刈羽原子力発電所第6号機 電気盤	①：常時接続される電気盤か*1	②：重要安全施設 (MS-1) への電力供給に係る電気盤か	③：重要安全施設 (MS-1) への電力供給に係る電気盤の周囲2.5m以内に設置されている電気盤か*2	HEAF対策が必要な電気盤	非常用高圧母線 (M/C6C, M/C6D, M/C6E)	○	○		○	非常用低圧母線 (パワーセンタ)	○	○		○	(P/C6C-1, P/C6C-2, P/C6D-1, P/C6D-2, P/C6E-1, P/C6E-2)					非常用低圧母線 (モータコントロールセンタ)					(MCC6C-1-1, MCC6C-1-2, MCC6C-1-3, MCC6C-1-4, MCC6C-1-5, MCC6C-1-7, MCC6C-1-8, MCC6C-2-1, MCC6D-1-1, MCC6D-1-2, MCC6D-1-3, MCC6D-1-4, MCC6D-1-5, MCC6D-1-7, MCC6D-1-8, MCC6D-2-1, MCC6E-1-1, MCC6E-1-2, MCC6E-1-3, MCC6E-1-4, MCC6E-2-1)	○			○	非常用低圧母線 (モータコントロールセンタ)					(MCC6C-1-6, MCC6D-1-6)	○	×	×	×	常用高圧母線, 常用低圧母線	○	×	×	×	共用高圧母線, 共用低圧母線	○	×	×	×	AM用 MCC	○	×	×	×	<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> 設備構成の差異 表現上の差異 <p>(KK6 補足-012-6「高エネルギーアーク損傷 (HEAF) 対策に係る電気盤の設計について」の「図3-1 HEAF対策が必要な電気盤フロー図」と記載を統一。)</p>
常時使用される電気盤*1	①：重要安全施設 (MS-1) への電力供給に係る電気盤	②：①の電気盤の周囲2.5m以内に設置されている電気盤*2	HEAF対策対象盤																																																																																																			
非常用高圧母線 (M/C7C, M/C7D, M/C7E)	○		○																																																																																																			
非常用低圧母線 (パワーセンタ)	○		○																																																																																																			
(P/C7C-1, P/C7C-2, P/C7D-1, P/C7D-2, M/C7E-1, P/C7E-2)																																																																																																						
非常用低圧母線 (モータコントロールセンタ)																																																																																																						
(MCC7C-1-1, MCC7C-1-2, MCC7C-1-3, MCC7C-1-4, MCC7C-1-6, MCC7C-1-7, MCC7C-2-1, MCC7D-1-1, MCC7D-1-2, MCC7D-1-3, MCC7D-1-4, MCC7D-1-6, MCC7D-1-7, MCC7D-2-1, MCC7E-1-1A, MCC7E-1-1B, MCC7E-1-2, MCC7E-1-3, MCC7E-2-1)	×	×	×																																																																																																			
非常用低圧母線 (モータコントロールセンタ)																																																																																																						
(MCC7C-1-5, MCC7D-1-5)	×	×	×																																																																																																			
常用高圧母線, 常用低圧母線	×	×	×																																																																																																			
共用高圧母線, 共用低圧母線	×	×	×																																																																																																			
AM用 MCC	×	×	×																																																																																																			
柏崎刈羽原子力発電所第6号機 電気盤	①：常時接続される電気盤か*1	②：重要安全施設 (MS-1) への電力供給に係る電気盤か	③：重要安全施設 (MS-1) への電力供給に係る電気盤の周囲2.5m以内に設置されている電気盤か*2	HEAF対策が必要な電気盤																																																																																																		
非常用高圧母線 (M/C6C, M/C6D, M/C6E)	○	○		○																																																																																																		
非常用低圧母線 (パワーセンタ)	○	○		○																																																																																																		
(P/C6C-1, P/C6C-2, P/C6D-1, P/C6D-2, P/C6E-1, P/C6E-2)																																																																																																						
非常用低圧母線 (モータコントロールセンタ)																																																																																																						
(MCC6C-1-1, MCC6C-1-2, MCC6C-1-3, MCC6C-1-4, MCC6C-1-5, MCC6C-1-7, MCC6C-1-8, MCC6C-2-1, MCC6D-1-1, MCC6D-1-2, MCC6D-1-3, MCC6D-1-4, MCC6D-1-5, MCC6D-1-7, MCC6D-1-8, MCC6D-2-1, MCC6E-1-1, MCC6E-1-2, MCC6E-1-3, MCC6E-1-4, MCC6E-2-1)	○			○																																																																																																		
非常用低圧母線 (モータコントロールセンタ)																																																																																																						
(MCC6C-1-6, MCC6D-1-6)	○	×	×	×																																																																																																		
常用高圧母線, 常用低圧母線	○	×	×	×																																																																																																		
共用高圧母線, 共用低圧母線	○	×	×	×																																																																																																		
AM用 MCC	○	×	×	×																																																																																																		

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
 ：前回提出時からの変更箇所

本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考																																																																																										
	<p style="text-align: center;"><u>表2-2 各遮断器の遮断時間 (1/6)</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">アーケ発生箇所</th> <th style="width: 30%;">アーケ放電を遮断するために開放する遮断器</th> <th style="width: 15%;">遮断時間 (s)</th> <th style="width: 25%;">アーケエネルギー (MJ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機器名称</td> <td>遮断器名称</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="13" style="text-align: center;">メ タ ル ク ラ フ ト 開 閉 装 置</td> <td>M/CTC-1B (M/C6SA-1-M/CTC 母線連絡 (M/CTC 側))</td> <td>M/C6SA-1-5A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>M/CTC-6A (M/C6SB-2-M/CTC, 7D, 7E 母線連絡 (M/CTC 側))</td> <td>M/C6SB-2-3B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>M/CTD-1B (M/C6SB-2-M/CTC, 7D, 7E 母線連絡 (M/CTD 側))</td> <td>M/C6SB-2-3B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>M/CTD-6A (M/C6SA-2-M/CTD, 7E 母線連絡 (M/CTD 側))</td> <td>M/C6SA-2-3B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>M/CTE-1B (M/C6SA-2-M/CTD, 7E 母線連絡 (M/CTE 側))</td> <td>M/C6SA-2-3B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>M/CTE-6A (M/C6SB-2-M/CTC, 7D, 7E 母線連絡 (M/CTE 側))</td> <td>M/C6SB-2-3B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>M/CTC 母線に接続される遮断器</td> <td>M/CTC-1B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>M/CTC-1B, 4B, 6A を除く</td> <td>M/CTC-6A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>M/CTD 母線に接続される遮断器</td> <td>M/CTD-1B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>M/CTD-1B, 4B, 6A を除く</td> <td>M/CTD-6A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>M/CTE 母線に接続される遮断器</td> <td>M/CTE-1B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>M/CTE-1B, 3B, 6A を除く</td> <td>M/CTE-6A</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	アーケ発生箇所	アーケ放電を遮断するために開放する遮断器	遮断時間 (s)	アーケエネルギー (MJ)	機器名称	遮断器名称			メ タ ル ク ラ フ ト 開 閉 装 置	M/CTC-1B (M/C6SA-1-M/CTC 母線連絡 (M/CTC 側))	M/C6SA-1-5A		M/CTC-6A (M/C6SB-2-M/CTC, 7D, 7E 母線連絡 (M/CTC 側))	M/C6SB-2-3B		M/CTD-1B (M/C6SB-2-M/CTC, 7D, 7E 母線連絡 (M/CTD 側))	M/C6SB-2-3B		M/CTD-6A (M/C6SA-2-M/CTD, 7E 母線連絡 (M/CTD 側))	M/C6SA-2-3B		M/CTE-1B (M/C6SA-2-M/CTD, 7E 母線連絡 (M/CTE 側))	M/C6SA-2-3B		M/CTE-6A (M/C6SB-2-M/CTC, 7D, 7E 母線連絡 (M/CTE 側))	M/C6SB-2-3B		M/CTC 母線に接続される遮断器	M/CTC-1B		M/CTC-1B, 4B, 6A を除く	M/CTC-6A		M/CTD 母線に接続される遮断器	M/CTD-1B		M/CTD-1B, 4B, 6A を除く	M/CTD-6A		M/CTE 母線に接続される遮断器	M/CTE-1B		M/CTE-1B, 3B, 6A を除く	M/CTE-6A		<p style="text-align: center;"><u>表2-2 電気盤のアーケエネルギー及びアーケ放電の遮断時間一覧 (1/7) (非常用ディーゼル発電機からの給電時以外)</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">アーケ発生箇所</th> <th style="width: 30%;">アーケ放電を遮断するために開放する遮断器</th> <th style="width: 15%;">遮断時間 (s)</th> <th style="width: 25%;">アーケエネルギー (MJ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機器名称</td> <td>遮断器名称</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="13" style="text-align: center;">メ タ ル ク ラ フ ト 開 閉 装 置</td> <td>M/C6C-1B (M/C6SA-1-M/C6C 母線連絡 (M/C6C 側))</td> <td>M/C6SA-1-4A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>M/C6C-2B (M/C6SB-2-M/C6C, 6D, 6E 母線連絡 (M/C6C 側))</td> <td>M/C6SB-2-5B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>M/C6D-1B (M/C6SB-2-M/C6C, 6D, 6E 母線連絡 (M/C6D 側))</td> <td>M/C6SB-2-5B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>M/C6D-2B (M/C6SA-2-M/C6D, 6E 母線連絡 (M/C6D 側))</td> <td>M/C6SA-2-5B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>M/C6E-1B (M/C6SA-2-M/C6D, 6E 母線連絡 (M/C6E 側))</td> <td>M/C6SA-2-5B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>M/C6E-2B (M/C6SB-2-M/C6C, 6D, 6E 母線連絡 (M/C6E 側))</td> <td>M/C6SB-2-5B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>M/C6C 母線に接続される遮断器</td> <td>M/C6C-1B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>M/C6C-1B, 2B, 3B を除く</td> <td>M/C6C-2B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>M/C6D 母線に接続される遮断器</td> <td>M/C6D-1B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>M/C6D-1B, 2B, 3B を除く</td> <td>M/C6D-2B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>M/C6E 母線に接続される遮断器</td> <td>M/C6E-1B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>M/C6E-1B, 2B, 3B を除く</td> <td>M/C6E-2B</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	アーケ発生箇所	アーケ放電を遮断するために開放する遮断器	遮断時間 (s)	アーケエネルギー (MJ)	機器名称	遮断器名称			メ タ ル ク ラ フ ト 開 閉 装 置	M/C6C-1B (M/C6SA-1-M/C6C 母線連絡 (M/C6C 側))	M/C6SA-1-4A		M/C6C-2B (M/C6SB-2-M/C6C, 6D, 6E 母線連絡 (M/C6C 側))	M/C6SB-2-5B		M/C6D-1B (M/C6SB-2-M/C6C, 6D, 6E 母線連絡 (M/C6D 側))	M/C6SB-2-5B		M/C6D-2B (M/C6SA-2-M/C6D, 6E 母線連絡 (M/C6D 側))	M/C6SA-2-5B		M/C6E-1B (M/C6SA-2-M/C6D, 6E 母線連絡 (M/C6E 側))	M/C6SA-2-5B		M/C6E-2B (M/C6SB-2-M/C6C, 6D, 6E 母線連絡 (M/C6E 側))	M/C6SB-2-5B		M/C6C 母線に接続される遮断器	M/C6C-1B		M/C6C-1B, 2B, 3B を除く	M/C6C-2B		M/C6D 母線に接続される遮断器	M/C6D-1B		M/C6D-1B, 2B, 3B を除く	M/C6D-2B		M/C6E 母線に接続される遮断器	M/C6E-1B		M/C6E-1B, 2B, 3B を除く	M/C6E-2B		<p>・設備構成の差異</p>
アーケ発生箇所	アーケ放電を遮断するために開放する遮断器	遮断時間 (s)	アーケエネルギー (MJ)																																																																																										
機器名称	遮断器名称																																																																																												
メ タ ル ク ラ フ ト 開 閉 装 置	M/CTC-1B (M/C6SA-1-M/CTC 母線連絡 (M/CTC 側))	M/C6SA-1-5A																																																																																											
	M/CTC-6A (M/C6SB-2-M/CTC, 7D, 7E 母線連絡 (M/CTC 側))	M/C6SB-2-3B																																																																																											
	M/CTD-1B (M/C6SB-2-M/CTC, 7D, 7E 母線連絡 (M/CTD 側))	M/C6SB-2-3B																																																																																											
	M/CTD-6A (M/C6SA-2-M/CTD, 7E 母線連絡 (M/CTD 側))	M/C6SA-2-3B																																																																																											
	M/CTE-1B (M/C6SA-2-M/CTD, 7E 母線連絡 (M/CTE 側))	M/C6SA-2-3B																																																																																											
	M/CTE-6A (M/C6SB-2-M/CTC, 7D, 7E 母線連絡 (M/CTE 側))	M/C6SB-2-3B																																																																																											
	M/CTC 母線に接続される遮断器	M/CTC-1B																																																																																											
	M/CTC-1B, 4B, 6A を除く	M/CTC-6A																																																																																											
	M/CTD 母線に接続される遮断器	M/CTD-1B																																																																																											
	M/CTD-1B, 4B, 6A を除く	M/CTD-6A																																																																																											
	M/CTE 母線に接続される遮断器	M/CTE-1B																																																																																											
	M/CTE-1B, 3B, 6A を除く	M/CTE-6A																																																																																											
	アーケ発生箇所	アーケ放電を遮断するために開放する遮断器	遮断時間 (s)	アーケエネルギー (MJ)																																																																																									
機器名称	遮断器名称																																																																																												
メ タ ル ク ラ フ ト 開 閉 装 置	M/C6C-1B (M/C6SA-1-M/C6C 母線連絡 (M/C6C 側))	M/C6SA-1-4A																																																																																											
	M/C6C-2B (M/C6SB-2-M/C6C, 6D, 6E 母線連絡 (M/C6C 側))	M/C6SB-2-5B																																																																																											
	M/C6D-1B (M/C6SB-2-M/C6C, 6D, 6E 母線連絡 (M/C6D 側))	M/C6SB-2-5B																																																																																											
	M/C6D-2B (M/C6SA-2-M/C6D, 6E 母線連絡 (M/C6D 側))	M/C6SA-2-5B																																																																																											
	M/C6E-1B (M/C6SA-2-M/C6D, 6E 母線連絡 (M/C6E 側))	M/C6SA-2-5B																																																																																											
	M/C6E-2B (M/C6SB-2-M/C6C, 6D, 6E 母線連絡 (M/C6E 側))	M/C6SB-2-5B																																																																																											
	M/C6C 母線に接続される遮断器	M/C6C-1B																																																																																											
	M/C6C-1B, 2B, 3B を除く	M/C6C-2B																																																																																											
	M/C6D 母線に接続される遮断器	M/C6D-1B																																																																																											
	M/C6D-1B, 2B, 3B を除く	M/C6D-2B																																																																																											
	M/C6E 母線に接続される遮断器	M/C6E-1B																																																																																											
	M/C6E-1B, 2B, 3B を除く	M/C6E-2B																																																																																											

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
 ：前回提出時からの変更箇所


本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考

青字 : 柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
 : 前回提出時からの変更箇所


本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考																																																																																																												
	<p data-bbox="952 289 1389 319">表 2-2 各遮断器の遮断時間 (2/6)</p> <table border="1" data-bbox="825 432 1469 1633"> <thead> <tr> <th data-bbox="834 1556 928 1633">機器名称</th> <th data-bbox="834 1125 928 1556">アーク発生箇所 遮断器名称</th> <th data-bbox="834 915 928 1125">アーク放電を遮断 するために開放する 遮断器</th> <th data-bbox="834 674 928 915">遮断時間 (s)</th> <th data-bbox="834 432 928 674">アークエネルギー (MJ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="928 1556 1469 1633" rowspan="10">パワーセンタ</td> <td data-bbox="928 1125 997 1556">P/C7C-1-2B</td> <td data-bbox="928 915 997 1125">M/C7C-2A</td> <td data-bbox="928 674 997 915"></td> <td data-bbox="928 432 997 674"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="997 1125 1065 1556">(P/C7C-1 受電遮断器 (動力変圧器二次側))</td> <td data-bbox="997 915 1065 1125"></td> <td data-bbox="997 674 1065 915"></td> <td data-bbox="997 432 1065 674"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1065 1125 1133 1556">P/C7C-1 母線に接続される遮断器 (P/C7C-1-2B を除く)</td> <td data-bbox="1065 915 1133 1125">P/C7C-1-2B</td> <td data-bbox="1065 674 1133 915"></td> <td data-bbox="1065 432 1133 674"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1133 1125 1202 1556">P/C7C-2-2B</td> <td data-bbox="1133 915 1202 1125">M/C7C-2B</td> <td data-bbox="1133 674 1202 915"></td> <td data-bbox="1133 432 1202 674"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1202 1125 1270 1556">(P/C7C-2 受電遮断器 (動力変圧器二次側))</td> <td data-bbox="1202 915 1270 1125"></td> <td data-bbox="1202 674 1270 915"></td> <td data-bbox="1202 432 1270 674"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1270 1125 1338 1556">P/C7C-2 母線に接続される遮断器 (P/C7C-2-2B を除く)</td> <td data-bbox="1270 915 1338 1125">P/C7C-2-2B</td> <td data-bbox="1270 674 1338 915"></td> <td data-bbox="1270 432 1338 674"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1338 1125 1406 1556">P/C7D-1-2B</td> <td data-bbox="1338 915 1406 1125">M/C7D-2A</td> <td data-bbox="1338 674 1406 915"></td> <td data-bbox="1338 432 1406 674"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1406 1125 1475 1556">(P/C7D-1 受電遮断器 (動力変圧器二次側))</td> <td data-bbox="1406 915 1475 1125"></td> <td data-bbox="1406 674 1475 915"></td> <td data-bbox="1406 432 1475 674"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1475 1125 1543 1556">P/C7D-1 母線に接続される遮断器 (P/C7D-1-2B を除く)</td> <td data-bbox="1475 915 1543 1125">P/C7D-1-2B</td> <td data-bbox="1475 674 1543 915"></td> <td data-bbox="1475 432 1543 674"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1543 1125 1611 1556">P/C7D-2-2B</td> <td data-bbox="1543 915 1611 1125">M/C7D-2B</td> <td data-bbox="1543 674 1611 915"></td> <td data-bbox="1543 432 1611 674"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1611 1125 1679 1556">(P/C7D-2 受電遮断器 (動力変圧器二次側))</td> <td data-bbox="1611 915 1679 1125"></td> <td data-bbox="1611 674 1679 915"></td> <td data-bbox="1611 432 1679 674"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1679 1125 1748 1556">P/C7D-2 母線に接続される遮断器 (P/C7D-2-2B を除く)</td> <td data-bbox="1679 915 1748 1125">P/C7D-2-2B</td> <td data-bbox="1679 674 1748 915"></td> <td data-bbox="1679 432 1748 674"></td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	アーク発生箇所 遮断器名称	アーク放電を遮断 するために開放する 遮断器	遮断時間 (s)	アークエネルギー (MJ)	パワーセンタ	P/C7C-1-2B	M/C7C-2A			(P/C7C-1 受電遮断器 (動力変圧器二次側))				P/C7C-1 母線に接続される遮断器 (P/C7C-1-2B を除く)	P/C7C-1-2B			P/C7C-2-2B	M/C7C-2B			(P/C7C-2 受電遮断器 (動力変圧器二次側))				P/C7C-2 母線に接続される遮断器 (P/C7C-2-2B を除く)	P/C7C-2-2B			P/C7D-1-2B	M/C7D-2A			(P/C7D-1 受電遮断器 (動力変圧器二次側))				P/C7D-1 母線に接続される遮断器 (P/C7D-1-2B を除く)	P/C7D-1-2B			P/C7D-2-2B	M/C7D-2B			(P/C7D-2 受電遮断器 (動力変圧器二次側))				P/C7D-2 母線に接続される遮断器 (P/C7D-2-2B を除く)	P/C7D-2-2B			<p data-bbox="1498 289 2131 409">表 2-2 電気盤のアークエネルギー及びアーク放電の遮断時間一覧 (2/7) (非常用ディーゼル発電機からの給電時以外)</p> <table border="1" data-bbox="1498 432 2131 1608"> <thead> <tr> <th data-bbox="1507 1556 1602 1608">機器名称</th> <th data-bbox="1507 1125 1602 1556">アーク発生箇所 遮断器名称</th> <th data-bbox="1507 915 1602 1125">アーク放電を遮断 するために開放する 遮断器</th> <th data-bbox="1507 674 1602 915">遮断時間 (s)</th> <th data-bbox="1507 432 1602 674">アークエネルギー (MJ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1602 1556 2131 1608" rowspan="10">パワーセンタ</td> <td data-bbox="1602 1125 1670 1556">P/C6C-1-2A</td> <td data-bbox="1602 915 1670 1125">M/C6C-4A</td> <td data-bbox="1602 674 1670 915"></td> <td data-bbox="1602 432 1670 674"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1670 1125 1739 1556">(P/C6C-1 受電遮断器 (動力変圧器二次側))</td> <td data-bbox="1670 915 1739 1125"></td> <td data-bbox="1670 674 1739 915"></td> <td data-bbox="1670 432 1739 674"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1739 1125 1807 1556">P/C6C-1 母線に接続される遮断器 (P/C6C-1-2A を除く)</td> <td data-bbox="1739 915 1807 1125">P/C6C-1-2A</td> <td data-bbox="1739 674 1807 915"></td> <td data-bbox="1739 432 1807 674"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1807 1125 1875 1556">P/C6C-2-2A</td> <td data-bbox="1807 915 1875 1125">M/C6C-4B</td> <td data-bbox="1807 674 1875 915"></td> <td data-bbox="1807 432 1875 674"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1875 1125 1944 1556">(P/C6C-2 受電遮断器 (動力変圧器二次側))</td> <td data-bbox="1875 915 1944 1125"></td> <td data-bbox="1875 674 1944 915"></td> <td data-bbox="1875 432 1944 674"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1944 1125 2012 1556">P/C6C-2 母線に接続される遮断器 (P/C6C-2-2A を除く)</td> <td data-bbox="1944 915 2012 1125">P/C6C-2-2A</td> <td data-bbox="1944 674 2012 915"></td> <td data-bbox="1944 432 2012 674"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="2012 1125 2080 1556">P/C6D-1-2A</td> <td data-bbox="2012 915 2080 1125">M/C6D-4A</td> <td data-bbox="2012 674 2080 915"></td> <td data-bbox="2012 432 2080 674"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="2080 1125 2148 1556">(P/C6D-1 受電遮断器 (動力変圧器二次側))</td> <td data-bbox="2080 915 2148 1125"></td> <td data-bbox="2080 674 2148 915"></td> <td data-bbox="2080 432 2148 674"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="2148 1125 2217 1556">P/C6D-1 母線に接続される遮断器 (P/C6D-1-2A を除く)</td> <td data-bbox="2148 915 2217 1125">P/C6D-1-2A</td> <td data-bbox="2148 674 2217 915"></td> <td data-bbox="2148 432 2217 674"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="2217 1125 2285 1556">P/C6D-2-2A</td> <td data-bbox="2217 915 2285 1125">M/C6D-4B</td> <td data-bbox="2217 674 2285 915"></td> <td data-bbox="2217 432 2285 674"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="2285 1125 2353 1556">(P/C6D-2 受電遮断器 (動力変圧器二次側))</td> <td data-bbox="2285 915 2353 1125"></td> <td data-bbox="2285 674 2353 915"></td> <td data-bbox="2285 432 2353 674"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="2353 1125 2421 1556">P/C6D-2 母線に接続される遮断器 (P/C6D-2-2A を除く)</td> <td data-bbox="2353 915 2421 1125">P/C6D-2-2A</td> <td data-bbox="2353 674 2421 915"></td> <td data-bbox="2353 432 2421 674"></td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	アーク発生箇所 遮断器名称	アーク放電を遮断 するために開放する 遮断器	遮断時間 (s)	アークエネルギー (MJ)	パワーセンタ	P/C6C-1-2A	M/C6C-4A			(P/C6C-1 受電遮断器 (動力変圧器二次側))				P/C6C-1 母線に接続される遮断器 (P/C6C-1-2A を除く)	P/C6C-1-2A			P/C6C-2-2A	M/C6C-4B			(P/C6C-2 受電遮断器 (動力変圧器二次側))				P/C6C-2 母線に接続される遮断器 (P/C6C-2-2A を除く)	P/C6C-2-2A			P/C6D-1-2A	M/C6D-4A			(P/C6D-1 受電遮断器 (動力変圧器二次側))				P/C6D-1 母線に接続される遮断器 (P/C6D-1-2A を除く)	P/C6D-1-2A			P/C6D-2-2A	M/C6D-4B			(P/C6D-2 受電遮断器 (動力変圧器二次側))				P/C6D-2 母線に接続される遮断器 (P/C6D-2-2A を除く)	P/C6D-2-2A			<p data-bbox="2169 289 2377 319">・設備構成の差異</p>
機器名称	アーク発生箇所 遮断器名称	アーク放電を遮断 するために開放する 遮断器	遮断時間 (s)	アークエネルギー (MJ)																																																																																																											
パワーセンタ	P/C7C-1-2B	M/C7C-2A																																																																																																													
	(P/C7C-1 受電遮断器 (動力変圧器二次側))																																																																																																														
	P/C7C-1 母線に接続される遮断器 (P/C7C-1-2B を除く)	P/C7C-1-2B																																																																																																													
	P/C7C-2-2B	M/C7C-2B																																																																																																													
	(P/C7C-2 受電遮断器 (動力変圧器二次側))																																																																																																														
	P/C7C-2 母線に接続される遮断器 (P/C7C-2-2B を除く)	P/C7C-2-2B																																																																																																													
	P/C7D-1-2B	M/C7D-2A																																																																																																													
	(P/C7D-1 受電遮断器 (動力変圧器二次側))																																																																																																														
	P/C7D-1 母線に接続される遮断器 (P/C7D-1-2B を除く)	P/C7D-1-2B																																																																																																													
	P/C7D-2-2B	M/C7D-2B																																																																																																													
(P/C7D-2 受電遮断器 (動力変圧器二次側))																																																																																																															
P/C7D-2 母線に接続される遮断器 (P/C7D-2-2B を除く)	P/C7D-2-2B																																																																																																														
機器名称	アーク発生箇所 遮断器名称	アーク放電を遮断 するために開放する 遮断器	遮断時間 (s)	アークエネルギー (MJ)																																																																																																											
パワーセンタ	P/C6C-1-2A	M/C6C-4A																																																																																																													
	(P/C6C-1 受電遮断器 (動力変圧器二次側))																																																																																																														
	P/C6C-1 母線に接続される遮断器 (P/C6C-1-2A を除く)	P/C6C-1-2A																																																																																																													
	P/C6C-2-2A	M/C6C-4B																																																																																																													
	(P/C6C-2 受電遮断器 (動力変圧器二次側))																																																																																																														
	P/C6C-2 母線に接続される遮断器 (P/C6C-2-2A を除く)	P/C6C-2-2A																																																																																																													
	P/C6D-1-2A	M/C6D-4A																																																																																																													
	(P/C6D-1 受電遮断器 (動力変圧器二次側))																																																																																																														
	P/C6D-1 母線に接続される遮断器 (P/C6D-1-2A を除く)	P/C6D-1-2A																																																																																																													
	P/C6D-2-2A	M/C6D-4B																																																																																																													
(P/C6D-2 受電遮断器 (動力変圧器二次側))																																																																																																															
P/C6D-2 母線に接続される遮断器 (P/C6D-2-2A を除く)	P/C6D-2-2A																																																																																																														

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
：前回提出時からの変更箇所

本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考																																								
	<p>表2-2 各遮断器の遮断時間 (3/6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="943 401 1062 443">アーケ発生箇所 遮断器名称</th> <th data-bbox="943 443 1062 968">アーケ放電を遮断 するために開放する 遮断器</th> <th data-bbox="943 968 1062 1220">遮断時間 (s)</th> <th data-bbox="943 1220 1062 1818">アーケエネルギー (MJ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1062 401 1383 443">P/C7E-1-2B (P/C7E-1 受電遮断器 (動力変圧器二次側))</td> <td data-bbox="1062 443 1383 485">M/C7E-2A</td> <td data-bbox="1062 485 1383 527"></td> <td data-bbox="1062 527 1383 569"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1062 527 1383 569">P/C7E-1 母線に接続される遮断器 (P/C7E-1-2Bを除く)</td> <td data-bbox="1062 569 1383 611">P/C7E-1-2B</td> <td data-bbox="1062 611 1383 653"></td> <td data-bbox="1062 653 1383 695"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1062 653 1383 695">P/C7E-2-2B (P/C7E-2 受電遮断器 (動力変圧器二次側))</td> <td data-bbox="1062 695 1383 737">M/C7E-2B</td> <td data-bbox="1062 737 1383 779"></td> <td data-bbox="1062 779 1383 821"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1062 821 1383 863">P/C7E-2 母線に接続される遮断器 (P/C7E-2-2Bを除く)</td> <td data-bbox="1062 863 1383 905">P/C7E-2-2B</td> <td data-bbox="1062 905 1383 947"></td> <td data-bbox="1062 947 1383 989"></td> </tr> </tbody> </table>	アーケ発生箇所 遮断器名称	アーケ放電を遮断 するために開放する 遮断器	遮断時間 (s)	アーケエネルギー (MJ)	P/C7E-1-2B (P/C7E-1 受電遮断器 (動力変圧器二次側))	M/C7E-2A			P/C7E-1 母線に接続される遮断器 (P/C7E-1-2Bを除く)	P/C7E-1-2B			P/C7E-2-2B (P/C7E-2 受電遮断器 (動力変圧器二次側))	M/C7E-2B			P/C7E-2 母線に接続される遮断器 (P/C7E-2-2Bを除く)	P/C7E-2-2B			<p>表2-2 電気盤のアーケエネルギー及びアーケ放電の遮断時間一覧 (3/7) (非常用ディーゼル発電機からの給電時以外)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1641 401 1760 443">アーケ発生箇所 遮断器名称</th> <th data-bbox="1641 443 1760 968">アーケ放電を遮断 するために開放する 遮断器</th> <th data-bbox="1641 968 1760 1220">遮断時間 (s)</th> <th data-bbox="1641 1220 1760 1818">アーケエネルギー (MJ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1760 401 2050 443">P/C6E-1-2A (P/C6E-1 受電遮断器 (動力変圧器二次側))</td> <td data-bbox="1760 443 2050 485">M/C6E-4A</td> <td data-bbox="1760 485 2050 527"></td> <td data-bbox="1760 527 2050 569"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1760 527 2050 569">P/C6E-1 母線に接続される遮断器 (P/C6E-1-2Aを除く)</td> <td data-bbox="1760 569 2050 611">P/C6E-1-2A</td> <td data-bbox="1760 611 2050 653"></td> <td data-bbox="1760 653 2050 695"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1760 653 2050 695">P/C6E-2-2A (P/C6E-2 受電遮断器 (動力変圧器二次側))</td> <td data-bbox="1760 695 2050 737">M/C6E-4B</td> <td data-bbox="1760 737 2050 779"></td> <td data-bbox="1760 779 2050 821"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1760 821 2050 863">P/C6E-2 母線に接続される遮断器 (P/C6E-2-2Aを除く)</td> <td data-bbox="1760 863 2050 905">P/C6E-2-2A</td> <td data-bbox="1760 905 2050 947"></td> <td data-bbox="1760 947 2050 989"></td> </tr> </tbody> </table>	アーケ発生箇所 遮断器名称	アーケ放電を遮断 するために開放する 遮断器	遮断時間 (s)	アーケエネルギー (MJ)	P/C6E-1-2A (P/C6E-1 受電遮断器 (動力変圧器二次側))	M/C6E-4A			P/C6E-1 母線に接続される遮断器 (P/C6E-1-2Aを除く)	P/C6E-1-2A			P/C6E-2-2A (P/C6E-2 受電遮断器 (動力変圧器二次側))	M/C6E-4B			P/C6E-2 母線に接続される遮断器 (P/C6E-2-2Aを除く)	P/C6E-2-2A			<p>・設備構成の差異</p>
アーケ発生箇所 遮断器名称	アーケ放電を遮断 するために開放する 遮断器	遮断時間 (s)	アーケエネルギー (MJ)																																								
P/C7E-1-2B (P/C7E-1 受電遮断器 (動力変圧器二次側))	M/C7E-2A																																										
P/C7E-1 母線に接続される遮断器 (P/C7E-1-2Bを除く)	P/C7E-1-2B																																										
P/C7E-2-2B (P/C7E-2 受電遮断器 (動力変圧器二次側))	M/C7E-2B																																										
P/C7E-2 母線に接続される遮断器 (P/C7E-2-2Bを除く)	P/C7E-2-2B																																										
アーケ発生箇所 遮断器名称	アーケ放電を遮断 するために開放する 遮断器	遮断時間 (s)	アーケエネルギー (MJ)																																								
P/C6E-1-2A (P/C6E-1 受電遮断器 (動力変圧器二次側))	M/C6E-4A																																										
P/C6E-1 母線に接続される遮断器 (P/C6E-1-2Aを除く)	P/C6E-1-2A																																										
P/C6E-2-2A (P/C6E-2 受電遮断器 (動力変圧器二次側))	M/C6E-4B																																										
P/C6E-2 母線に接続される遮断器 (P/C6E-2-2Aを除く)	P/C6E-2-2A																																										

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
：前回提出時からの変更箇所

本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考																																														
	<p align="center"><u>表2-2 各遮断器の遮断時間 (4/6)</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>アーク発生箇所 遮断器名称</th> <th>アーク放電を遮断 するために開放する 遮断器</th> <th>遮断時間 (s)</th> <th>アークエネルギー (MJ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">モータ コントローラ センタ</td> <td>MCC7C-1-1 母線に接続される遮断器 (P/C7C-1-3Aを除く)</td> <td>P/C7C-1-3A</td> <td rowspan="8"></td> <td rowspan="8"></td> </tr> <tr> <td>MCC7C-1-2 母線に接続される遮断器 (P/C7C-1-4Aを除く)</td> <td>P/C7C-1-4A</td> </tr> <tr> <td>MCC7C-1-3 母線に接続される遮断器 (P/C7C-1-3Bを除く)</td> <td>P/C7C-1-3B</td> </tr> <tr> <td>MCC7C-1-4 母線に接続される遮断器 (P/C7C-1-4Bを除く)</td> <td>P/C7C-1-4B</td> </tr> <tr> <td>MCC7C-1-6 母線に接続される遮断器 (P/C7C-1-5Aを除く)</td> <td>P/C7C-1-5A</td> </tr> <tr> <td>MCC7C-1-7 母線に接続される遮断器 (P/C7C-1-5Bを除く)</td> <td>P/C7C-1-5B</td> </tr> <tr> <td>MCC7C-2-1 母線に接続される遮断器 (P/C7C-2-3Aを除く)</td> <td>P/C7C-2-3A</td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	アーク発生箇所 遮断器名称	アーク放電を遮断 するために開放する 遮断器	遮断時間 (s)	アークエネルギー (MJ)	モータ コントローラ センタ	MCC7C-1-1 母線に接続される遮断器 (P/C7C-1-3Aを除く)	P/C7C-1-3A			MCC7C-1-2 母線に接続される遮断器 (P/C7C-1-4Aを除く)	P/C7C-1-4A	MCC7C-1-3 母線に接続される遮断器 (P/C7C-1-3Bを除く)	P/C7C-1-3B	MCC7C-1-4 母線に接続される遮断器 (P/C7C-1-4Bを除く)	P/C7C-1-4B	MCC7C-1-6 母線に接続される遮断器 (P/C7C-1-5Aを除く)	P/C7C-1-5A	MCC7C-1-7 母線に接続される遮断器 (P/C7C-1-5Bを除く)	P/C7C-1-5B	MCC7C-2-1 母線に接続される遮断器 (P/C7C-2-3Aを除く)	P/C7C-2-3A	<p align="center"><u>表2-2 電気盤のアークエネルギー及びアーク放電の遮断時間一覧 (4/7) (非常用ディーゼル発電機からの給電時以外)</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>アーク発生箇所 遮断器名称</th> <th>アーク放電を遮断 するために開放する 遮断器</th> <th>遮断時間 (s)</th> <th>アークエネルギー (MJ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">モータ コントローラ センタ</td> <td>MCC6C-1-1 母線に接続される遮断器 (P/C6C-1-3Bを除く)</td> <td>P/C6C-1-3B</td> <td rowspan="8"></td> <td rowspan="8"></td> </tr> <tr> <td>MCC6C-1-2 母線に接続される遮断器 (P/C6C-1-4Aを除く)</td> <td>P/C6C-1-4A</td> </tr> <tr> <td>MCC6C-1-3 母線に接続される遮断器 (P/C6C-1-4Bを除く)</td> <td>P/C6C-1-4B</td> </tr> <tr> <td>MCC6C-1-4 母線に接続される遮断器 (P/C6C-1-5Aを除く)</td> <td>P/C6C-1-5A</td> </tr> <tr> <td>MCC6C-1-5 母線に接続される遮断器 (P/C6C-1-5Bを除く)</td> <td>P/C6C-1-5B</td> </tr> <tr> <td>MCC6C-1-7 母線に接続される遮断器 (P/C6C-1-6Aを除く)</td> <td>P/C6C-1-6A</td> </tr> <tr> <td>MCC6C-1-8 母線に接続される遮断器 (P/C6C-1-6Bを除く)</td> <td>P/C6C-1-6B</td> </tr> <tr> <td>MCC6C-2-1 母線に接続される遮断器 (P/C6C-2-3Aを除く)</td> <td>P/C6C-2-3A</td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	アーク発生箇所 遮断器名称	アーク放電を遮断 するために開放する 遮断器	遮断時間 (s)	アークエネルギー (MJ)	モータ コントローラ センタ	MCC6C-1-1 母線に接続される遮断器 (P/C6C-1-3Bを除く)	P/C6C-1-3B			MCC6C-1-2 母線に接続される遮断器 (P/C6C-1-4Aを除く)	P/C6C-1-4A	MCC6C-1-3 母線に接続される遮断器 (P/C6C-1-4Bを除く)	P/C6C-1-4B	MCC6C-1-4 母線に接続される遮断器 (P/C6C-1-5Aを除く)	P/C6C-1-5A	MCC6C-1-5 母線に接続される遮断器 (P/C6C-1-5Bを除く)	P/C6C-1-5B	MCC6C-1-7 母線に接続される遮断器 (P/C6C-1-6Aを除く)	P/C6C-1-6A	MCC6C-1-8 母線に接続される遮断器 (P/C6C-1-6Bを除く)	P/C6C-1-6B	MCC6C-2-1 母線に接続される遮断器 (P/C6C-2-3Aを除く)	P/C6C-2-3A	<p>・設備構成の差異</p>
機器名称	アーク発生箇所 遮断器名称	アーク放電を遮断 するために開放する 遮断器	遮断時間 (s)	アークエネルギー (MJ)																																													
モータ コントローラ センタ	MCC7C-1-1 母線に接続される遮断器 (P/C7C-1-3Aを除く)	P/C7C-1-3A																																															
	MCC7C-1-2 母線に接続される遮断器 (P/C7C-1-4Aを除く)	P/C7C-1-4A																																															
	MCC7C-1-3 母線に接続される遮断器 (P/C7C-1-3Bを除く)	P/C7C-1-3B																																															
	MCC7C-1-4 母線に接続される遮断器 (P/C7C-1-4Bを除く)	P/C7C-1-4B																																															
	MCC7C-1-6 母線に接続される遮断器 (P/C7C-1-5Aを除く)	P/C7C-1-5A																																															
	MCC7C-1-7 母線に接続される遮断器 (P/C7C-1-5Bを除く)	P/C7C-1-5B																																															
	MCC7C-2-1 母線に接続される遮断器 (P/C7C-2-3Aを除く)	P/C7C-2-3A																																															
	機器名称	アーク発生箇所 遮断器名称			アーク放電を遮断 するために開放する 遮断器	遮断時間 (s)	アークエネルギー (MJ)																																										
モータ コントローラ センタ	MCC6C-1-1 母線に接続される遮断器 (P/C6C-1-3Bを除く)	P/C6C-1-3B																																															
	MCC6C-1-2 母線に接続される遮断器 (P/C6C-1-4Aを除く)	P/C6C-1-4A																																															
	MCC6C-1-3 母線に接続される遮断器 (P/C6C-1-4Bを除く)	P/C6C-1-4B																																															
	MCC6C-1-4 母線に接続される遮断器 (P/C6C-1-5Aを除く)	P/C6C-1-5A																																															
	MCC6C-1-5 母線に接続される遮断器 (P/C6C-1-5Bを除く)	P/C6C-1-5B																																															
	MCC6C-1-7 母線に接続される遮断器 (P/C6C-1-6Aを除く)	P/C6C-1-6A																																															
	MCC6C-1-8 母線に接続される遮断器 (P/C6C-1-6Bを除く)	P/C6C-1-6B																																															
	MCC6C-2-1 母線に接続される遮断器 (P/C6C-2-3Aを除く)	P/C6C-2-3A																																															

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
 黄色：前回提出時からの変更箇所


本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考																																																																				
	<p align="center"><u>表2-2 各遮断器の遮断時間 (5/6)</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="825 1188 934 1755">アーケ発生箇所 遮断器名称</th> <th data-bbox="825 957 934 1188">アーケ放電を遮断 するために開放する 遮断器</th> <th data-bbox="825 688 934 957">遮断時間 (s)</th> <th data-bbox="825 422 934 688">アーケエネルギー (MJ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="934 1188 1012 1755">MCC7D-1-1 母線に接続される遮断器 (P/C7D-1-3Aを除く)</td> <td data-bbox="934 957 1012 1188">P/C7D-1-3A</td> <td data-bbox="934 688 1012 957"></td> <td data-bbox="934 422 1012 688"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1012 1188 1089 1755">MCC7D-1-2 母線に接続される遮断器 (P/C7D-1-4Aを除く)</td> <td data-bbox="1012 957 1089 1188">P/C7D-1-4A</td> <td data-bbox="1012 688 1089 957"></td> <td data-bbox="1012 422 1089 688"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1089 1188 1166 1755">MCC7D-1-3 母線に接続される遮断器 (P/C7D-1-3Bを除く)</td> <td data-bbox="1089 957 1166 1188">P/C7D-1-3B</td> <td data-bbox="1089 688 1166 957"></td> <td data-bbox="1089 422 1166 688"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1166 1188 1243 1755">MCC7D-1-4 母線に接続される遮断器 (P/C7D-1-4Bを除く)</td> <td data-bbox="1166 957 1243 1188">P/C7D-1-4B</td> <td data-bbox="1166 688 1243 957"></td> <td data-bbox="1166 422 1243 688"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1243 1188 1320 1755">MCC7D-1-6 母線に接続される遮断器 (P/C7D-1-5Aを除く)</td> <td data-bbox="1243 957 1320 1188">P/C7D-1-5A</td> <td data-bbox="1243 688 1320 957"></td> <td data-bbox="1243 422 1320 688"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1320 1188 1397 1755">MCC7D-1-7 母線に接続される遮断器 (P/C7D-1-5Bを除く)</td> <td data-bbox="1320 957 1397 1188">P/C7D-1-5B</td> <td data-bbox="1320 688 1397 957"></td> <td data-bbox="1320 422 1397 688"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1397 1188 1475 1755">MCC7D-2-1 母線に接続される遮断器 (P/C7D-2-3Aを除く)</td> <td data-bbox="1397 957 1475 1188">P/C7D-2-3A</td> <td data-bbox="1397 688 1475 957"></td> <td data-bbox="1397 422 1475 688"></td> </tr> </tbody> </table>	アーケ発生箇所 遮断器名称	アーケ放電を遮断 するために開放する 遮断器	遮断時間 (s)	アーケエネルギー (MJ)	MCC7D-1-1 母線に接続される遮断器 (P/C7D-1-3Aを除く)	P/C7D-1-3A			MCC7D-1-2 母線に接続される遮断器 (P/C7D-1-4Aを除く)	P/C7D-1-4A			MCC7D-1-3 母線に接続される遮断器 (P/C7D-1-3Bを除く)	P/C7D-1-3B			MCC7D-1-4 母線に接続される遮断器 (P/C7D-1-4Bを除く)	P/C7D-1-4B			MCC7D-1-6 母線に接続される遮断器 (P/C7D-1-5Aを除く)	P/C7D-1-5A			MCC7D-1-7 母線に接続される遮断器 (P/C7D-1-5Bを除く)	P/C7D-1-5B			MCC7D-2-1 母線に接続される遮断器 (P/C7D-2-3Aを除く)	P/C7D-2-3A			<p align="center"><u>表2-2 電気盤のアーケエネルギー及びアーケ放電の遮断時間一覧 (5/7) (非常用ディーゼル発電機からの給電時以外)</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1495 1115 1596 1623">アーケ発生箇所 遮断器名称</th> <th data-bbox="1495 905 1596 1115">アーケ放電を遮断 するために開放する 遮断器</th> <th data-bbox="1495 663 1596 905">遮断時間 (s)</th> <th data-bbox="1495 422 1596 663">アーケエネルギー (MJ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1596 1115 1673 1623">MCC6D-1-1 母線に接続される遮断器 (P/C6D-1-3Bを除く)</td> <td data-bbox="1596 905 1673 1115">P/C6D-1-3B</td> <td data-bbox="1596 663 1673 905"></td> <td data-bbox="1596 422 1673 663"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1673 1115 1751 1623">MCC6D-1-2 母線に接続される遮断器 (P/C6D-1-4Aを除く)</td> <td data-bbox="1673 905 1751 1115">P/C6D-1-4A</td> <td data-bbox="1673 663 1751 905"></td> <td data-bbox="1673 422 1751 663"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1751 1115 1828 1623">MCC6D-1-3 母線に接続される遮断器 (P/C6D-1-4Bを除く)</td> <td data-bbox="1751 905 1828 1115">P/C6D-1-4B</td> <td data-bbox="1751 663 1828 905"></td> <td data-bbox="1751 422 1828 663"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1828 1115 1905 1623">MCC6D-1-4 母線に接続される遮断器 (P/C6D-1-5Aを除く)</td> <td data-bbox="1828 905 1905 1115">P/C6D-1-5A</td> <td data-bbox="1828 663 1905 905"></td> <td data-bbox="1828 422 1905 663"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1905 1115 1982 1623">MCC6D-1-5 母線に接続される遮断器 (P/C6D-1-5Bを除く)</td> <td data-bbox="1905 905 1982 1115">P/C6D-1-5B</td> <td data-bbox="1905 663 1982 905"></td> <td data-bbox="1905 422 1982 663"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1982 1115 2059 1623">MCC6D-1-7 母線に接続される遮断器 (P/C6D-1-6Aを除く)</td> <td data-bbox="1982 905 2059 1115">P/C6D-1-6A</td> <td data-bbox="1982 663 2059 905"></td> <td data-bbox="1982 422 2059 663"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="2059 1115 2136 1623">MCC6D-1-8 母線に接続される遮断器 (P/C6D-1-6Bを除く)</td> <td data-bbox="2059 905 2136 1115">P/C6D-1-6B</td> <td data-bbox="2059 663 2136 905"></td> <td data-bbox="2059 422 2136 663"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="2136 1115 2214 1623">MCC6D-2-1 母線に接続される遮断器 (P/C6D-2-3Aを除く)</td> <td data-bbox="2136 905 2214 1115">P/C6D-2-3A</td> <td data-bbox="2136 663 2214 905"></td> <td data-bbox="2136 422 2214 663"></td> </tr> </tbody> </table>	アーケ発生箇所 遮断器名称	アーケ放電を遮断 するために開放する 遮断器	遮断時間 (s)	アーケエネルギー (MJ)	MCC6D-1-1 母線に接続される遮断器 (P/C6D-1-3Bを除く)	P/C6D-1-3B			MCC6D-1-2 母線に接続される遮断器 (P/C6D-1-4Aを除く)	P/C6D-1-4A			MCC6D-1-3 母線に接続される遮断器 (P/C6D-1-4Bを除く)	P/C6D-1-4B			MCC6D-1-4 母線に接続される遮断器 (P/C6D-1-5Aを除く)	P/C6D-1-5A			MCC6D-1-5 母線に接続される遮断器 (P/C6D-1-5Bを除く)	P/C6D-1-5B			MCC6D-1-7 母線に接続される遮断器 (P/C6D-1-6Aを除く)	P/C6D-1-6A			MCC6D-1-8 母線に接続される遮断器 (P/C6D-1-6Bを除く)	P/C6D-1-6B			MCC6D-2-1 母線に接続される遮断器 (P/C6D-2-3Aを除く)	P/C6D-2-3A			<p>・設備構成の差異</p>
アーケ発生箇所 遮断器名称	アーケ放電を遮断 するために開放する 遮断器	遮断時間 (s)	アーケエネルギー (MJ)																																																																				
MCC7D-1-1 母線に接続される遮断器 (P/C7D-1-3Aを除く)	P/C7D-1-3A																																																																						
MCC7D-1-2 母線に接続される遮断器 (P/C7D-1-4Aを除く)	P/C7D-1-4A																																																																						
MCC7D-1-3 母線に接続される遮断器 (P/C7D-1-3Bを除く)	P/C7D-1-3B																																																																						
MCC7D-1-4 母線に接続される遮断器 (P/C7D-1-4Bを除く)	P/C7D-1-4B																																																																						
MCC7D-1-6 母線に接続される遮断器 (P/C7D-1-5Aを除く)	P/C7D-1-5A																																																																						
MCC7D-1-7 母線に接続される遮断器 (P/C7D-1-5Bを除く)	P/C7D-1-5B																																																																						
MCC7D-2-1 母線に接続される遮断器 (P/C7D-2-3Aを除く)	P/C7D-2-3A																																																																						
アーケ発生箇所 遮断器名称	アーケ放電を遮断 するために開放する 遮断器	遮断時間 (s)	アーケエネルギー (MJ)																																																																				
MCC6D-1-1 母線に接続される遮断器 (P/C6D-1-3Bを除く)	P/C6D-1-3B																																																																						
MCC6D-1-2 母線に接続される遮断器 (P/C6D-1-4Aを除く)	P/C6D-1-4A																																																																						
MCC6D-1-3 母線に接続される遮断器 (P/C6D-1-4Bを除く)	P/C6D-1-4B																																																																						
MCC6D-1-4 母線に接続される遮断器 (P/C6D-1-5Aを除く)	P/C6D-1-5A																																																																						
MCC6D-1-5 母線に接続される遮断器 (P/C6D-1-5Bを除く)	P/C6D-1-5B																																																																						
MCC6D-1-7 母線に接続される遮断器 (P/C6D-1-6Aを除く)	P/C6D-1-6A																																																																						
MCC6D-1-8 母線に接続される遮断器 (P/C6D-1-6Bを除く)	P/C6D-1-6B																																																																						
MCC6D-2-1 母線に接続される遮断器 (P/C6D-2-3Aを除く)	P/C6D-2-3A																																																																						

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
 ：前回提出時からの変更箇所

本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考																																		
	<p data-bbox="952 289 1389 319">表2-2 各遮断器の遮断時間 (6/6)</p> <table border="1" data-bbox="937 333 1389 1787"> <thead> <tr> <th data-bbox="937 1703 1062 1787">機器名称</th> <th data-bbox="937 1171 1062 1703">アーク発生箇所 遮断器名称</th> <th data-bbox="937 915 1062 1171">アーク放電を遮断するために開放する遮断器</th> <th data-bbox="937 627 1062 915">遮断時間 (s)</th> <th data-bbox="937 333 1062 627">アークエネルギー (MJ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1062 1703 1389 1787" rowspan="4">モータ コントローラ センタ</td> <td data-bbox="1062 1171 1139 1703">MCC7E-1-1A, 1B 母線に接続される遮断器 (P/C7E-1-3A を除く)</td> <td data-bbox="1062 915 1139 1171">P/C7E-1-3A</td> <td data-bbox="1062 627 1389 915" rowspan="4"></td> <td data-bbox="1062 333 1389 627" rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1139 1171 1216 1703">MCC7E-1-2 母線に接続される遮断器 (P/C7E-1-3B を除く)</td> <td data-bbox="1139 915 1216 1171">P/C7E-1-3B</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1216 1171 1294 1703">MCC7E-1-3 母線に接続される遮断器 (P/C7E-1-3C を除く)</td> <td data-bbox="1216 915 1294 1171">P/C7E-1-3C</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1294 1171 1389 1703">MCC7E-2-1 母線に接続される遮断器 (P/C7E-2-4A を除く)</td> <td data-bbox="1294 915 1389 1171">P/C7E-2-4A</td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	アーク発生箇所 遮断器名称	アーク放電を遮断するために開放する遮断器	遮断時間 (s)	アークエネルギー (MJ)	モータ コントローラ センタ	MCC7E-1-1A, 1B 母線に接続される遮断器 (P/C7E-1-3A を除く)	P/C7E-1-3A			MCC7E-1-2 母線に接続される遮断器 (P/C7E-1-3B を除く)	P/C7E-1-3B	MCC7E-1-3 母線に接続される遮断器 (P/C7E-1-3C を除く)	P/C7E-1-3C	MCC7E-2-1 母線に接続される遮断器 (P/C7E-2-4A を除く)	P/C7E-2-4A	<p data-bbox="1501 289 2133 407">表2-2 電気盤のアークエネルギー及びアーク放電の遮断時間一覧 (6/7) (非常用ディーゼル発電機からの給電時以外)</p> <table border="1" data-bbox="1567 428 2065 1787"> <thead> <tr> <th data-bbox="1567 1703 1679 1787">機器名称</th> <th data-bbox="1567 1213 1679 1703">アーク発生箇所 遮断器名称</th> <th data-bbox="1567 978 1679 1213">アーク放電を遮断するために開放する遮断器</th> <th data-bbox="1567 701 1679 978">遮断時間 (s)</th> <th data-bbox="1567 428 1679 701">アークエネルギー (MJ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1679 1703 2065 1787" rowspan="5">モータ コントローラ センタ</td> <td data-bbox="1679 1213 1757 1703">MCC6E-1-1 母線に接続される遮断器 (P/C6E-1-3B を除く)</td> <td data-bbox="1679 978 1757 1213">P/C6E-1-3B</td> <td data-bbox="1679 701 2065 978" rowspan="5"></td> <td data-bbox="1679 428 2065 701" rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1757 1213 1834 1703">MCC6E-1-2 母線に接続される遮断器 (P/C6E-1-4A を除く)</td> <td data-bbox="1757 978 1834 1213">P/C6E-1-4A</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1834 1213 1911 1703">MCC6E-1-3 母線に接続される遮断器 (P/C6E-1-4B を除く)</td> <td data-bbox="1834 978 1911 1213">P/C6E-1-4B</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1911 1213 1988 1703">MCC6E-1-4 母線に接続される遮断器 (P/C6E-1-4C を除く)</td> <td data-bbox="1911 978 1988 1213">P/C6E-1-4C</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1988 1213 2065 1703">MCC6E-2-1 母線に接続される遮断器 (P/C6E-2-3A を除く)</td> <td data-bbox="1988 978 2065 1213">P/C6E-2-3A</td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	アーク発生箇所 遮断器名称	アーク放電を遮断するために開放する遮断器	遮断時間 (s)	アークエネルギー (MJ)	モータ コントローラ センタ	MCC6E-1-1 母線に接続される遮断器 (P/C6E-1-3B を除く)	P/C6E-1-3B			MCC6E-1-2 母線に接続される遮断器 (P/C6E-1-4A を除く)	P/C6E-1-4A	MCC6E-1-3 母線に接続される遮断器 (P/C6E-1-4B を除く)	P/C6E-1-4B	MCC6E-1-4 母線に接続される遮断器 (P/C6E-1-4C を除く)	P/C6E-1-4C	MCC6E-2-1 母線に接続される遮断器 (P/C6E-2-3A を除く)	P/C6E-2-3A	<p data-bbox="2175 289 2377 319">・設備構成の差異</p>
機器名称	アーク発生箇所 遮断器名称	アーク放電を遮断するために開放する遮断器	遮断時間 (s)	アークエネルギー (MJ)																																	
モータ コントローラ センタ	MCC7E-1-1A, 1B 母線に接続される遮断器 (P/C7E-1-3A を除く)	P/C7E-1-3A																																			
	MCC7E-1-2 母線に接続される遮断器 (P/C7E-1-3B を除く)	P/C7E-1-3B																																			
	MCC7E-1-3 母線に接続される遮断器 (P/C7E-1-3C を除く)	P/C7E-1-3C																																			
	MCC7E-2-1 母線に接続される遮断器 (P/C7E-2-4A を除く)	P/C7E-2-4A																																			
機器名称	アーク発生箇所 遮断器名称	アーク放電を遮断するために開放する遮断器	遮断時間 (s)	アークエネルギー (MJ)																																	
モータ コントローラ センタ	MCC6E-1-1 母線に接続される遮断器 (P/C6E-1-3B を除く)	P/C6E-1-3B																																			
	MCC6E-1-2 母線に接続される遮断器 (P/C6E-1-4A を除く)	P/C6E-1-4A																																			
	MCC6E-1-3 母線に接続される遮断器 (P/C6E-1-4B を除く)	P/C6E-1-4B																																			
	MCC6E-1-4 母線に接続される遮断器 (P/C6E-1-4C を除く)	P/C6E-1-4C																																			
	MCC6E-2-1 母線に接続される遮断器 (P/C6E-2-3A を除く)	P/C6E-2-3A																																			

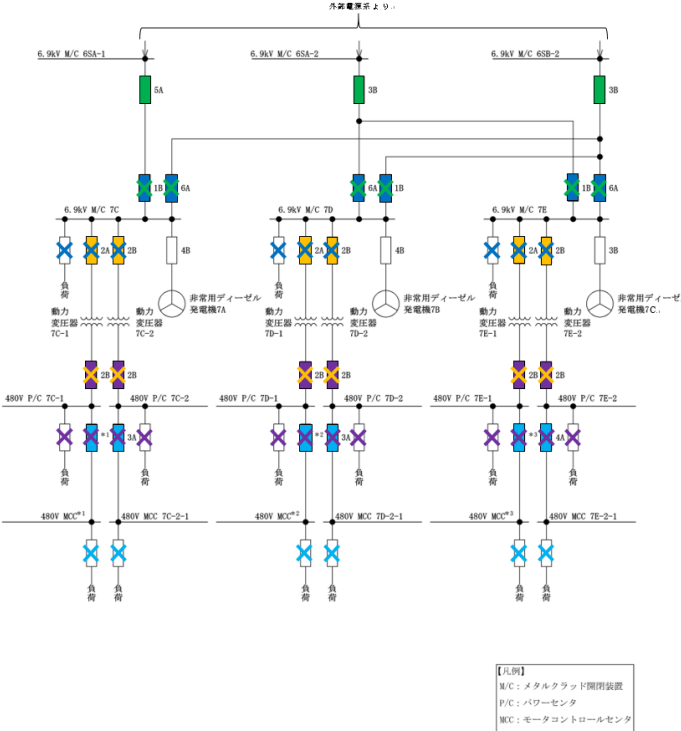
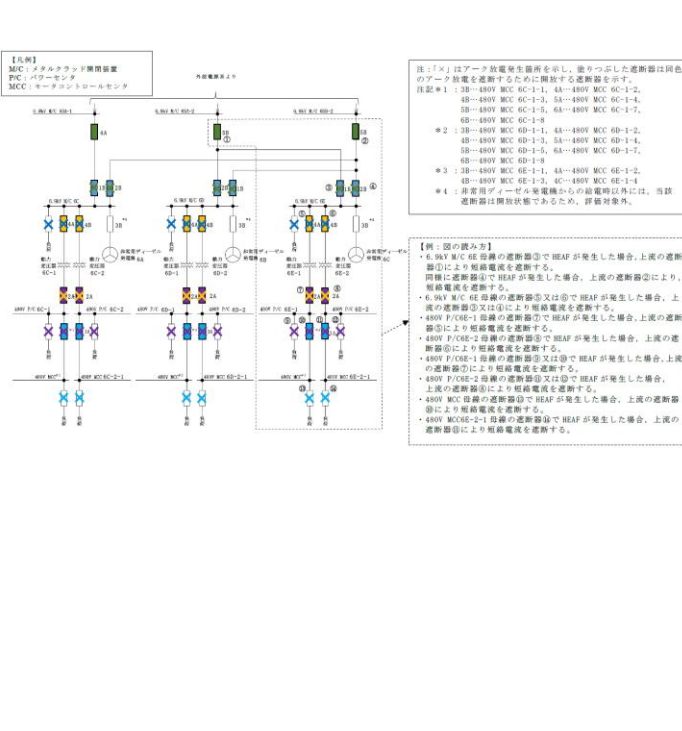
青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
：前回提出時からの変更箇所


本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考																																								
	<p style="text-align: center;"><u>表 2-1 各遮断器の遮断時間</u> (非常用ディーゼル発電機からの給電時*)</p> <table border="1" data-bbox="825 394 1380 1690"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>アーク放電発生箇所 遮断器名称</th> <th>アーク放電を遮断するための措置</th> <th>遮断時間 (s)</th> <th>アークエネルギー (MJ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">メタルクラッド開閉装置</td> <td>M/C7C-4B (非常用ディーゼル発電機 7A 受電遮断器)</td> <td>—*2</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">[Blank]</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">[Blank]</td> </tr> <tr> <td>M/C7C 母線に接続される遮断器 (M/C7C-4B を除く)</td> <td>M/C7C-4B</td> </tr> <tr> <td>M/C7D-4B (非常用ディーゼル発電機 7B 受電遮断器)</td> <td>—*2</td> </tr> <tr> <td>M/C7D 母線に接続される遮断器 (M/C7D-4B を除く)</td> <td>M/C7D-4B</td> </tr> <tr> <td>M/C7E-3B (非常用ディーゼル発電機 7C 受電遮断器)</td> <td>—*2</td> </tr> <tr> <td>M/C7E 母線に接続される遮断器 (M/C7E-3B を除く)</td> <td>M/C7E-3B</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記*1 : パワーセンタ及びコントロールセンタにおけるアーク放電の遮断時間については、令和2年10月14日付け原規規発第2010147号にて認可された設計及び工事計画による。 *2 : メタルクラッド開閉装置におけるアーク放電を遮断するため、51保護リレーにより非常用ディーゼル発電機を停止する。</p>	機器名称	アーク放電発生箇所 遮断器名称	アーク放電を遮断するための措置	遮断時間 (s)	アークエネルギー (MJ)	メタルクラッド開閉装置	M/C7C-4B (非常用ディーゼル発電機 7A 受電遮断器)	—*2	[Blank]	[Blank]	M/C7C 母線に接続される遮断器 (M/C7C-4B を除く)	M/C7C-4B	M/C7D-4B (非常用ディーゼル発電機 7B 受電遮断器)	—*2	M/C7D 母線に接続される遮断器 (M/C7D-4B を除く)	M/C7D-4B	M/C7E-3B (非常用ディーゼル発電機 7C 受電遮断器)	—*2	M/C7E 母線に接続される遮断器 (M/C7E-3B を除く)	M/C7E-3B	<p style="text-align: center;"><u>表 2-2 電気盤のアークエネルギー及びアーク放電の遮断時間一覧 (7/7) (非常用ディーゼル発電機からの給電時)</u></p> <table border="1" data-bbox="1492 436 2033 1690"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>アーク発生箇所 遮断器名称</th> <th>アーク放電を遮断するための開放する遮断器</th> <th>遮断時間 (s)</th> <th>アークエネルギー (MJ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">メタルクラッド開閉装置</td> <td>M/C6C-3B (D/G6A 受電遮断器)</td> <td>—*</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">[Blank]</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">[Blank]</td> </tr> <tr> <td>M/C6C 母線に接続される遮断器 (M/C6C-3B を除く)</td> <td>M/C6C-3B</td> </tr> <tr> <td>M/C6D-3B (D/G6B 受電遮断器)</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>M/C6D 母線に接続される遮断器 (M/C6D-3B を除く)</td> <td>M/C6D-3B</td> </tr> <tr> <td>M/C6E-3B (D/G6C 受電遮断器)</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>M/C6E 母線に接続される遮断器 (M/C6E-3B を除く)</td> <td>M/C6E-3B</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記* : メタルクラッド開閉装置におけるアーク放電を遮断するため、51保護リレーにより非常用ディーゼル発電機を停止する。</p>	機器名称	アーク発生箇所 遮断器名称	アーク放電を遮断するための開放する遮断器	遮断時間 (s)	アークエネルギー (MJ)	メタルクラッド開閉装置	M/C6C-3B (D/G6A 受電遮断器)	—*	[Blank]	[Blank]	M/C6C 母線に接続される遮断器 (M/C6C-3B を除く)	M/C6C-3B	M/C6D-3B (D/G6B 受電遮断器)	—*	M/C6D 母線に接続される遮断器 (M/C6D-3B を除く)	M/C6D-3B	M/C6E-3B (D/G6C 受電遮断器)	—*	M/C6E 母線に接続される遮断器 (M/C6E-3B を除く)	M/C6E-3B	<p>※比較表の7号機の記載は分割申請を行った「非常用ディーゼル発電機に接続される電気盤に対する HEAF 対策」の内容。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備構成の差異 ・工事計画の申請範囲の差異 (※2 と同様)
機器名称	アーク放電発生箇所 遮断器名称	アーク放電を遮断するための措置	遮断時間 (s)	アークエネルギー (MJ)																																							
メタルクラッド開閉装置	M/C7C-4B (非常用ディーゼル発電機 7A 受電遮断器)	—*2	[Blank]	[Blank]																																							
	M/C7C 母線に接続される遮断器 (M/C7C-4B を除く)	M/C7C-4B																																									
	M/C7D-4B (非常用ディーゼル発電機 7B 受電遮断器)	—*2																																									
	M/C7D 母線に接続される遮断器 (M/C7D-4B を除く)	M/C7D-4B																																									
	M/C7E-3B (非常用ディーゼル発電機 7C 受電遮断器)	—*2																																									
	M/C7E 母線に接続される遮断器 (M/C7E-3B を除く)	M/C7E-3B																																									
機器名称	アーク発生箇所 遮断器名称	アーク放電を遮断するための開放する遮断器	遮断時間 (s)	アークエネルギー (MJ)																																							
メタルクラッド開閉装置	M/C6C-3B (D/G6A 受電遮断器)	—*	[Blank]	[Blank]																																							
	M/C6C 母線に接続される遮断器 (M/C6C-3B を除く)	M/C6C-3B																																									
	M/C6D-3B (D/G6B 受電遮断器)	—*																																									
	M/C6D 母線に接続される遮断器 (M/C6D-3B を除く)	M/C6D-3B																																									
	M/C6E-3B (D/G6C 受電遮断器)	—*																																									
	M/C6E 母線に接続される遮断器 (M/C6E-3B を除く)	M/C6E-3B																																									

青字 : 柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
 : 前回提出時からの変更箇所

本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。


島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考
	 <p>注：「×」はアーク放電発生箇所を示し、塗りつぶした遮断器は同色のアーク放電を遮断するために開放する遮断器を示す。</p> <p>注記*1 : 3A…480V MCC 7C-1-1, 4A…480V MCC 7C-1-2, 3B…480V MCC 7C-1-3, 4B…480V MCC 7C-1-4, 5A…480V MCC 7C-1-6, 5B…480V MCC 7C-1-7</p> <p>*2 : 3A…480V MCC 7D-1-1, 4A…480V MCC 7D-1-2, 3B…480V MCC 7D-1-3, 4B…480V MCC 7D-1-4, 5A…480V MCC 7D-1-6, 5B…480V MCC 7D-1-7</p> <p>*3 : 3A…480V MCC 7E-1-1A 及び 1B, 3B…480V MCC 7E-1-2, 3C…480V MCC 7E-1-3</p> <p>図2-1 アーク放電発生箇所とアーク放電を遮断する遮断器</p>	 <p>注：「×」はアーク放電発生箇所を示し、塗りつぶした遮断器は同色のアーク放電を遮断するために開放する遮断器を示す。</p> <p>注記*1 : 3B…480V MCC 6C-1-1, 4A…480V MCC 6C-1-2, 4B…480V MCC 6C-1-3, 5A…480V MCC 6C-1-4, 5B…480V MCC 6C-1-5, 6A…480V MCC 6C-1-7, 6B…480V MCC 6C-1-8</p> <p>*2 : 3B…480V MCC 6D-1-1, 4A…480V MCC 6D-1-2, 4B…480V MCC 6D-1-3, 5A…480V MCC 6D-1-4, 5B…480V MCC 6D-1-5, 6A…480V MCC 6D-1-7, 6B…480V MCC 6D-1-8</p> <p>*3 : 3B…480V MCC 6E-1-1, 4A…480V MCC 6E-1-2, 4B…480V MCC 6E-1-3, 5A…480V MCC 6E-1-4, 5B…480V MCC 6E-1-5, 6A…480V MCC 6E-1-7, 6B…480V MCC 6E-1-8</p> <p>*4 : 非常用ディーゼル発電機からの給電時以外には、当該遮断器は開放状態であるため、詳細は別添。</p> <p>【図の読み方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 6.9kV MCC 母線の遮断器で短絡が発生した場合、上流の遮断器により短絡電流を遮断する。 同様に遮断器で短絡が発生した場合、上流の遮断器により、短絡電流を遮断する。 6.9kV MCC 母線の遮断器又は母線で短絡が発生した場合、上流の遮断器又は母線により短絡電流を遮断する。 480V P/C#1 母線の遮断器で短絡が発生した場合、上流の遮断器により短絡電流を遮断する。 480V P/C#2 母線の遮断器で短絡が発生した場合、上流の遮断器により短絡電流を遮断する。 480V P/C#3 母線の遮断器で短絡が発生した場合、上流の遮断器により短絡電流を遮断する。 480V MCC#1 母線の遮断器で短絡が発生した場合、上流の遮断器により短絡電流を遮断する。 480V MCC#2 母線の遮断器で短絡が発生した場合、上流の遮断器により短絡電流を遮断する。 <p>図2-1 アーク放電発生箇所とアーク放電を遮断するための対策 (1/2) (非常用ディーゼル発電機からの給電時以外)</p>	<p>・設備構成の差異</p> <p>・図の読み方に関する説明を追加したことによる差異</p>

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
：前回提出時からの変更箇所

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考
	<p>【凡例】 M/C：メタルクラッド開閉装置 P/C：パワーセンタ MCC：モータコントロールセンタ</p> <p>注：「X」はアーク放電発生箇所を示し、塗りつぶした遮断器は同色のアーク放電を遮断するために開放する遮断器を示す。</p> <p>注記*1：3A…480V MCC 7C-1-1, 4A…480V MCC 7C-1-2, 3B…480V MCC 7C-1-3, 4B…480V MCC 7C-1-4, 5A…480V MCC 7C-1-6, 5B…480V MCC 7C-1-7</p> <p>*2：3A…480V MCC 7D-1-1, 4A…480V MCC 7D-1-2, 3B…480V MCC 7D-1-3, 4B…480V MCC 7D-1-4, 5A…480V MCC 7D-1-6, 5B…480V MCC 7D-1-7</p> <p>*3：3A…480V MCC 7E-1-1A及び1B, 3B…480V MCC 7E-1-2, 3C…480V MCC 7E-1-3</p> <p>図2-1 アーク放電発生箇所とアーク放電を遮断するための対策 (非常用ディーゼル発電機からの給電時)</p>	<p>【凡例】 M/C：メタルクラッド開閉装置 P/C：パワーセンタ MCC：モータコントロールセンタ</p> <p>注：「X」はアーク放電発生箇所を示し、塗りつぶした遮断器は同色のアーク放電を遮断するために開放する遮断器を示す。</p> <p>注記*1：3B…480V MCC 6C-1-1, 4A…480V MCC 6C-1-2, 4B…480V MCC 6C-1-3, 5A…480V MCC 6C-1-4, 6B…480V MCC 6C-1-6, 6C…480V MCC 6C-1-7</p> <p>*2：3B…480V MCC 6D-1-1, 4A…480V MCC 6D-1-2, 4B…480V MCC 6D-1-3, 5A…480V MCC 6D-1-4, 5B…480V MCC 6D-1-5, 6A…480V MCC 6D-1-7, 6B…480V MCC 6D-1-8</p> <p>*3：3B…480V MCC 6E-1-1, 4A…480V MCC 6E-1-2, 4B…480V MCC 6E-1-3, 5C…480V MCC 6E-1-4, 6B…480V MCC 6E-1-5, 6C…480V MCC 6E-1-6, 6D…480V MCC 6E-1-7, 6E…480V MCC 6E-1-8</p> <p>*4：非常用ディーゼル発電機からの給電時は、当該遮断器は開放状態であるため、誤動作発生。</p> <p>【注：図の読み方】 ・480V P/C 4B 母線の遮断器①、②又は③で短絡が発生した場合、上記の遮断器①により短絡電流を遮断する。 ・480V P/C 4E 母線の遮断器④で短絡が発生した場合、上記の非常用ディーゼル発電機 MCC を遮断することにより短絡電流を遮断する。 ・480V P/C 4E-1 母線の遮断器⑤で短絡が発生した場合、上記の遮断器⑤により短絡電流を遮断する。 ・480V P/C 4E-2 母線の遮断器⑥で短絡が発生した場合、上記の遮断器⑥により短絡電流を遮断する。 ・480V P/C 4E-1 母線の遮断器⑦又は⑧で短絡が発生した場合、上記の遮断器⑦により短絡電流を遮断する。 ・480V P/C 4E-2 母線の遮断器⑨又は⑩で短絡が発生した場合、上記の遮断器⑨により短絡電流を遮断する。</p> <p>図2-1 アーク放電発生箇所とアーク放電を遮断するための対策 (2/2) (非常用ディーゼル発電機からの給電時)</p>	<p>※比較表の7号機の記載は分割申請を行った「非常用ディーゼル発電機に接続される電気盤に対する HEAF 対策」の内容。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備構成の差異 ・図の読み方に関する説明を追加したことによる差異
<p>2.2 可搬型の非常用発電装置の出力に関する設計方針</p> <p>重大事故等対処設備における可搬型の非常用発電装置のうち電源車は、重大事故等が発生した場合において、炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、使用済燃料貯蔵プール内の燃料体等の著しい損傷及び運転停止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止するために必要な電力を供給できる出力を有する設計とする。</p>	<p>2.2 可搬型の非常用発電装置の出力に関する設計方針</p> <p>重大事故等対処設備における可搬型の非常用発電装置のうち電源車は、重大事故等が発生した場合において、炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、使用済燃料貯蔵プール内の燃料体等の著しい損傷及び運転停止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止するために必要な電力を供給できる出力を有する設計とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・差異無し 	
<p>電源車は、外部電源系及び非常用ディーゼル発電設備の機能が喪失（全交流動力電源喪失）した場合に、必要な設備に電力を供給できる設計とする。また、熱交換器</p>	<p>電源車は、外部電源系及び非常用ディーゼル発電設備の機能が喪失（全交流動力電源喪失）した場合に、必要な設備に電力を供給できる設計とする。また、熱交換器</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・差異無し 	


青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
：前回提出時からの変更箇所

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考
	ユニットへ接続することで電力を供給できる設計とする。	ユニットへ接続することで電力を供給できる設計とする。	
	電源車は、AM用直流125V充電器と組み合わせて使用することにより、重大事故等時の対応に必要な直流設備に電力を供給できる設計とする。	電源車は、AM用直流125V充電器と組み合わせて使用することにより、重大事故等時の対応に必要な直流設備に電力を供給できる設計とする。	・差異無し
	<u>5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備及び可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備は、専用の負荷に電力を供給できる出力を有する設計とする。</u>		・表現上の差異（※1と同様）
	<u>また、非常用発電装置としての機能の重要性を考慮し、電源車、5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備及び可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備については、火力省令及び電気設備に関する技術基準を定める省令を引用している日本内燃力発電設備協会規格の「可搬形発電設備技術基準（NEGA C 331：2005）」（以下「可搬形発電設備技術基準」という。）を準用する設計とする。</u>		・表現上の差異（※1と同様）
	<u>可搬型の非常用発電装置の内燃機関は、流入する燃料を自動的に調整する調速装置並びに軸受が異常な摩耗、変形及び過熱が生じないよう潤滑油装置を設ける設計とし、回転速度、潤滑油圧力、潤滑油温度等の運転状態を計測する装置を設ける設計とする。回転速度が著しく上昇した場合及び冷却水温度が著しく上昇した場合等に自動的に停止する設計とする。また、過回転防止装置は定格回転速度の116%以下で動作する設計とする。</u>		・表現上の差異（※1と同様）
	<u>可搬型の非常用発電装置の発電機は、電氣的・機械的に十分な性能を持つ絶縁巻線を使用し、耐熱性及び耐湿</u>		・表現上の差異（※1と同様）

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
：前回提出時からの変更箇所


本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考
	<u>性を考慮した絶縁処理を施す設計とする。過電流が発生した場合等に電路から自動的に遮断する設計とする。</u>		
	<u>可搬型の非常用発電装置の強度については、完成品として一般産業品規格で規定される温度試験等を実施し、定格負荷状態において十分な強度を有する設計とする。</u>		・表現上の差異（※1と同様）
	<u>耐圧部分に対する強度については、可搬形発電設備技術基準に関連する事項がないため、「日本電機工業会規格 JEM-1354」又は「日本電機工業会規格 JEM-1398」で規定される温度試験による強度評価の基本方針、強度評価方法及び強度評価結果をV-3「強度に関する説明書」の別添にて説明する。</u>		・表現上の差異（※1と同様）
	2.2.1 可搬型の非常用発電装置		
	<u>可搬型の非常用発電装置は、可搬形発電設備技術基準を準用し、以下の設計とする。</u>		・表現上の差異（※1と同様）
	(1) 原動機		
	<u>内燃機関に流入する燃料を自動的に調整する調速装置を設ける設計とする。</u>		・表現上の差異（※1と同様）
	<u>また、内燃機関の軸受は、運転中の荷重を安定に支持できるものであり、かつ、異常な摩耗、変形及び過熱が生じないように潤滑油装置を設ける設計とする。</u>		・表現上の差異（※1と同様）
	(2) 発電機		
	<u>通常の使用状態において発生する熱に耐える設計とし、発電機の耐熱クラスは、E種絶縁以上の設計とする。発電機の巻線は、非常停止速度や短絡電流に対して十分な電氣的・機械的強度及び絶縁性能を有する設計とする。</u>		・表現上の差異（※1と同様）

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
：前回提出時からの変更箇所

本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考
	(3) 計測装置		
	<u>回転速度等の運転状態を計測する装置を設ける設計とする。</u>		・表現上の差異 (※1と同様)
	(4) 保護装置		
	<u>電圧低下, 過速度, 冷却水温度上昇及び潤滑油圧力低下時に, 原動機を自動的に停止する設計とする。定格回転速度の 116%以下で動作する非常用調速装置を設ける設計とする。</u>		・表現上の差異 (※1と同様)
	<u>また, 発電機は, 過電流が発生した場合に回路から自動的に遮断する保護装置を設ける設計とする。</u>		・表現上の差異 (※1と同様)
	(5) 運転性能		
	<u>定格出力のもとで1時間運転し, 安定した運転が維持される設計とする。</u>		・表現上の差異 (※1と同様)
	(6) 絶縁抵抗及び絶縁耐力		
	<u>出力端子と大地間の絶縁抵抗値を測定し, 出力端子と大地間に規定の交流電圧を印加したときこれに耐える設計とする。</u>		・表現上の差異 (※1と同様)
	3. 施設の詳細設計方針	3. 施設の詳細設計方針	
	3.1 非常用ディーゼル発電機	3.1 非常用ディーゼル発電機	
	3.1.1 設計基準対象施設	3.1.1 設計基準対象施設	
発電用原子炉施設には, 外部電源が喪失した場合において, 発電用原子炉施設の安全性を確保するために必要な設備の機能を維持するため, 非常用ディーゼル発電機を設置する設計とする。	発電用原子炉施設には, 外部電源が喪失した場合において, 発電用原子炉施設の安全性を確保するために必要な設備の機能を維持するため, 非常用ディーゼル発電機を設置する設計とする。	・差異無し	
また, 火力省令及び原子力電技命令を準用し, 「2.1.2 内燃機関」及び「2.1.3 発電機」に記載の設計とする。	また, 火力省令及び原子力電技命令を準用し, 「2.1.2 内燃機関」及び「2.1.3 発電機」に記載の設計とする。	・差異無し	

青字 : 柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
 : 前回提出時からの変更箇所

本資料のうち枠囲みの内容は, 機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考
	技術基準規則に基づき、非常用ディーゼル発電機は、使用済燃料貯蔵プールの温度及び水位の監視設備、使用済燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ並びに通信連絡設備へ給電できる設計とする。	技術基準規則に基づき、非常用ディーゼル発電機は、使用済燃料貯蔵プールの温度及び水位の監視設備、使用済燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ並びに通信連絡設備へ給電できる設計とする。	・差異無し
	非常用ディーゼル発電機の容量は、表3-1から表3-3に示す発電所を安全に停止するために必要な負荷(7A:4725kW, 7B:4972kW, 7C:3787kW)及び表3-4から表3-6に示す工学的安全施設の作動時に必要となる負荷(7A:4170kW, 7B:4878kW, 7C:3398kW)に対し、十分な容量が確保できるよう、非常用ディーゼル発電機は、5000kWの出力を有する設計とする。	非常用ディーゼル発電機の容量は、表3-1から表3-3に示す発電所を安全に停止するために必要な負荷(6A:4700kW, 6B:4817kW, 6C:4246kW)及び表3-4から表3-6に示す工学的安全施設の作動時に必要となる負荷(6A:4105kW, 6B:4644kW, 6C:3862kW)に対し、十分な容量が確保できるよう、非常用ディーゼル発電機は、5000kWの出力を有する設計とする。	・設備構成の差異
	また、非常用ディーゼル発電機は、13秒以内に電圧を確立し、工学的安全施設等へ順次自動で電力を供給できる設計とし、燃料プール冷却浄化系ポンプに対しては、これらの一連の設備への電力供給が開始された後に、必要により手動起動を実施する際に、電力を供給できる設計とする。負荷積算イメージを図3-1から図3-6に示す。	また、非常用ディーゼル発電機は、13秒以内に電圧を確立し、工学的安全施設等へ順次自動で電力を供給できる設計とし、燃料プール冷却浄化系ポンプに対しては、これらの一連の設備への電力供給が開始された後に、必要により手動起動を実施する際に、電力を供給できる設計とする。負荷積算イメージを図3-1から図3-6に示す。	・差異無し
	非常用ディーゼル発電機の内燃機関の出力及び発電機の容量は以下のとおりとする。	非常用ディーゼル発電機の内燃機関の出力及び発電機の容量は以下のとおりとする。	・差異無し
(1) 内燃機関		(1) 内燃機関	
	発電機の出力5000kWから、内燃機関の出力は次式により5264kW以上の5295kWとする。	発電機の出力5000kWから、内燃機関の出力は次式により5292kW以上の5295kWとする。	・設備構成の差異
$P_E \geq P \div \eta = 5000 \div 0.95 \approx 5264$ $P_E : \text{内燃機関の出力(kW)}$ $P : \text{発電機の定格出力(kW)} = 5000$ $\eta : \text{発電機の効率} = 0.95$		$P_E \geq P \div \eta = 5000 \div 0.945 \approx 5292$ $P_E : \text{内燃機関の出力(kW)}$ $P : \text{発電機の定格出力(kW)} = 5000$ $\eta : \text{発電機の効率} = 0.945$	・設備構成の差異

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
 黄色：前回提出時からの変更箇所

本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考																																																				
	(2) 発電機	(2) 発電機																																																					
	発電機の容量は、次式により 6250kVA とする。	発電機の容量は、次式により 6250kVA とする。	・差異なし																																																				
	$Q = P \div p f = 5000 \div 0.8 = 6250$ Q : 発電機の容量(kVA) P : 発電機の定格出力(kW) = 5000 p f : 力率 = 0.8	$Q = P \div p f = 5000 \div 0.8 = 6250$ Q : 発電機の容量(kVA) P : 発電機の定格出力(kW) = 5000 p f : 力率 = 0.8	・差異なし																																																				
	<p>表 3-1 発電所を安全に停止するために必要な負荷 (非常用ディーゼル発電機 7A)</p> <table border="1" data-bbox="825 877 1406 1591"> <thead> <tr> <th>設備・機器名</th> <th>負荷容量 (kW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>残留熱除去系ポンプ 7A</td><td>526</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水ポンプ 7A</td><td>280</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水ポンプ 7D</td><td>280</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却海水ポンプ 7A</td><td>245</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却海水ポンプ 7D</td><td>245</td></tr> <tr><td>制御機駆動水ポンプ 7A</td><td>390</td></tr> <tr><td>照明設備</td><td>123</td></tr> <tr><td>非常用ガス処理装置</td><td>15</td></tr> <tr><td>ディーゼル室換気設備</td><td>114</td></tr> <tr><td>蓄電池用充電器 (使用済燃料貯蔵プール温度及び水位の監視設備, 通信連絡設備等)</td><td>390</td></tr> <tr><td>その他の非常用負荷* (燃料貯蔵プールの放射線モニタ, 通信連絡設備等)</td><td>2117</td></tr> <tr><td>負荷合計</td><td>4725</td></tr> </tbody> </table> <p>注記* : 「工学的安全施設の作動時に必要な負荷」の共通負荷以外に、工学的安全施設ではないが、発電所の安全停止に必要なタービン・発電機補機等を起動する。</p>	設備・機器名	負荷容量 (kW)	残留熱除去系ポンプ 7A	526	原子炉補機冷却水ポンプ 7A	280	原子炉補機冷却水ポンプ 7D	280	原子炉補機冷却海水ポンプ 7A	245	原子炉補機冷却海水ポンプ 7D	245	制御機駆動水ポンプ 7A	390	照明設備	123	非常用ガス処理装置	15	ディーゼル室換気設備	114	蓄電池用充電器 (使用済燃料貯蔵プール温度及び水位の監視設備, 通信連絡設備等)	390	その他の非常用負荷* (燃料貯蔵プールの放射線モニタ, 通信連絡設備等)	2117	負荷合計	4725	<p>表 3-1 発電所を安全に停止するために必要な負荷 (非常用ディーゼル発電機 6A)</p> <table border="1" data-bbox="1495 877 2077 1591"> <thead> <tr> <th>設備・機器名</th> <th>負荷容量 (kW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>残留熱除去系ポンプ 6A</td><td>490</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水ポンプ 6A</td><td>297</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水ポンプ 6D</td><td>297</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却海水ポンプ 6A</td><td>252</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却海水ポンプ 6D</td><td>252</td></tr> <tr><td>制御機駆動水ポンプ 6A</td><td>379</td></tr> <tr><td>照明設備</td><td>100</td></tr> <tr><td>非常用ガス処理装置</td><td>17</td></tr> <tr><td>ディーゼル室換気設備</td><td>146</td></tr> <tr><td>蓄電池用充電器 (使用済燃料貯蔵プール温度及び水位の監視設備, 通信連絡設備等)</td><td>349</td></tr> <tr><td>その他の非常用負荷* (燃料貯蔵プールの放射線モニタ, 通信連絡設備等)</td><td>2121</td></tr> <tr><td>負荷合計</td><td>4700</td></tr> </tbody> </table> <p>注記* : 「工学的安全施設の作動時に必要な負荷」の共通負荷以外に、工学的安全施設ではないが、発電所の安全停止に必要なタービン・発電機補機等を起動する。</p>	設備・機器名	負荷容量 (kW)	残留熱除去系ポンプ 6A	490	原子炉補機冷却水ポンプ 6A	297	原子炉補機冷却水ポンプ 6D	297	原子炉補機冷却海水ポンプ 6A	252	原子炉補機冷却海水ポンプ 6D	252	制御機駆動水ポンプ 6A	379	照明設備	100	非常用ガス処理装置	17	ディーゼル室換気設備	146	蓄電池用充電器 (使用済燃料貯蔵プール温度及び水位の監視設備, 通信連絡設備等)	349	その他の非常用負荷* (燃料貯蔵プールの放射線モニタ, 通信連絡設備等)	2121	負荷合計	4700	・設備構成の差異
設備・機器名	負荷容量 (kW)																																																						
残留熱除去系ポンプ 7A	526																																																						
原子炉補機冷却水ポンプ 7A	280																																																						
原子炉補機冷却水ポンプ 7D	280																																																						
原子炉補機冷却海水ポンプ 7A	245																																																						
原子炉補機冷却海水ポンプ 7D	245																																																						
制御機駆動水ポンプ 7A	390																																																						
照明設備	123																																																						
非常用ガス処理装置	15																																																						
ディーゼル室換気設備	114																																																						
蓄電池用充電器 (使用済燃料貯蔵プール温度及び水位の監視設備, 通信連絡設備等)	390																																																						
その他の非常用負荷* (燃料貯蔵プールの放射線モニタ, 通信連絡設備等)	2117																																																						
負荷合計	4725																																																						
設備・機器名	負荷容量 (kW)																																																						
残留熱除去系ポンプ 6A	490																																																						
原子炉補機冷却水ポンプ 6A	297																																																						
原子炉補機冷却水ポンプ 6D	297																																																						
原子炉補機冷却海水ポンプ 6A	252																																																						
原子炉補機冷却海水ポンプ 6D	252																																																						
制御機駆動水ポンプ 6A	379																																																						
照明設備	100																																																						
非常用ガス処理装置	17																																																						
ディーゼル室換気設備	146																																																						
蓄電池用充電器 (使用済燃料貯蔵プール温度及び水位の監視設備, 通信連絡設備等)	349																																																						
その他の非常用負荷* (燃料貯蔵プールの放射線モニタ, 通信連絡設備等)	2121																																																						
負荷合計	4700																																																						

青字 : 柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
 黄色 : 前回提出時からの変更箇所

本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考																																																				
	<p data-bbox="834 289 1457 363">表 3-2 発電所を安全に停止するために必要な負荷 (非常用ディーゼル発電機 7B)</p> <table border="1" data-bbox="825 457 1397 1262"> <thead> <tr> <th>設備・機器名</th> <th>負荷容量 (kW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>高圧炉心注水系ポンプ 7B</td><td>1188</td></tr> <tr><td>残留熱除去系ポンプ 7B</td><td>526</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水ポンプ 7B</td><td>280</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水ポンプ 7E</td><td>280</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却海水ポンプ 7B</td><td>245</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却海水ポンプ 7E</td><td>245</td></tr> <tr><td>照明設備</td><td>112</td></tr> <tr><td>非常用ガス処理装置</td><td>15</td></tr> <tr><td>ディーゼル室換気設備</td><td>114</td></tr> <tr><td>蓄電池用充電器</td><td>246</td></tr> <tr><td>その他の非常用負荷*</td><td>1721</td></tr> <tr><td>負荷合計</td><td>4972</td></tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1403 380 1472 1247">注記* : 「工学的安全施設の作動時に必要な負荷」の共通負荷以外に、工学的安全施設ではないが、発電所の安全停止に必要なタービン・発電機補機等を起動する。</p>	設備・機器名	負荷容量 (kW)	高圧炉心注水系ポンプ 7B	1188	残留熱除去系ポンプ 7B	526	原子炉補機冷却水ポンプ 7B	280	原子炉補機冷却水ポンプ 7E	280	原子炉補機冷却海水ポンプ 7B	245	原子炉補機冷却海水ポンプ 7E	245	照明設備	112	非常用ガス処理装置	15	ディーゼル室換気設備	114	蓄電池用充電器	246	その他の非常用負荷*	1721	負荷合計	4972	<p data-bbox="1504 289 2128 363">表 3-2 発電所を安全に停止するために必要な負荷 (非常用ディーゼル発電機 6B)</p> <table border="1" data-bbox="1495 457 2068 1262"> <thead> <tr> <th>設備・機器名</th> <th>負荷容量 (kW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>高圧炉心注水系ポンプ 6B</td><td>1224</td></tr> <tr><td>残留熱除去系ポンプ 6B</td><td>490</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水ポンプ 6B</td><td>297</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水ポンプ 6E</td><td>297</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却海水ポンプ 6B</td><td>252</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却海水ポンプ 6E</td><td>252</td></tr> <tr><td>照明設備</td><td>100</td></tr> <tr><td>非常用ガス処理装置</td><td>17</td></tr> <tr><td>ディーゼル室換気設備</td><td>147</td></tr> <tr><td>蓄電池用充電器</td><td>210</td></tr> <tr><td>その他の非常用負荷*</td><td>1531</td></tr> <tr><td>負荷合計</td><td>4817</td></tr> </tbody> </table> <p data-bbox="2074 380 2142 1247">注記* : 「工学的安全施設の作動時に必要な負荷」の共通負荷以外に、工学的安全施設ではないが、発電所の安全停止に必要なタービン・発電機補機等を起動する。</p>	設備・機器名	負荷容量 (kW)	高圧炉心注水系ポンプ 6B	1224	残留熱除去系ポンプ 6B	490	原子炉補機冷却水ポンプ 6B	297	原子炉補機冷却水ポンプ 6E	297	原子炉補機冷却海水ポンプ 6B	252	原子炉補機冷却海水ポンプ 6E	252	照明設備	100	非常用ガス処理装置	17	ディーゼル室換気設備	147	蓄電池用充電器	210	その他の非常用負荷*	1531	負荷合計	4817	<p data-bbox="2175 289 2377 317">・設備構成の差異</p>
設備・機器名	負荷容量 (kW)																																																						
高圧炉心注水系ポンプ 7B	1188																																																						
残留熱除去系ポンプ 7B	526																																																						
原子炉補機冷却水ポンプ 7B	280																																																						
原子炉補機冷却水ポンプ 7E	280																																																						
原子炉補機冷却海水ポンプ 7B	245																																																						
原子炉補機冷却海水ポンプ 7E	245																																																						
照明設備	112																																																						
非常用ガス処理装置	15																																																						
ディーゼル室換気設備	114																																																						
蓄電池用充電器	246																																																						
その他の非常用負荷*	1721																																																						
負荷合計	4972																																																						
設備・機器名	負荷容量 (kW)																																																						
高圧炉心注水系ポンプ 6B	1224																																																						
残留熱除去系ポンプ 6B	490																																																						
原子炉補機冷却水ポンプ 6B	297																																																						
原子炉補機冷却水ポンプ 6E	297																																																						
原子炉補機冷却海水ポンプ 6B	252																																																						
原子炉補機冷却海水ポンプ 6E	252																																																						
照明設備	100																																																						
非常用ガス処理装置	17																																																						
ディーゼル室換気設備	147																																																						
蓄電池用充電器	210																																																						
その他の非常用負荷*	1531																																																						
負荷合計	4817																																																						

青字 : 柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
 黄色 : 前回提出時からの変更箇所


本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考																																																				
	<p data-bbox="834 289 1460 363">表 3-3 発電所を安全に停止するために必要な負荷 (非常用ディーゼル発電機 7C)</p> <table border="1" data-bbox="825 390 1466 1293"> <thead> <tr> <th>設備・機器名</th> <th>負荷容量(kW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>高圧炉心注水系ポンプ 7C</td><td>1188</td></tr> <tr><td>残留熱除去系ポンプ 7C</td><td>526</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水ポンプ 7C</td><td>121</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水ポンプ 7F</td><td>121</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却海水ポンプ 7C</td><td>245</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却海水ポンプ 7F</td><td>245</td></tr> <tr><td>制御棒駆動水ポンプ 7B</td><td>390</td></tr> <tr><td>照明設備</td><td>112</td></tr> <tr><td>ディーゼル室換気設備</td><td>149</td></tr> <tr><td>蓄電池用充電器</td><td>196</td></tr> <tr><td>その他の非常用負荷</td><td>494</td></tr> <tr><td>負荷合計</td><td>3787</td></tr> </tbody> </table>	設備・機器名	負荷容量(kW)	高圧炉心注水系ポンプ 7C	1188	残留熱除去系ポンプ 7C	526	原子炉補機冷却水ポンプ 7C	121	原子炉補機冷却水ポンプ 7F	121	原子炉補機冷却海水ポンプ 7C	245	原子炉補機冷却海水ポンプ 7F	245	制御棒駆動水ポンプ 7B	390	照明設備	112	ディーゼル室換気設備	149	蓄電池用充電器	196	その他の非常用負荷	494	負荷合計	3787	<p data-bbox="1507 289 2133 363">表 3-3 発電所を安全に停止するために必要な負荷 (非常用ディーゼル発電機 6C)</p> <table border="1" data-bbox="1498 390 2139 1293"> <thead> <tr> <th>設備・機器名</th> <th>負荷容量(kW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>高圧炉心注水系ポンプ 6C</td><td>1224</td></tr> <tr><td>残留熱除去系ポンプ 6C</td><td>490</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水ポンプ 6C</td><td>236</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水ポンプ 6F</td><td>236</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却海水ポンプ 6C</td><td>252</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却海水ポンプ 6F</td><td>252</td></tr> <tr><td>制御棒駆動水ポンプ 6B</td><td>379</td></tr> <tr><td>照明設備</td><td>100</td></tr> <tr><td>ディーゼル室換気設備</td><td>157</td></tr> <tr><td>蓄電池用充電器</td><td>194</td></tr> <tr><td>その他の非常用負荷</td><td>726</td></tr> <tr><td>負荷合計</td><td>4246</td></tr> </tbody> </table>	設備・機器名	負荷容量(kW)	高圧炉心注水系ポンプ 6C	1224	残留熱除去系ポンプ 6C	490	原子炉補機冷却水ポンプ 6C	236	原子炉補機冷却水ポンプ 6F	236	原子炉補機冷却海水ポンプ 6C	252	原子炉補機冷却海水ポンプ 6F	252	制御棒駆動水ポンプ 6B	379	照明設備	100	ディーゼル室換気設備	157	蓄電池用充電器	194	その他の非常用負荷	726	負荷合計	4246	<p data-bbox="2169 289 2813 590"> ・設備構成の差異 (「その他の非常用負荷」について、動作時間が短時間である負荷として整理する考え方にメーカーの違いがあり、6号機のみ見込んでいる負荷がある。 また、電源供給元の系統が異なる負荷(6号機ではC系、7号機ではA系に負荷容量を計上している負荷)があり負荷容量に差がある。) </p>
設備・機器名	負荷容量(kW)																																																						
高圧炉心注水系ポンプ 7C	1188																																																						
残留熱除去系ポンプ 7C	526																																																						
原子炉補機冷却水ポンプ 7C	121																																																						
原子炉補機冷却水ポンプ 7F	121																																																						
原子炉補機冷却海水ポンプ 7C	245																																																						
原子炉補機冷却海水ポンプ 7F	245																																																						
制御棒駆動水ポンプ 7B	390																																																						
照明設備	112																																																						
ディーゼル室換気設備	149																																																						
蓄電池用充電器	196																																																						
その他の非常用負荷	494																																																						
負荷合計	3787																																																						
設備・機器名	負荷容量(kW)																																																						
高圧炉心注水系ポンプ 6C	1224																																																						
残留熱除去系ポンプ 6C	490																																																						
原子炉補機冷却水ポンプ 6C	236																																																						
原子炉補機冷却水ポンプ 6F	236																																																						
原子炉補機冷却海水ポンプ 6C	252																																																						
原子炉補機冷却海水ポンプ 6F	252																																																						
制御棒駆動水ポンプ 6B	379																																																						
照明設備	100																																																						
ディーゼル室換気設備	157																																																						
蓄電池用充電器	194																																																						
その他の非常用負荷	726																																																						
負荷合計	4246																																																						

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
 黄色：前回提出時からの変更箇所

本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考																																																
	<p data-bbox="863 289 1427 363">表3-4 工学的安全施設の作動時に必要な負荷 (非常用ディーゼル発電機7A)</p> <table border="1" data-bbox="825 449 1403 1209"> <thead> <tr> <th>設備・機器名</th> <th>負荷容量(kW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>残留熱除去系ポンプ7A</td><td>526</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水ポンプ7A</td><td>280</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水ポンプ7D</td><td>280</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却海水ポンプ7A</td><td>245</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却海水ポンプ7D</td><td>245</td></tr> <tr><td>照明設備</td><td>123</td></tr> <tr><td>非常用ガス処理装置</td><td>15</td></tr> <tr><td>ディーゼル室換気設備</td><td>114</td></tr> <tr><td>蓄電池用充電器(使用済燃料貯蔵プール温度及び水位の監視設備, 通信連絡設備等)</td><td>390</td></tr> <tr><td>その他の非常用負荷* (燃料貯蔵プールの放射線モニタ, 通信連絡設備等)</td><td>1952</td></tr> <tr><td>負荷合計</td><td>4170</td></tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1406 384 1478 1199">注記*:「発電所を安全に停止するために必要な負荷」の共通負荷以外に, 格納容器雰囲気モニタ系事故時用サンプルポンプ7A等を起動する。</p>	設備・機器名	負荷容量(kW)	残留熱除去系ポンプ7A	526	原子炉補機冷却水ポンプ7A	280	原子炉補機冷却水ポンプ7D	280	原子炉補機冷却海水ポンプ7A	245	原子炉補機冷却海水ポンプ7D	245	照明設備	123	非常用ガス処理装置	15	ディーゼル室換気設備	114	蓄電池用充電器(使用済燃料貯蔵プール温度及び水位の監視設備, 通信連絡設備等)	390	その他の非常用負荷* (燃料貯蔵プールの放射線モニタ, 通信連絡設備等)	1952	負荷合計	4170	<p data-bbox="1534 289 2098 363">表3-4 工学的安全施設の作動時に必要な負荷 (非常用ディーゼル発電機6A)</p> <table border="1" data-bbox="1495 449 2074 1209"> <thead> <tr> <th>設備・機器名</th> <th>負荷容量(kW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>残留熱除去系ポンプ6A</td><td>490</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水ポンプ6A</td><td>297</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水ポンプ6D</td><td>297</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却海水ポンプ6A</td><td>252</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却海水ポンプ6D</td><td>252</td></tr> <tr><td>照明設備</td><td>100</td></tr> <tr><td>非常用ガス処理装置</td><td>20</td></tr> <tr><td>ディーゼル室換気設備</td><td>146</td></tr> <tr><td>蓄電池用充電器(使用済燃料貯蔵プール温度及び水位の監視設備, 通信連絡設備等)</td><td>349</td></tr> <tr><td>その他の非常用負荷* (燃料貯蔵プールの放射線モニタ, 通信連絡設備等)</td><td>1902</td></tr> <tr><td>負荷合計</td><td>4105</td></tr> </tbody> </table> <p data-bbox="2074 384 2145 1199">注記*:「発電所を安全に停止するために必要な負荷」の共通負荷以外に, 格納容器雰囲気モニタ系事故時用サンプルポンプ6A等を起動する。</p>	設備・機器名	負荷容量(kW)	残留熱除去系ポンプ6A	490	原子炉補機冷却水ポンプ6A	297	原子炉補機冷却水ポンプ6D	297	原子炉補機冷却海水ポンプ6A	252	原子炉補機冷却海水ポンプ6D	252	照明設備	100	非常用ガス処理装置	20	ディーゼル室換気設備	146	蓄電池用充電器(使用済燃料貯蔵プール温度及び水位の監視設備, 通信連絡設備等)	349	その他の非常用負荷* (燃料貯蔵プールの放射線モニタ, 通信連絡設備等)	1902	負荷合計	4105	<p data-bbox="2169 289 2377 321">・設備構成の差異</p>
設備・機器名	負荷容量(kW)																																																		
残留熱除去系ポンプ7A	526																																																		
原子炉補機冷却水ポンプ7A	280																																																		
原子炉補機冷却水ポンプ7D	280																																																		
原子炉補機冷却海水ポンプ7A	245																																																		
原子炉補機冷却海水ポンプ7D	245																																																		
照明設備	123																																																		
非常用ガス処理装置	15																																																		
ディーゼル室換気設備	114																																																		
蓄電池用充電器(使用済燃料貯蔵プール温度及び水位の監視設備, 通信連絡設備等)	390																																																		
その他の非常用負荷* (燃料貯蔵プールの放射線モニタ, 通信連絡設備等)	1952																																																		
負荷合計	4170																																																		
設備・機器名	負荷容量(kW)																																																		
残留熱除去系ポンプ6A	490																																																		
原子炉補機冷却水ポンプ6A	297																																																		
原子炉補機冷却水ポンプ6D	297																																																		
原子炉補機冷却海水ポンプ6A	252																																																		
原子炉補機冷却海水ポンプ6D	252																																																		
照明設備	100																																																		
非常用ガス処理装置	20																																																		
ディーゼル室換気設備	146																																																		
蓄電池用充電器(使用済燃料貯蔵プール温度及び水位の監視設備, 通信連絡設備等)	349																																																		
その他の非常用負荷* (燃料貯蔵プールの放射線モニタ, 通信連絡設備等)	1902																																																		
負荷合計	4105																																																		

青字: 柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
: 前回提出時からの変更箇所

本資料のうち枠囲みの内容は, 機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考																																																				
	<p data-bbox="863 289 1427 363">表3-5 工学的安全施設の作動時に必要な負荷 (非常用ディーゼル発電機7B)</p> <table border="1" data-bbox="825 453 1391 1255"> <thead> <tr> <th>設備・機器名</th> <th>負荷容量(kW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>高圧炉心注水系ポンプ7B</td><td>1188</td></tr> <tr><td>残留熱除去系ポンプ7B</td><td>526</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水ポンプ7B</td><td>280</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水ポンプ7E</td><td>280</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却海水ポンプ7B</td><td>245</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却海水ポンプ7E</td><td>245</td></tr> <tr><td>照明設備</td><td>112</td></tr> <tr><td>非常用ガス処理装置</td><td>15</td></tr> <tr><td>ディーゼル室換気設備</td><td>114</td></tr> <tr><td>蓄電池用充電器</td><td>246</td></tr> <tr><td>その他の非常用負荷*</td><td>1627</td></tr> <tr><td>負荷合計</td><td>4878</td></tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1397 384 1469 1241">注記*：「発電所を安全に停止するために必要な負荷」の共通負荷以外に、格納容器雰囲気モニタ系事故時用サンプルポンプ7B等を起動する。</p>	設備・機器名	負荷容量(kW)	高圧炉心注水系ポンプ7B	1188	残留熱除去系ポンプ7B	526	原子炉補機冷却水ポンプ7B	280	原子炉補機冷却水ポンプ7E	280	原子炉補機冷却海水ポンプ7B	245	原子炉補機冷却海水ポンプ7E	245	照明設備	112	非常用ガス処理装置	15	ディーゼル室換気設備	114	蓄電池用充電器	246	その他の非常用負荷*	1627	負荷合計	4878	<p data-bbox="1534 289 2098 363">表3-5 工学的安全施設の作動時に必要な負荷 (非常用ディーゼル発電機6B)</p> <table border="1" data-bbox="1495 453 2062 1255"> <thead> <tr> <th>設備・機器名</th> <th>負荷容量(kW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>高圧炉心注水系ポンプ6B</td><td>1224</td></tr> <tr><td>残留熱除去系ポンプ6B</td><td>490</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水ポンプ6B</td><td>297</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水ポンプ6E</td><td>297</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却海水ポンプ6B</td><td>252</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却海水ポンプ6E</td><td>252</td></tr> <tr><td>照明設備</td><td>100</td></tr> <tr><td>非常用ガス処理装置</td><td>20</td></tr> <tr><td>ディーゼル室換気設備</td><td>147</td></tr> <tr><td>蓄電池用充電器</td><td>210</td></tr> <tr><td>その他の非常用負荷*</td><td>1355</td></tr> <tr><td>負荷合計</td><td>4644</td></tr> </tbody> </table> <p data-bbox="2068 384 2139 1241">注記*：「発電所を安全に停止するために必要な負荷」の共通負荷以外に、格納容器雰囲気モニタ系事故時用サンプルポンプ6B等を起動する。</p>	設備・機器名	負荷容量(kW)	高圧炉心注水系ポンプ6B	1224	残留熱除去系ポンプ6B	490	原子炉補機冷却水ポンプ6B	297	原子炉補機冷却水ポンプ6E	297	原子炉補機冷却海水ポンプ6B	252	原子炉補機冷却海水ポンプ6E	252	照明設備	100	非常用ガス処理装置	20	ディーゼル室換気設備	147	蓄電池用充電器	210	その他の非常用負荷*	1355	負荷合計	4644	<p data-bbox="2169 289 2810 499">・設備構成の差異 (「その他の非常用負荷」について、 電源供給元の系統が異なる負荷(6号機ではA系、7号機ではB系に負荷容量を計上している負荷)があり負荷容量に差がある。)</p>
設備・機器名	負荷容量(kW)																																																						
高圧炉心注水系ポンプ7B	1188																																																						
残留熱除去系ポンプ7B	526																																																						
原子炉補機冷却水ポンプ7B	280																																																						
原子炉補機冷却水ポンプ7E	280																																																						
原子炉補機冷却海水ポンプ7B	245																																																						
原子炉補機冷却海水ポンプ7E	245																																																						
照明設備	112																																																						
非常用ガス処理装置	15																																																						
ディーゼル室換気設備	114																																																						
蓄電池用充電器	246																																																						
その他の非常用負荷*	1627																																																						
負荷合計	4878																																																						
設備・機器名	負荷容量(kW)																																																						
高圧炉心注水系ポンプ6B	1224																																																						
残留熱除去系ポンプ6B	490																																																						
原子炉補機冷却水ポンプ6B	297																																																						
原子炉補機冷却水ポンプ6E	297																																																						
原子炉補機冷却海水ポンプ6B	252																																																						
原子炉補機冷却海水ポンプ6E	252																																																						
照明設備	100																																																						
非常用ガス処理装置	20																																																						
ディーゼル室換気設備	147																																																						
蓄電池用充電器	210																																																						
その他の非常用負荷*	1355																																																						
負荷合計	4644																																																						

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
 黄色：前回提出時からの変更箇所

本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考																																																
	<p data-bbox="863 289 1427 363">表3-6 工学的安全施設の作動時に必要な負荷 (非常用ディーゼル発電機7C)</p> <table border="1" data-bbox="825 394 1466 1377"> <thead> <tr> <th data-bbox="834 642 872 1371">設備・機器名</th> <th data-bbox="834 394 872 642">負荷容量(kW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td data-bbox="884 642 923 1371">高圧炉心注水系ポンプ7C</td><td data-bbox="884 394 923 642">1188</td></tr> <tr><td data-bbox="931 642 970 1371">残留熱除去系ポンプ7C</td><td data-bbox="931 394 970 642">526</td></tr> <tr><td data-bbox="979 642 1018 1371">原子炉補機冷却水ポンプ7C</td><td data-bbox="979 394 1018 642">121</td></tr> <tr><td data-bbox="1026 642 1065 1371">原子炉補機冷却水ポンプ7F</td><td data-bbox="1026 394 1065 642">121</td></tr> <tr><td data-bbox="1074 642 1113 1371">原子炉補機冷却海水ポンプ7C</td><td data-bbox="1074 394 1113 642">245</td></tr> <tr><td data-bbox="1121 642 1160 1371">原子炉補機冷却海水ポンプ7F</td><td data-bbox="1121 394 1160 642">245</td></tr> <tr><td data-bbox="1169 642 1207 1371">照明設備</td><td data-bbox="1169 394 1207 642">112</td></tr> <tr><td data-bbox="1216 642 1255 1371">ディーゼル室換気設備</td><td data-bbox="1216 394 1255 642">149</td></tr> <tr><td data-bbox="1264 642 1302 1371">蓄電池用充電器</td><td data-bbox="1264 394 1302 642">196</td></tr> <tr><td data-bbox="1311 642 1350 1371">その他の非常用負荷</td><td data-bbox="1311 394 1350 642">495</td></tr> <tr><td data-bbox="1359 642 1397 1371">負荷合計</td><td data-bbox="1359 394 1397 642">3398</td></tr> </tbody> </table>	設備・機器名	負荷容量(kW)	高圧炉心注水系ポンプ7C	1188	残留熱除去系ポンプ7C	526	原子炉補機冷却水ポンプ7C	121	原子炉補機冷却水ポンプ7F	121	原子炉補機冷却海水ポンプ7C	245	原子炉補機冷却海水ポンプ7F	245	照明設備	112	ディーゼル室換気設備	149	蓄電池用充電器	196	その他の非常用負荷	495	負荷合計	3398	<p data-bbox="1537 289 2101 363">表3-6 工学的安全施設の作動時に必要な負荷 (非常用ディーゼル発電機6C)</p> <table border="1" data-bbox="1498 394 2139 1377"> <thead> <tr> <th data-bbox="1507 642 1546 1371">設備・機器名</th> <th data-bbox="1507 394 1546 642">負荷容量(kW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td data-bbox="1555 642 1593 1371">高圧炉心注水系ポンプ6C</td><td data-bbox="1555 394 1593 642">1224</td></tr> <tr><td data-bbox="1602 642 1641 1371">残留熱除去系ポンプ6C</td><td data-bbox="1602 394 1641 642">490</td></tr> <tr><td data-bbox="1650 642 1688 1371">原子炉補機冷却水ポンプ6C</td><td data-bbox="1650 394 1688 642">236</td></tr> <tr><td data-bbox="1697 642 1736 1371">原子炉補機冷却水ポンプ6F</td><td data-bbox="1697 394 1736 642">236</td></tr> <tr><td data-bbox="1745 642 1783 1371">原子炉補機冷却海水ポンプ6C</td><td data-bbox="1745 394 1783 642">252</td></tr> <tr><td data-bbox="1792 642 1831 1371">原子炉補機冷却海水ポンプ6F</td><td data-bbox="1792 394 1831 642">252</td></tr> <tr><td data-bbox="1840 642 1878 1371">照明設備</td><td data-bbox="1840 394 1878 642">100</td></tr> <tr><td data-bbox="1887 642 1926 1371">ディーゼル室換気設備</td><td data-bbox="1887 394 1926 642">157</td></tr> <tr><td data-bbox="1935 642 1973 1371">蓄電池用充電器</td><td data-bbox="1935 394 1973 642">194</td></tr> <tr><td data-bbox="1982 642 2021 1371">その他の非常用負荷</td><td data-bbox="1982 394 2021 642">721</td></tr> <tr><td data-bbox="2030 642 2068 1371">負荷合計</td><td data-bbox="2030 394 2068 642">3862</td></tr> </tbody> </table>	設備・機器名	負荷容量(kW)	高圧炉心注水系ポンプ6C	1224	残留熱除去系ポンプ6C	490	原子炉補機冷却水ポンプ6C	236	原子炉補機冷却水ポンプ6F	236	原子炉補機冷却海水ポンプ6C	252	原子炉補機冷却海水ポンプ6F	252	照明設備	100	ディーゼル室換気設備	157	蓄電池用充電器	194	その他の非常用負荷	721	負荷合計	3862	<p data-bbox="2169 289 2813 590"> ・設備構成の差異 (「その他の非常用負荷」について、動作時間が短時間である負荷として整理する考え方にメーカーの違いがあり、6号機のみ見込んでいる負荷がある。 また、電源供給元の系統が異なる負荷(6号機ではC系、7号機ではA系に負荷容量を計上している負荷)があり負荷容量に差がある。) </p>
設備・機器名	負荷容量(kW)																																																		
高圧炉心注水系ポンプ7C	1188																																																		
残留熱除去系ポンプ7C	526																																																		
原子炉補機冷却水ポンプ7C	121																																																		
原子炉補機冷却水ポンプ7F	121																																																		
原子炉補機冷却海水ポンプ7C	245																																																		
原子炉補機冷却海水ポンプ7F	245																																																		
照明設備	112																																																		
ディーゼル室換気設備	149																																																		
蓄電池用充電器	196																																																		
その他の非常用負荷	495																																																		
負荷合計	3398																																																		
設備・機器名	負荷容量(kW)																																																		
高圧炉心注水系ポンプ6C	1224																																																		
残留熱除去系ポンプ6C	490																																																		
原子炉補機冷却水ポンプ6C	236																																																		
原子炉補機冷却水ポンプ6F	236																																																		
原子炉補機冷却海水ポンプ6C	252																																																		
原子炉補機冷却海水ポンプ6F	252																																																		
照明設備	100																																																		
ディーゼル室換気設備	157																																																		
蓄電池用充電器	194																																																		
その他の非常用負荷	721																																																		
負荷合計	3862																																																		

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
 黄色：前回提出時からの変更箇所

本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機

柏崎刈羽原子力発電所 第7号機

柏崎刈羽原子力発電所 第6号機

備考

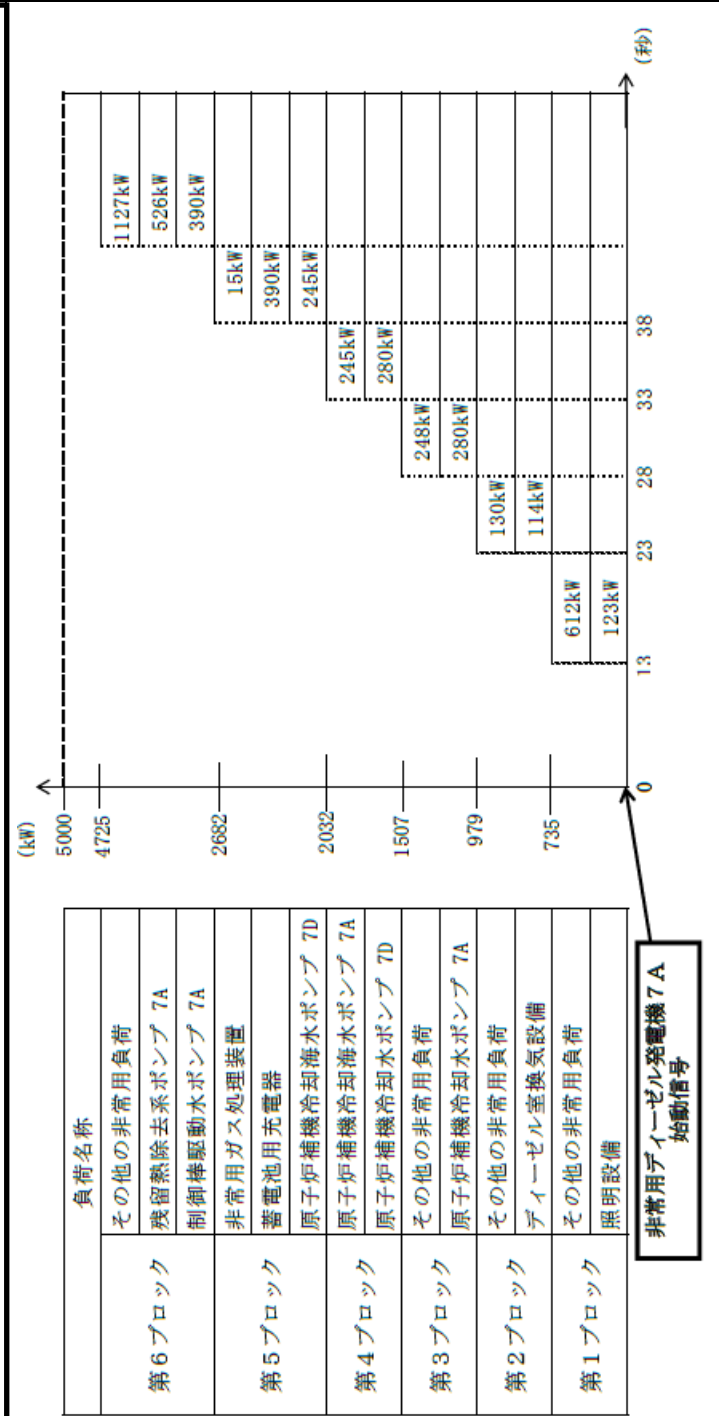


図3-1 発電所を安全に停止するために必要な負荷
(非常用ディーゼル発電機 7A)
積算イメージ

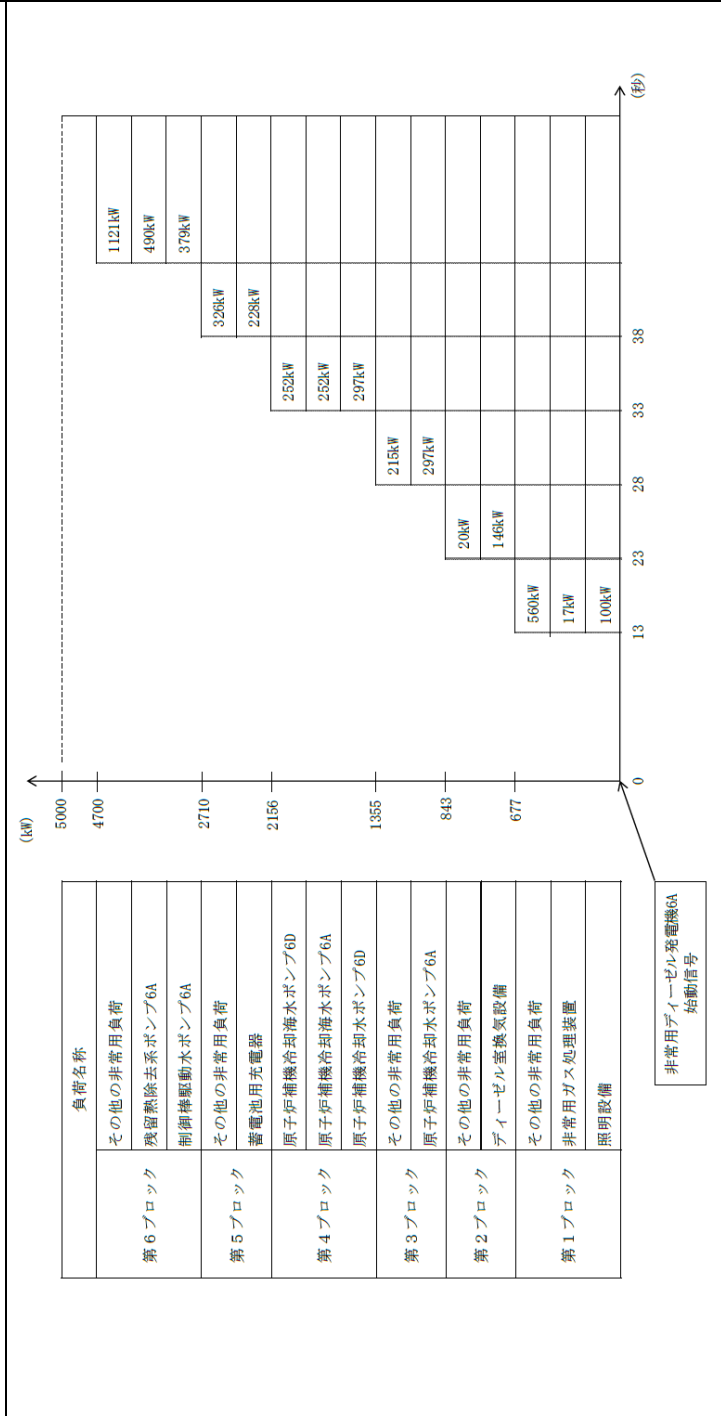


図3-1 発電所を安全に停止するために必要な負荷
(非常用ディーゼル発電機 6A)
積算イメージ

・設備構成の差異

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
 黄色：前回提出時からの変更箇所

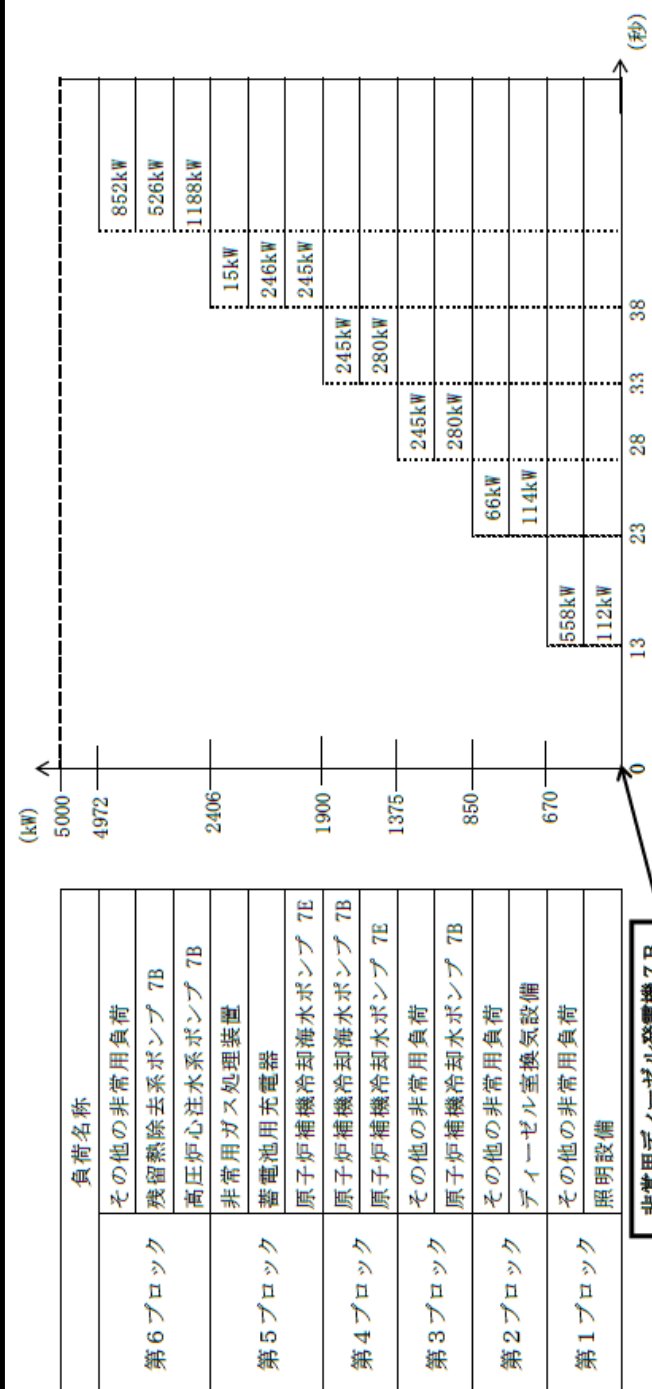


図3-2 発電所を安全に停止するために必要な負荷
(非常用ディーゼル発電機 7B)
積算イメージ

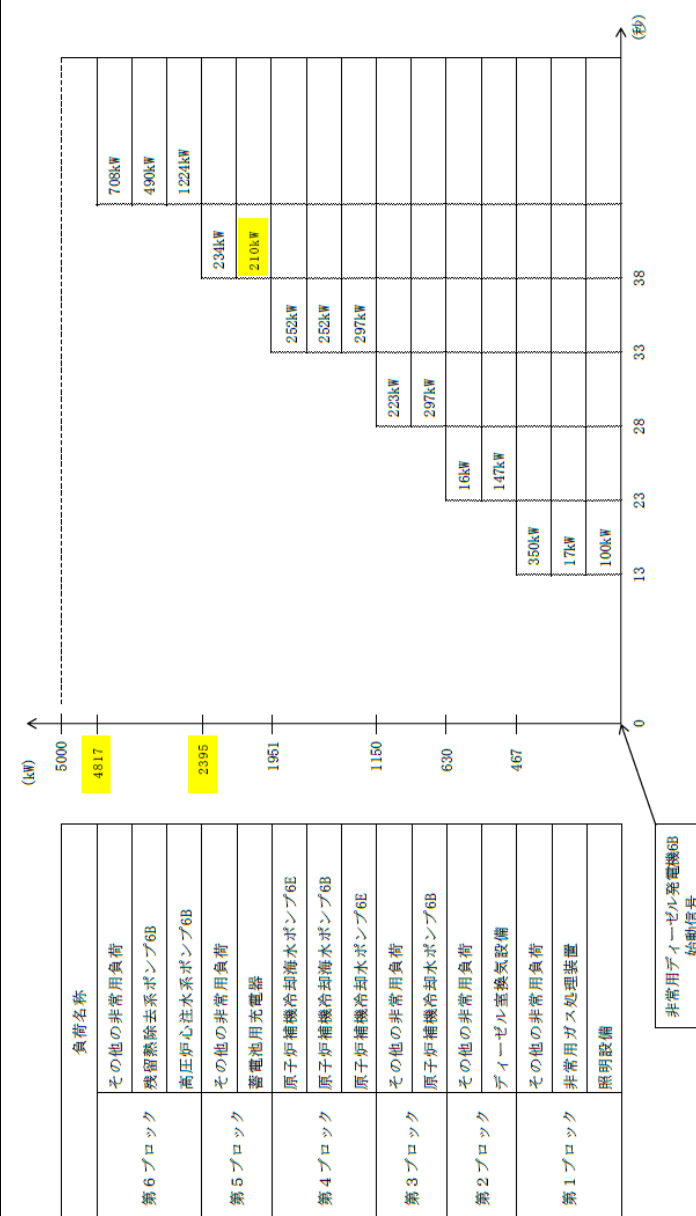


図3-2 発電所を安全に停止するために必要な負荷
(非常用ディーゼル発電機 6B)
積算イメージ

・設備構成の差異

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
黄色：前回提出時からの変更箇所

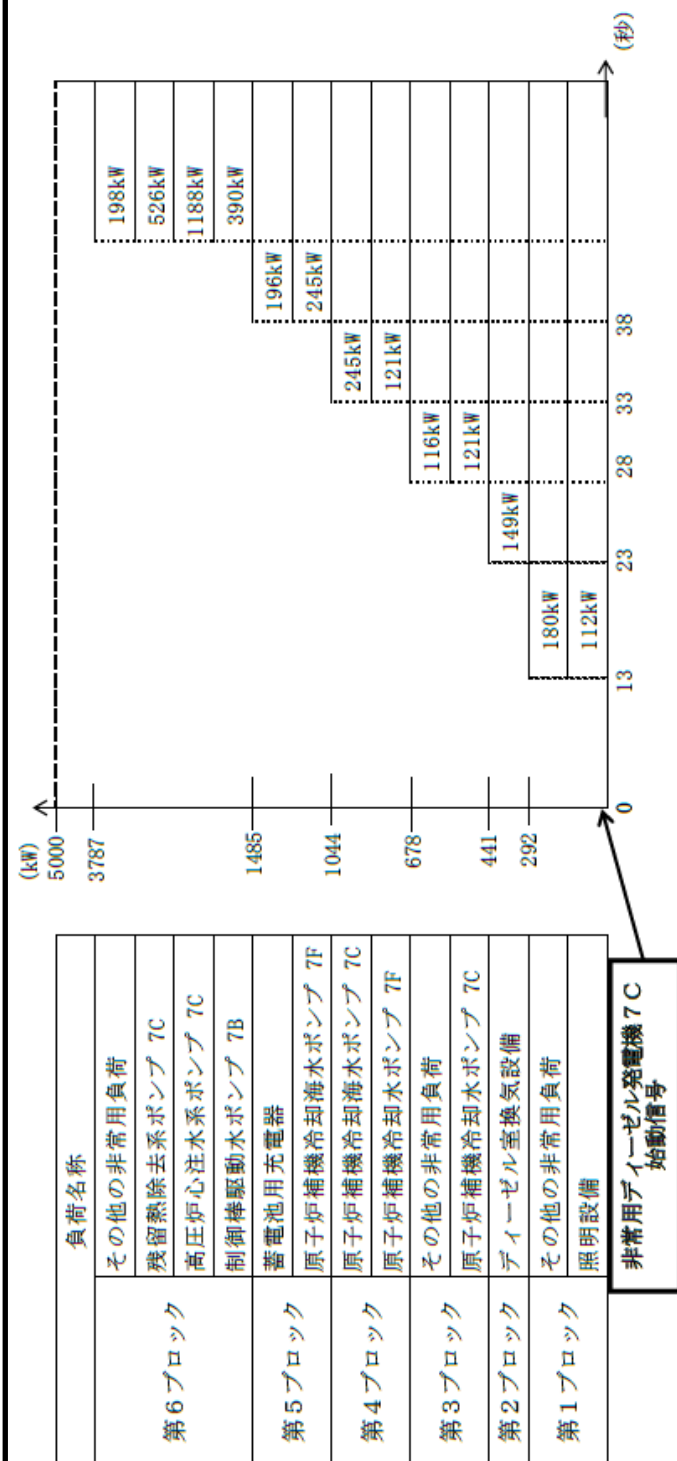


図 3-3 発電所を安全に停止するために必要な負荷
(非常用ディーゼル発電機 7C)
積算イメージ

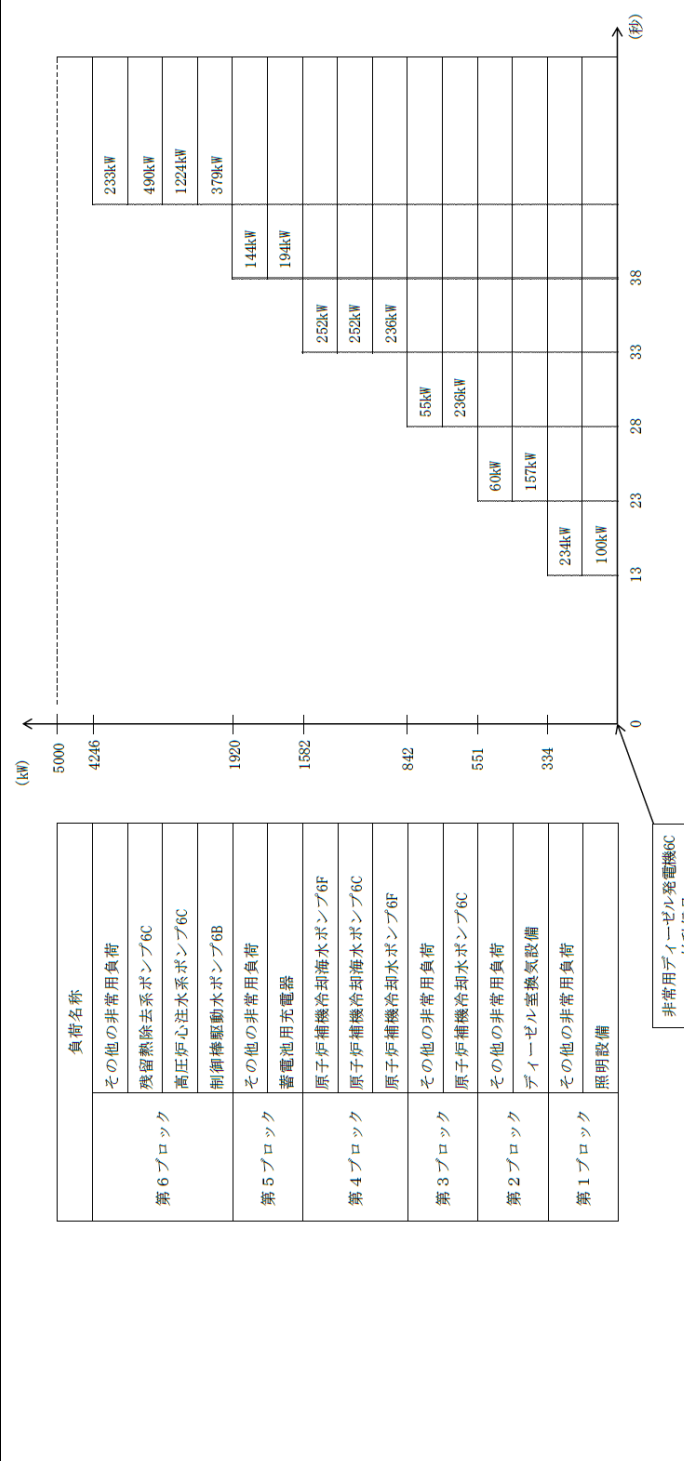


図 3-3 発電所を安全に停止するために必要な負荷
(非常用ディーゼル発電機 6C)
積算イメージ

・設備構成の差異

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
黄色：前回提出時からの変更箇所

島根原子力発電所 第2号機

柏崎刈羽原子力発電所 第7号機

柏崎刈羽原子力発電所 第6号機

備考

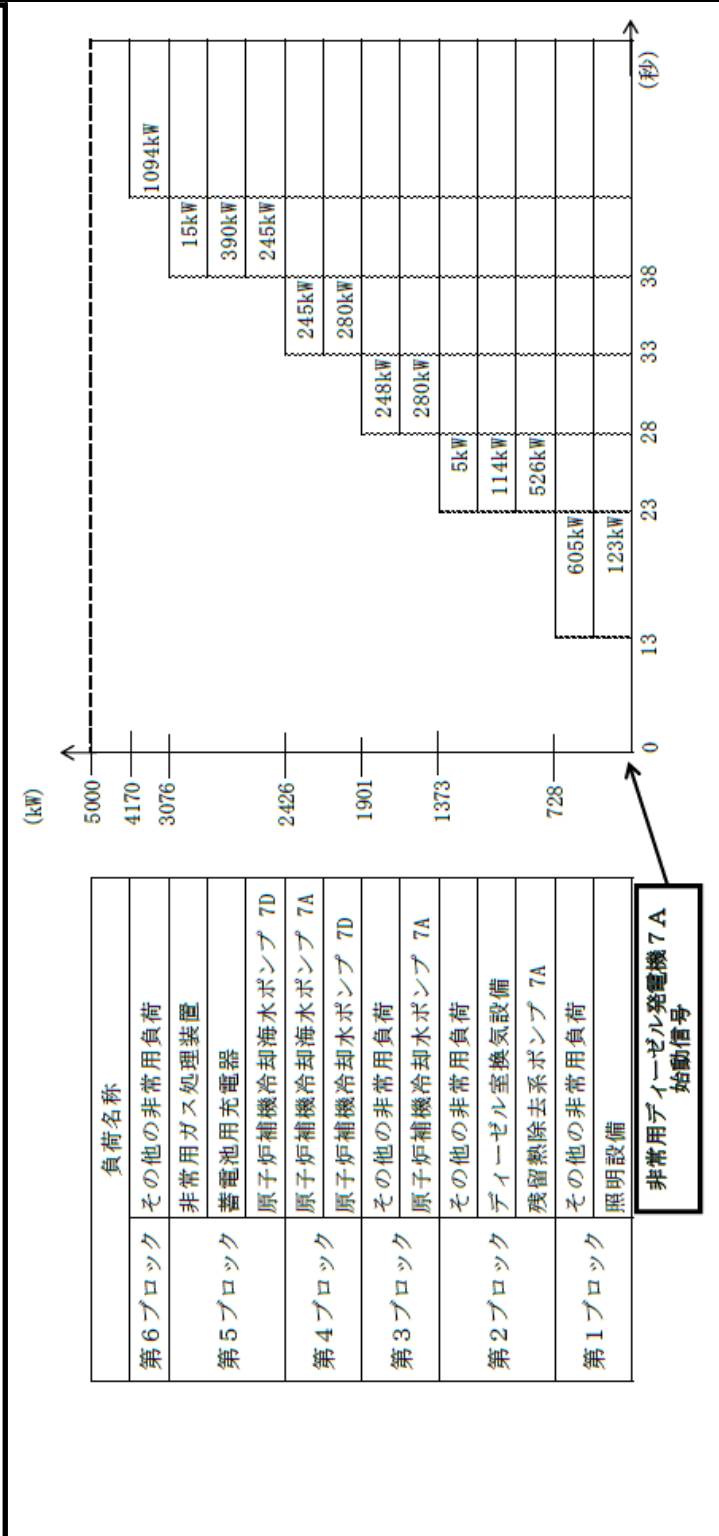


図 3-4 工学的安全施設の作動時に必要な負荷 (非常用ディーゼル発電機 7A) 積算イメージ

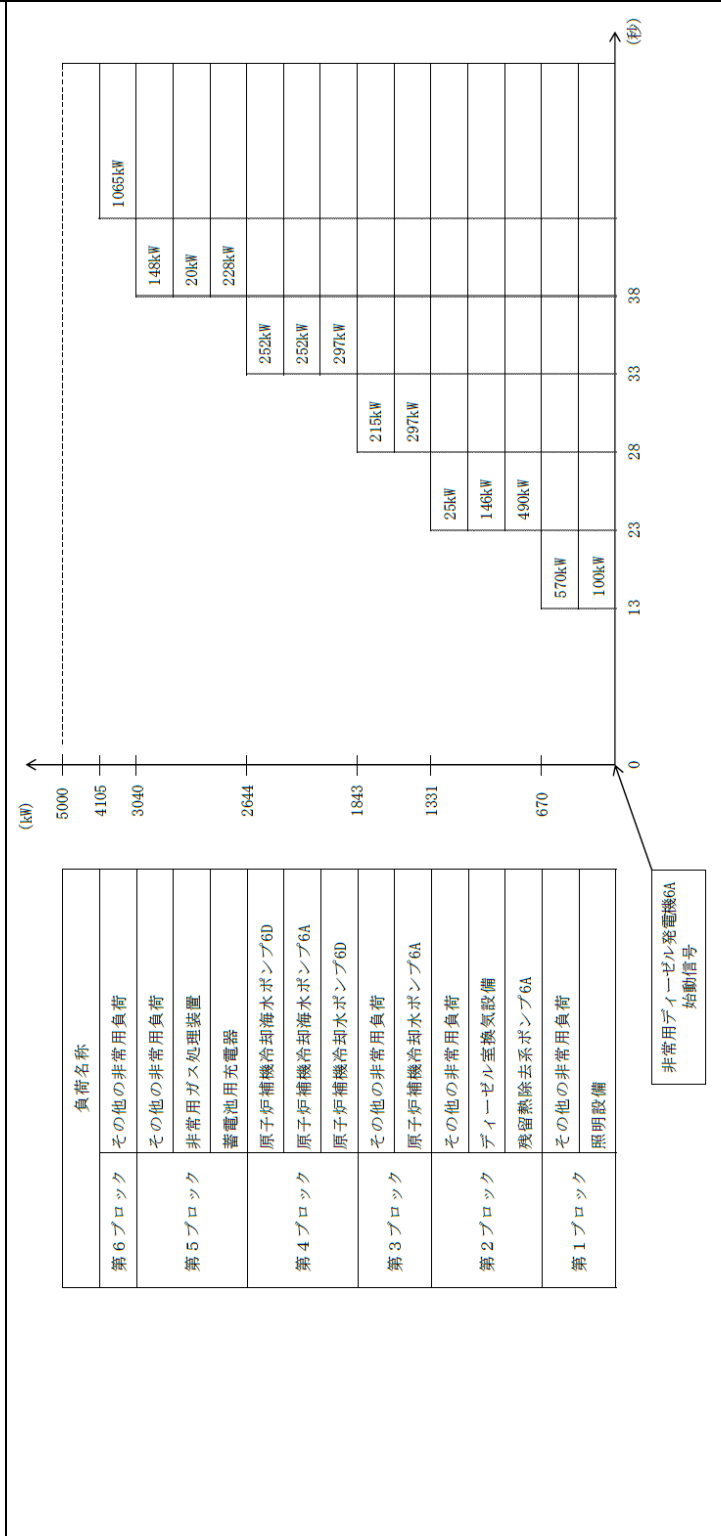


図 3-4 工学的安全施設の作動時に必要な負荷 (非常用ディーゼル発電機 6A) 積算イメージ

・設備構成の差異

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
 ■：前回提出時からの変更箇所

本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機

柏崎刈羽原子力発電所 第7号機

柏崎刈羽原子力発電所 第6号機

備考

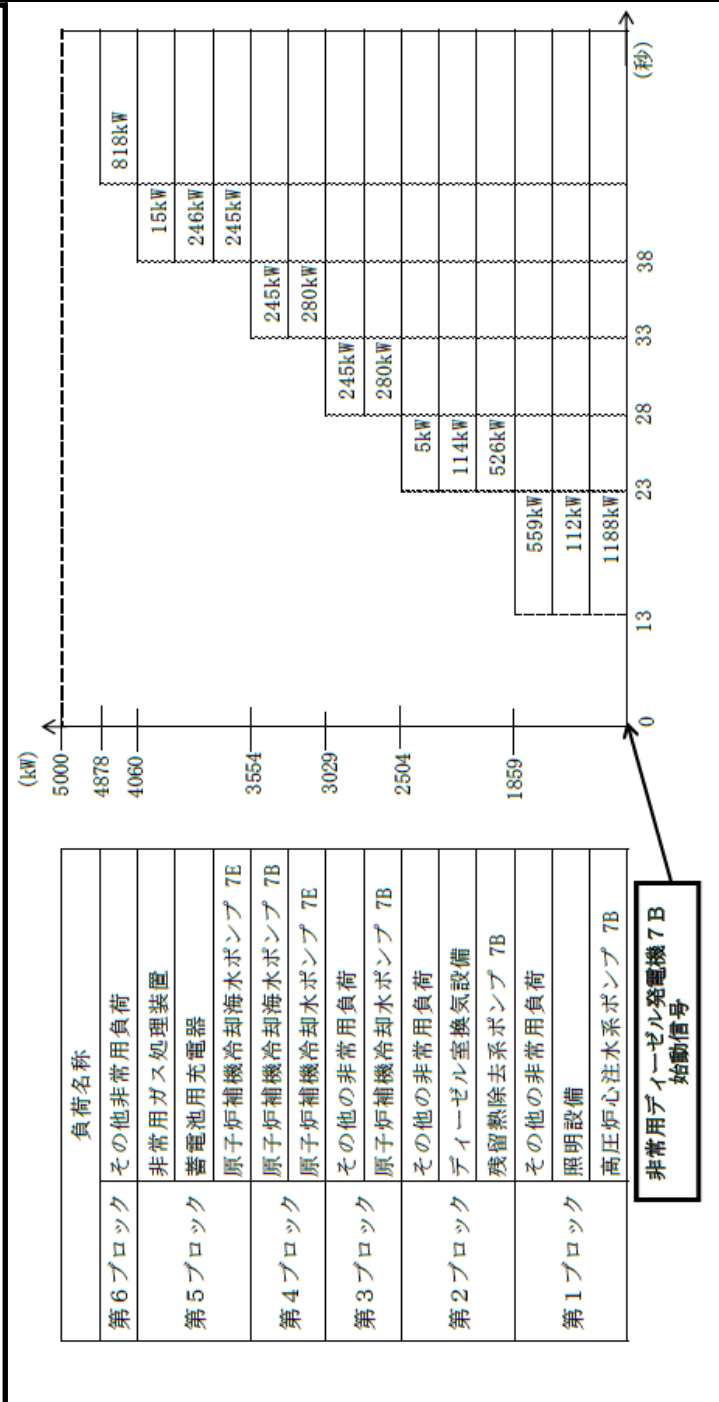


図 3-5 工学的安全施設の作動時に必要な負荷（非常用ディーゼル発電機 7B）
積算イメージ

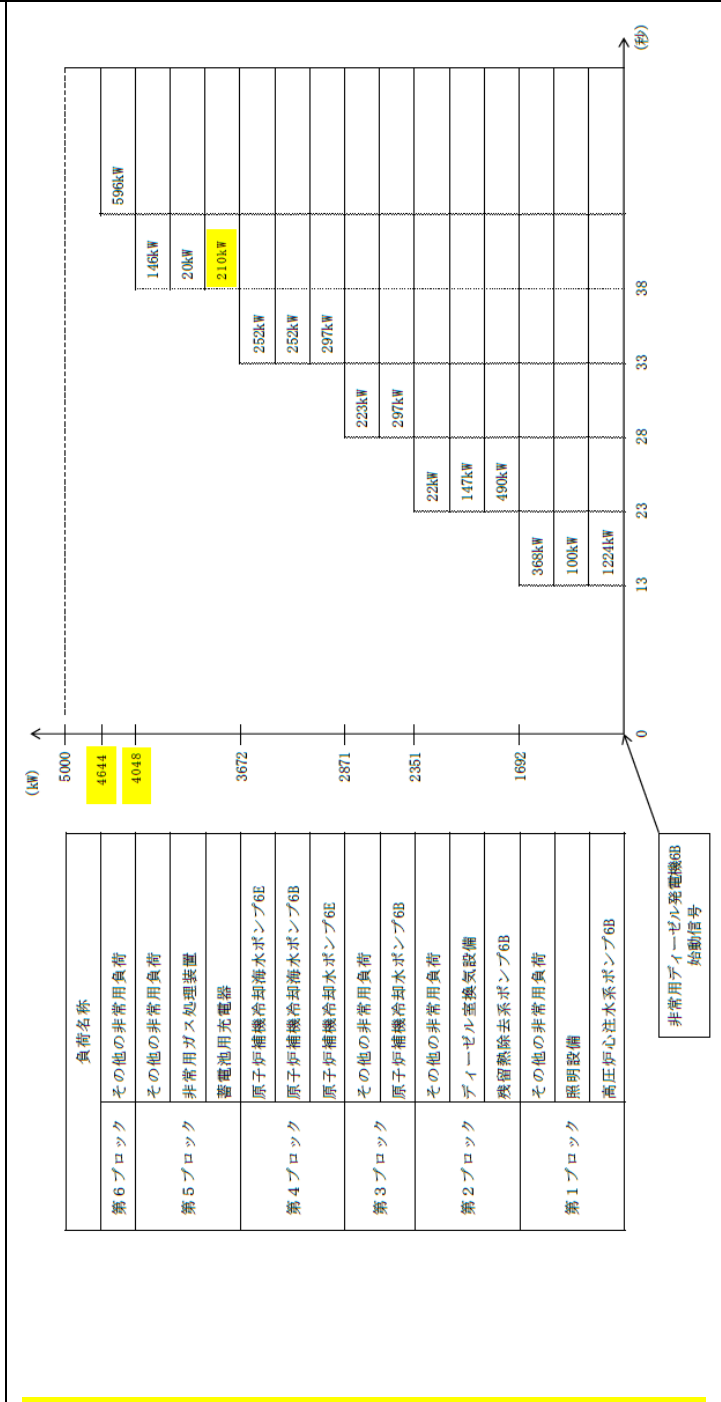


図 3-5 工学的安全施設の作動時に必要な負荷（非常用ディーゼル発電機 6B）
積算イメージ

・設備構成の差異

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
 ■：前回提出時からの変更箇所

本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機

柏崎刈羽原子力発電所 第7号機

柏崎刈羽原子力発電所 第6号機

備考

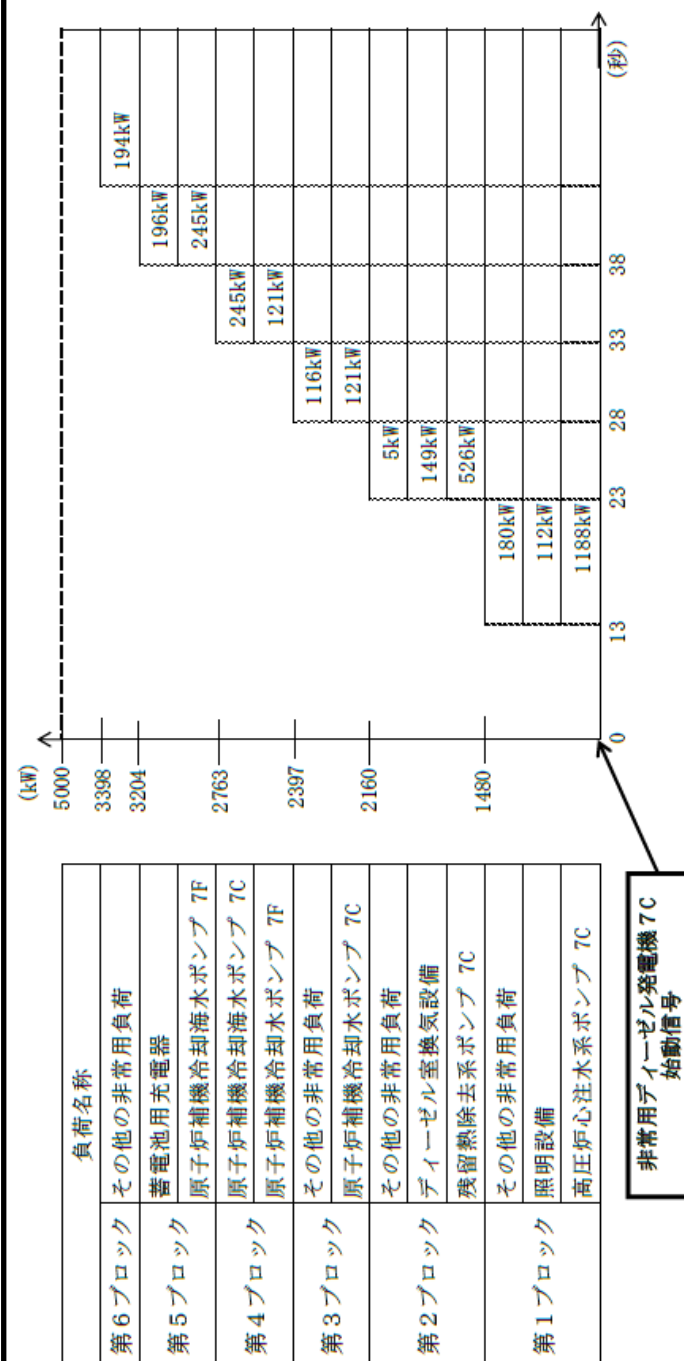


図3-6 工学的安全施設の作動時に必要な負荷（非常用ディーゼル発電機7C）
積算イメージ

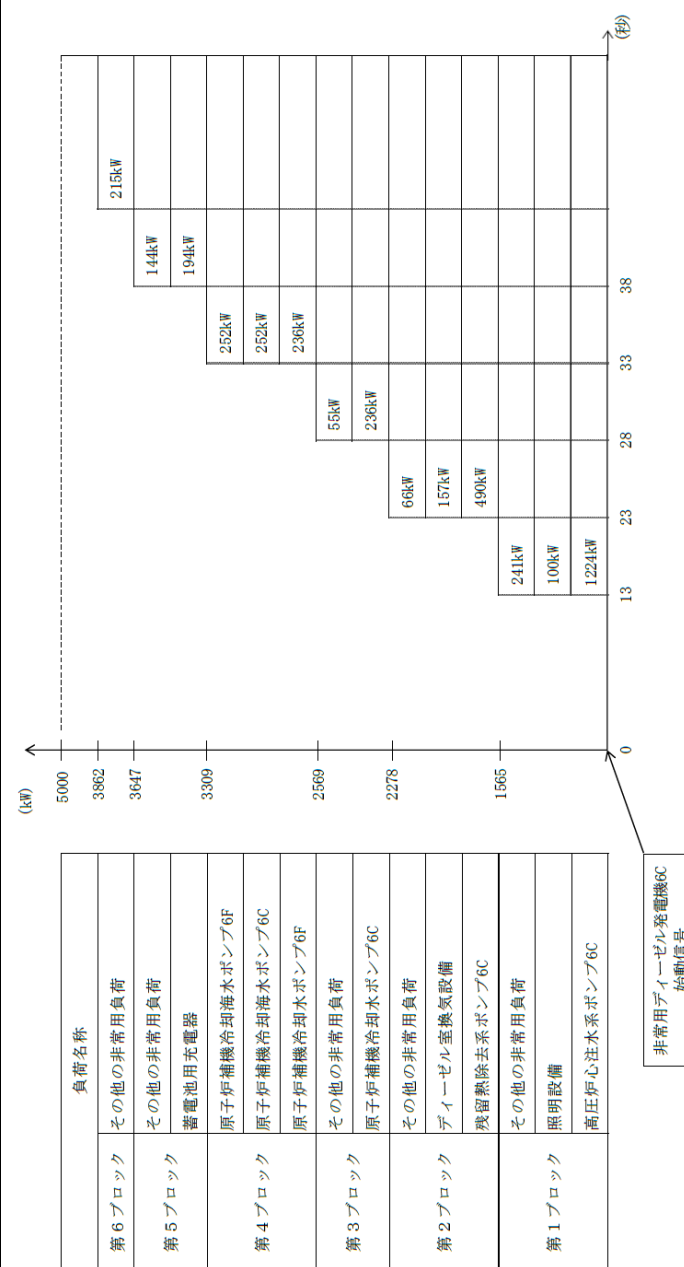



図3-6 工学的安全施設の作動時に必要な負荷（非常用ディーゼル発電機6C）
積算イメージ

・設備構成の差異

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
 黄色：前回提出時からの変更箇所

本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考
	3.1.2 重大事故等対処設備	3.1.2 重大事故等対処設備	
	<p>非常用ディーゼル発電機は、工学的安全施設及び設計基準事故に対処するための設備がその機能を確保するために十分な容量を有しているため、重大事故等時に非常用ディーゼル発電機から電力供給が可能な場合には、重大事故等時の対応に必要な設備へ電力を供給可能な設計とする。</p>	<p>非常用ディーゼル発電機は、工学的安全施設及び設計基準事故に対処するための設備がその機能を確保するために十分な容量を有しているため、重大事故等時に非常用ディーゼル発電機から電力供給が可能な場合には、重大事故等時の対応に必要な設備へ電力を供給可能な設計とする。</p>	<p>・差異無し</p>
	<p>火力省令及び原子力電技命令を準用し、「2.1.2 内燃機関」及び「2.1.3 発電機」に記載の設計とする。</p>	<p>火力省令及び原子力電技命令を準用し、「2.1.2 内燃機関」及び「2.1.3 発電機」に記載の設計とする。</p>	<p>・差異無し</p>
	<p>技術基準規則第59～64条、第66～69条、第73条、第74条及び第77条の各条文に基づく重大事故等時の対応において、非常用ディーゼル発電機から電力供給を期待する重大事故等対処設備の負荷を表3-7に示す。技術基準規則に基づき必要となる重大事故等対処設備は、各条文により異なるため、すべての機器を同時に使用することはないが、仮にすべての負荷を合計した場合の最大所要負荷は(7A:2208kW, 7B:3322kW, 7C:2591kW)である。</p>	<p>技術基準規則第59～64条、第66～69条、第73条、第74条及び第77条の各条文に基づく重大事故等時の対応において、非常用ディーゼル発電機から電力供給を期待する重大事故等対処設備の負荷を表3-7に示す。技術基準規則に基づき必要となる重大事故等対処設備は、各条文により異なるため、すべての機器を同時に使用することはないが、仮にすべての負荷を合計した場合の最大所要負荷は(6A:2280kW, 6B:3474kW, 6C:3103kW)である。</p>	<p>・設備構成の差異</p>
	<p>発電機の出力は、十分な容量が確保できるよう、5000kW の出力を有する設計とし、設定した発電機出力を発電機の効率で除すことにより、内燃機関の必要な出力を算出する。</p>	<p>発電機の出力は、十分な容量が確保できるよう、5000kW の出力を有する設計とし、設定した発電機出力を発電機の効率で除すことにより、内燃機関の必要な出力を算出する。</p>	<p>・差異無し</p>
	<p>非常用ディーゼル発電機の内燃機関の出力及び発電機の容量は、3.1.1項の「(1) 内燃機関」及び「(2) 発電機」に示す。</p>	<p>非常用ディーゼル発電機の内燃機関の出力及び発電機の容量は、3.1.1項の「(1) 内燃機関」及び「(2) 発電機」に示す。</p>	<p>・差異無し</p>

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
：前回提出時からの変更箇所

本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考																																																																																																																																										
	<p>表 3-7 非常用ディーゼル発電機の最大所要負荷リスト</p> <table border="1" data-bbox="825 390 1463 989"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備・機器名</th> <th rowspan="2">台数</th> <th colspan="3">負荷容量(kW)*1</th> <th rowspan="2">技術基準規則 適用条文</th> </tr> <tr> <th>7A</th> <th>7B</th> <th>7C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ほう酸水注入系ポンプ</td><td>2</td><td>43</td><td>43</td><td>—</td><td>第59条, 第60条, 第66条</td></tr> <tr><td>高圧炉心注水系ポンプ</td><td>2</td><td>—</td><td>1188</td><td>1188</td><td>第60条</td></tr> <tr><td>復水移送ポンプ</td><td>3</td><td>55</td><td>110</td><td>—</td><td>第62条, 第64条, 第66条</td></tr> <tr><td>残留熱除去系ポンプ</td><td>3</td><td>526</td><td>526</td><td>526</td><td>第62~64条</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水ポンプ</td><td>6</td><td>560</td><td>560</td><td>242</td><td>第62~64条</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却海水ポンプ</td><td>6</td><td>490</td><td>490</td><td>490</td><td>第62~64条</td></tr> <tr><td>非常用ガス処理装置</td><td>4</td><td>15</td><td>15</td><td>—</td><td>第74条</td></tr> <tr><td>蓄電池用充電器*2 ・ATWS 緩和設備 (代替制御棒挿入機能) ・ATWS 緩和設備 (代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能) ・代替自動減圧ロジック (代替自動減圧機能) ・計装設備</td><td>5</td><td>212</td><td>217</td><td>109</td><td>第59条, 第61条, 第67~69条, 第73条, 第77条</td></tr> <tr><td>その他非常用負荷*3 ・ATWS 緩和設備 (代替制御棒挿入機能) ・ATWS 緩和設備 (代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能) ・計装設備</td><td>—</td><td>307</td><td>173</td><td>36</td><td>第59条, 第67条, 第69条, 第73条, 第77条</td></tr> <tr><td>合計</td><td>—</td><td>2208</td><td>3322</td><td>2591</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> <p>注記*1 : 電磁弁及び電動弁は負荷容量が小さく又は動作時間が短時間であるため、負荷容量には含まない。 *2 : 各設備・機器のうち、直流で運転する負荷 *3 : 各設備・機器のうち、交流で運転する負荷</p>	設備・機器名	台数	負荷容量(kW)*1			技術基準規則 適用条文	7A	7B	7C	ほう酸水注入系ポンプ	2	43	43	—	第59条, 第60条, 第66条	高圧炉心注水系ポンプ	2	—	1188	1188	第60条	復水移送ポンプ	3	55	110	—	第62条, 第64条, 第66条	残留熱除去系ポンプ	3	526	526	526	第62~64条	原子炉補機冷却水ポンプ	6	560	560	242	第62~64条	原子炉補機冷却海水ポンプ	6	490	490	490	第62~64条	非常用ガス処理装置	4	15	15	—	第74条	蓄電池用充電器*2 ・ATWS 緩和設備 (代替制御棒挿入機能) ・ATWS 緩和設備 (代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能) ・代替自動減圧ロジック (代替自動減圧機能) ・計装設備	5	212	217	109	第59条, 第61条, 第67~69条, 第73条, 第77条	その他非常用負荷*3 ・ATWS 緩和設備 (代替制御棒挿入機能) ・ATWS 緩和設備 (代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能) ・計装設備	—	307	173	36	第59条, 第67条, 第69条, 第73条, 第77条	合計	—	2208	3322	2591	—	<p>表 3-7 非常用ディーゼル発電機の最大所要負荷リスト</p> <table border="1" data-bbox="1492 390 2131 989"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備・機器名</th> <th rowspan="2">台数</th> <th colspan="3">負荷容量(kW)*1</th> <th rowspan="2">技術基準規則 適用条文</th> </tr> <tr> <th>6A</th> <th>6B</th> <th>6C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ほう酸水注入系ポンプ</td><td>2</td><td>43</td><td>43</td><td>—</td><td>第59条, 第60条, 第66条</td></tr> <tr><td>高圧炉心注水系ポンプ</td><td>2</td><td>—</td><td>1224</td><td>1224</td><td>第60条</td></tr> <tr><td>復水移送ポンプ</td><td>3</td><td>50</td><td>100</td><td>—</td><td>第62条, 第64条, 第66条</td></tr> <tr><td>残留熱除去系ポンプ</td><td>3</td><td>490</td><td>490</td><td>490</td><td>第62~64条</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水ポンプ</td><td>6</td><td>594</td><td>594</td><td>472</td><td>第62~64条</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却海水ポンプ</td><td>6</td><td>504</td><td>504</td><td>504</td><td>第62~64条</td></tr> <tr><td>非常用ガス処理装置</td><td>6</td><td>20</td><td>20</td><td>—</td><td>第74条</td></tr> <tr><td>蓄電池用充電器*2 ・ATWS 緩和設備 (代替制御棒挿入機能) ・ATWS 緩和設備 (代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能) ・代替自動減圧ロジック (代替自動減圧機能) ・計装設備</td><td>6</td><td>244</td><td>188</td><td>94</td><td>第59条, 第61条, 第67~69条, 第73条, 第77条</td></tr> <tr><td>その他非常用負荷*3 ・ATWS 緩和設備 (代替制御棒挿入機能) ・ATWS 緩和設備 (代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能) ・計装設備</td><td>—</td><td>335</td><td>311</td><td>319</td><td>第59条, 第67条, 第69条, 第73条, 第77条</td></tr> <tr><td>合計</td><td>—</td><td>2280</td><td>3474</td><td>3103</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> <p>注記*1 : 電磁弁及び電動弁は負荷容量が小さく又は動作時間が短時間であるため、負荷容量には含まない。 *2 : 各設備・機器のうち、直流で運転する負荷 *3 : 各設備・機器のうち、交流で運転する負荷</p>	設備・機器名	台数	負荷容量(kW)*1			技術基準規則 適用条文	6A	6B	6C	ほう酸水注入系ポンプ	2	43	43	—	第59条, 第60条, 第66条	高圧炉心注水系ポンプ	2	—	1224	1224	第60条	復水移送ポンプ	3	50	100	—	第62条, 第64条, 第66条	残留熱除去系ポンプ	3	490	490	490	第62~64条	原子炉補機冷却水ポンプ	6	594	594	472	第62~64条	原子炉補機冷却海水ポンプ	6	504	504	504	第62~64条	非常用ガス処理装置	6	20	20	—	第74条	蓄電池用充電器*2 ・ATWS 緩和設備 (代替制御棒挿入機能) ・ATWS 緩和設備 (代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能) ・代替自動減圧ロジック (代替自動減圧機能) ・計装設備	6	244	188	94	第59条, 第61条, 第67~69条, 第73条, 第77条	その他非常用負荷*3 ・ATWS 緩和設備 (代替制御棒挿入機能) ・ATWS 緩和設備 (代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能) ・計装設備	—	335	311	319	第59条, 第67条, 第69条, 第73条, 第77条	合計	—	2280	3474	3103	—	<p>・設備構成の差異 (非常用ディーゼル発電機 B 系の負荷容量のうち、「その他の非常用負荷」について、動作時間が短時間である負荷として整理する考え方にメーカーの違いがあり、6号機のみ見込んである負荷があり負荷容量に差がある。 非常用ディーゼル発電機 C 系の負荷容量のうち、「その他の非常用負荷」について、動作時間が短時間である負荷として整理する考え方にメーカーの違いがあり、6号機のみ見込んである負荷がある。 また、電源供給元の系統が異なる負荷 (6号機では C 系、7号機では A 系に負荷容量を計上している負荷) があり負荷容量に差がある。)</p>
設備・機器名	台数			負荷容量(kW)*1				技術基準規則 適用条文																																																																																																																																					
		7A	7B	7C																																																																																																																																									
ほう酸水注入系ポンプ	2	43	43	—	第59条, 第60条, 第66条																																																																																																																																								
高圧炉心注水系ポンプ	2	—	1188	1188	第60条																																																																																																																																								
復水移送ポンプ	3	55	110	—	第62条, 第64条, 第66条																																																																																																																																								
残留熱除去系ポンプ	3	526	526	526	第62~64条																																																																																																																																								
原子炉補機冷却水ポンプ	6	560	560	242	第62~64条																																																																																																																																								
原子炉補機冷却海水ポンプ	6	490	490	490	第62~64条																																																																																																																																								
非常用ガス処理装置	4	15	15	—	第74条																																																																																																																																								
蓄電池用充電器*2 ・ATWS 緩和設備 (代替制御棒挿入機能) ・ATWS 緩和設備 (代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能) ・代替自動減圧ロジック (代替自動減圧機能) ・計装設備	5	212	217	109	第59条, 第61条, 第67~69条, 第73条, 第77条																																																																																																																																								
その他非常用負荷*3 ・ATWS 緩和設備 (代替制御棒挿入機能) ・ATWS 緩和設備 (代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能) ・計装設備	—	307	173	36	第59条, 第67条, 第69条, 第73条, 第77条																																																																																																																																								
合計	—	2208	3322	2591	—																																																																																																																																								
設備・機器名	台数	負荷容量(kW)*1			技術基準規則 適用条文																																																																																																																																								
		6A	6B	6C																																																																																																																																									
ほう酸水注入系ポンプ	2	43	43	—	第59条, 第60条, 第66条																																																																																																																																								
高圧炉心注水系ポンプ	2	—	1224	1224	第60条																																																																																																																																								
復水移送ポンプ	3	50	100	—	第62条, 第64条, 第66条																																																																																																																																								
残留熱除去系ポンプ	3	490	490	490	第62~64条																																																																																																																																								
原子炉補機冷却水ポンプ	6	594	594	472	第62~64条																																																																																																																																								
原子炉補機冷却海水ポンプ	6	504	504	504	第62~64条																																																																																																																																								
非常用ガス処理装置	6	20	20	—	第74条																																																																																																																																								
蓄電池用充電器*2 ・ATWS 緩和設備 (代替制御棒挿入機能) ・ATWS 緩和設備 (代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能) ・代替自動減圧ロジック (代替自動減圧機能) ・計装設備	6	244	188	94	第59条, 第61条, 第67~69条, 第73条, 第77条																																																																																																																																								
その他非常用負荷*3 ・ATWS 緩和設備 (代替制御棒挿入機能) ・ATWS 緩和設備 (代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能) ・計装設備	—	335	311	319	第59条, 第67条, 第69条, 第73条, 第77条																																																																																																																																								
合計	—	2280	3474	3103	—																																																																																																																																								
	<p>3.2 第一ガスタービン発電機</p> <p>設置(変更)許可申請書の添付書類十における事故シナリオにおいて、第一ガスタービン発電機から電力を供給する有効性評価で期待する負荷に加え、評価上期待していない不要負荷であるが、電源が供給されるため発電機の負荷として考慮する必要がある負荷を抽出した結果、所要負荷が最大となる事故シナリオは、「崩壊熱除去機能喪失(取水機能が喪失した場合)」であり、</p>	<p>3.2 第一ガスタービン発電機</p> <p>設置(変更)許可申請書の添付書類十における事故シナリオにおいて、第一ガスタービン発電機から電力を供給する有効性評価で期待する負荷に加え、評価上期待していない不要負荷であるが、電源が供給されるため発電機の負荷として考慮する必要がある負荷を抽出した結果、所要負荷が最大となる事故シナリオは、「崩壊熱除去機能喪失(取水機能が喪失した場合)」であり、</p>																																																																																																																																											

青字 : 柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
 : 前回提出時からの変更箇所

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考
	負荷積算イメージを図3-7に示す。最大負荷は、 <u>1989kW</u> であり、最大所要負荷リストを表3-8に示す。	負荷積算イメージを図3-7に示す。最大負荷は、 <u>1965kW</u> であり、最大所要負荷リストを表3-8に示す。	<ul style="list-style-type: none"> 設備構成の差異
	発電機の出力は、十分な容量が確保できるよう、3600kW <input type="text"/> の出力を有する設計とし、設定した発電機出力を発電機の効率で除すことにより、ガスタービンの必要な出力を算出する。	発電機の出力は、十分な容量が確保できるよう、3600kW <input type="text"/> の出力を有する設計とし、設定した発電機出力を発電機の効率で除すことにより、ガスタービンの必要な出力を算出する。	<ul style="list-style-type: none"> 差異無し
	最大所要負荷に基づき、ガスタービンの出力及び発電機の容量を以下のとおりとする。	最大所要負荷に基づき、ガスタービンの出力及び発電機の容量を以下のとおりとする。	<ul style="list-style-type: none"> 差異無し
	<u>また、火力省令及び原子力電技命令を準用し、「2.1.1 ガスタービン」及び「2.1.3 発電機」に記載の設計とする。</u> <input type="text"/>	<input type="text"/>	<ul style="list-style-type: none"> 表現上の差異（※1と同様）
	3.2.1 ガスタービン	3.2.1 ガスタービン	
	発電機の出力3600kWから、ガスタービンの出力は次式により <input type="text"/> kW とする。	発電機の出力3600kWから、ガスタービンの出力は次式により <input type="text"/> kW とする。	<ul style="list-style-type: none"> 差異無し
	$P_E \geq P \div \eta = 3600 \div \text{} = \text{}$ P _E : ガスタービンの出力(kW) P : 発電機の定格出力(kW) = 3600 η : 発電機の効率 = <input type="text"/>	$P_E \geq P \div \eta = 3600 \div \text{} = \text{}$ P _E : ガスタービンの出力(kW) P : 発電機の定格出力(kW) = 3600 η : 発電機の効率 = <input type="text"/>	<ul style="list-style-type: none"> 差異無し

青字 : 柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
 : 前回提出時からの変更箇所

本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考																																																																												
	3.2.2 発電機	3.2.2 発電機																																																																													
	発電機の容量は、次式により 4500kVA とする。	発電機の容量は、次式により 4500kVA とする。	・差異無し																																																																												
	$Q = P \div p f = 3600 \div 0.8 = 4500$ Q : 発電機の容量(kVA) P : 発電機の定格出力(kW) = 3600 p f : 力率 = 0.8	$Q = P \div p f = 3600 \div 0.8 = 4500$ Q : 発電機の容量(kVA) P : 発電機の定格出力(kW) = 3600 p f : 力率 = 0.8	・差異無し																																																																												
	<p>表3-8 第一ガスタービン発電機の最大所要負荷リスト</p> <table border="1" data-bbox="834 814 1427 1373"> <thead> <tr> <th>負荷名称</th> <th>負荷容量(kW)*1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>蓄電池用充電器</td><td>320</td></tr> <tr><td>交流 120V 中央制御室計測用主母線盤 7A, 7B</td><td>100</td></tr> <tr><td>照明設備</td><td>112</td></tr> <tr><td>中央制御室可搬型陽圧化空調機</td><td>4</td></tr> <tr><td>復水移送ポンプ B</td><td>55</td></tr> <tr><td>() 内は起動時</td><td>(112)</td></tr> <tr><td>復水移送ポンプ C</td><td>55</td></tr> <tr><td>残留熱除去系ポンプ B</td><td>526</td></tr> <tr><td>() 内は起動時</td><td>(917)</td></tr> <tr><td>燃料プール冷却浄化ポンプ B</td><td>87</td></tr> <tr><td>() 内は起動時</td><td>(144)</td></tr> <tr><td>非常用ガス処理装置</td><td>15</td></tr> <tr><td>() 内は起動時</td><td>(32)</td></tr> <tr><td>その他必要な負荷*2</td><td>180</td></tr> <tr><td>() 内は起動時</td><td>(184)</td></tr> <tr><td>その他不要な負荷*3</td><td>231</td></tr> <tr><td>合計 連続最大容量</td><td>1685</td></tr> <tr><td>(最大容量)</td><td>(1989)</td></tr> </tbody> </table> <p>注記*1 : 電磁弁及び電動弁は負荷容量が小さく又は動作時間が短時間であるため、負荷容量には含めない。 *2 : その他必要な負荷は、空調設備、計装設備、火災防護設備である。 *3 : その他不要な負荷は、中央制御室外原子炉停止制御盤、FCS 除湿ヒータ、SLC 貯蔵タンク加熱ヒータ、HECW 冷凍機制御盤、交流 120V 原子炉系計測用主母線盤、薬液注入タンクヒータ、照明設備である。</p>	負荷名称	負荷容量(kW)*1	蓄電池用充電器	320	交流 120V 中央制御室計測用主母線盤 7A, 7B	100	照明設備	112	中央制御室可搬型陽圧化空調機	4	復水移送ポンプ B	55	() 内は起動時	(112)	復水移送ポンプ C	55	残留熱除去系ポンプ B	526	() 内は起動時	(917)	燃料プール冷却浄化ポンプ B	87	() 内は起動時	(144)	非常用ガス処理装置	15	() 内は起動時	(32)	その他必要な負荷*2	180	() 内は起動時	(184)	その他不要な負荷*3	231	合計 連続最大容量	1685	(最大容量)	(1989)	<p>表3-8 第一ガスタービン発電機の最大所要負荷リスト</p> <table border="1" data-bbox="1501 814 2095 1373"> <thead> <tr> <th>負荷名称</th> <th>負荷容量(kW)*1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>蓄電池用充電器</td><td>283</td></tr> <tr><td>交流 120V 中央制御室計測用主母線盤 6A</td><td>7</td></tr> <tr><td>照明設備</td><td>112</td></tr> <tr><td>中央制御室可搬型陽圧化空調機</td><td>4</td></tr> <tr><td>復水移送ポンプ B</td><td>50</td></tr> <tr><td>() 内は起動時</td><td>(105)</td></tr> <tr><td>復水移送ポンプ C</td><td>50</td></tr> <tr><td>残留熱除去系ポンプ B</td><td>490</td></tr> <tr><td>() 内は起動時</td><td>(883)</td></tr> <tr><td>燃料プール冷却浄化ポンプ B</td><td>84</td></tr> <tr><td>() 内は起動時</td><td>(168)</td></tr> <tr><td>非常用ガス処理装置</td><td>20</td></tr> <tr><td>() 内は起動時</td><td>(29)</td></tr> <tr><td>その他必要な負荷*2</td><td>148</td></tr> <tr><td>() 内は起動時</td><td>(160)</td></tr> <tr><td>その他不要な負荷*3</td><td>408</td></tr> <tr><td>合計 連続最大容量</td><td>1656</td></tr> <tr><td>(最大容量)</td><td>(1965)</td></tr> </tbody> </table> <p>注記*1 : 電磁弁及び電動弁は負荷容量が小さく又は動作時間が短時間であるため、負荷容量には含めない。 *2 : その他必要な負荷は、空調設備、計装設備、火災防護設備である。 *3 : その他不要な負荷は、中央制御室外原子炉停止制御盤、FCS 除湿ヒータ、SLC 貯蔵タンク加熱ヒータ、HECW 冷凍機制御盤、交流 120V 原子炉系計測用主母線盤、薬液注入タンクヒータ、照明設備である。</p>	負荷名称	負荷容量(kW)*1	蓄電池用充電器	283	交流 120V 中央制御室計測用主母線盤 6A	7	照明設備	112	中央制御室可搬型陽圧化空調機	4	復水移送ポンプ B	50	() 内は起動時	(105)	復水移送ポンプ C	50	残留熱除去系ポンプ B	490	() 内は起動時	(883)	燃料プール冷却浄化ポンプ B	84	() 内は起動時	(168)	非常用ガス処理装置	20	() 内は起動時	(29)	その他必要な負荷*2	148	() 内は起動時	(160)	その他不要な負荷*3	408	合計 連続最大容量	1656	(最大容量)	(1965)	<p>・設備構成の差異 (「交流 120V 中央制御室計測用主母線盤」について、7号機では盤の定格容量を負荷容量として計上しているが、6号機では盤に接続されている負荷のうち、給電が必要な負荷の容量のみを計上しているため、負荷容量に差がある。なお、給電が必要な負荷以外の負荷については「その他不要な負荷」に計上している。そのため、6号機と7号機で「その他不要な負荷」の負荷容量に差がある。)</p>
負荷名称	負荷容量(kW)*1																																																																														
蓄電池用充電器	320																																																																														
交流 120V 中央制御室計測用主母線盤 7A, 7B	100																																																																														
照明設備	112																																																																														
中央制御室可搬型陽圧化空調機	4																																																																														
復水移送ポンプ B	55																																																																														
() 内は起動時	(112)																																																																														
復水移送ポンプ C	55																																																																														
残留熱除去系ポンプ B	526																																																																														
() 内は起動時	(917)																																																																														
燃料プール冷却浄化ポンプ B	87																																																																														
() 内は起動時	(144)																																																																														
非常用ガス処理装置	15																																																																														
() 内は起動時	(32)																																																																														
その他必要な負荷*2	180																																																																														
() 内は起動時	(184)																																																																														
その他不要な負荷*3	231																																																																														
合計 連続最大容量	1685																																																																														
(最大容量)	(1989)																																																																														
負荷名称	負荷容量(kW)*1																																																																														
蓄電池用充電器	283																																																																														
交流 120V 中央制御室計測用主母線盤 6A	7																																																																														
照明設備	112																																																																														
中央制御室可搬型陽圧化空調機	4																																																																														
復水移送ポンプ B	50																																																																														
() 内は起動時	(105)																																																																														
復水移送ポンプ C	50																																																																														
残留熱除去系ポンプ B	490																																																																														
() 内は起動時	(883)																																																																														
燃料プール冷却浄化ポンプ B	84																																																																														
() 内は起動時	(168)																																																																														
非常用ガス処理装置	20																																																																														
() 内は起動時	(29)																																																																														
その他必要な負荷*2	148																																																																														
() 内は起動時	(160)																																																																														
その他不要な負荷*3	408																																																																														
合計 連続最大容量	1656																																																																														
(最大容量)	(1965)																																																																														

青字 : 柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
 ■ : 前回提出時からの変更箇所


本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考
	<p>図3-7 重大事故等時に想定される事故シーケンスのうち最大負荷「崩壊熱除去機能喪失（取水機能が喪失した場合）」積算イメージ</p>	<p>図3-7 重大事故等時に想定される事故シーケンスのうち最大負荷「崩壊熱除去機能喪失（取水機能が喪失した場合）」積算イメージ</p>	<p>・設備構成の差異</p>

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
 黄色：前回提出時からの変更箇所


本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考
	3.3 モニタリングポスト用発電機		
	<p>最大所要負荷は、重大事故等発生時にモニタリングポストへの給電に必要な負荷の22.03kWである。負荷リストを表3-9に示す。</p>		<p>・表現上の差異（※1と同様）</p>
	<p>発電機の出力は、十分な容量が確保できるよう、32kWの出力を有する設計とし、設定した発電機出力を発電機の効率で除すことにより、内燃機関の必要な出力を算出する。所要負荷に基づき、モニタリングポスト用発電機内燃機関の出力及び発電機の容量は以下のとおりとする。</p>		<p>・表現上の差異（※1と同様）</p>
	<p>また、火力省令及び原子力電技命令を準用し、「2.1.2 内燃機関」及び「2.1.3 発電機」に記載の設計とする。</p>		<p>・表現上の差異（※1と同様）</p>
	3.3.1 内燃機関		
	<p>発電機の出力32kWから、内燃機関の出力は次式により39kW以上の41kWとする。</p>		<p>・表現上の差異（※1と同様）</p>
	<p>$P_E \geq P \div \eta = 32 \div 0.823 \approx 39$ P_E : 内燃機関の出力(kW) P : 発電機の定格出力(kW) = 32 η : 発電機の効率 = 0.823</p>		<p>・表現上の差異（※1と同様）</p>
	3.3.2 発電機		
	<p>発電機の容量は、次式により40kVAとする。</p>		<p>・表現上の差異（※1と同様）</p>
<p>$Q = P \div p f = 32 \div 0.8 = 40kVA$ Q : 発電機の容量(kVA) P : 発電機の定格出力(kW) = 32 $p f$: 力率 = 0.8</p>		<p>・表現上の差異（※1と同様）</p>	

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
：前回提出時からの変更箇所

本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考										
	<p>表3-9 モニタリングポスト用発電機の最大所要負荷リスト*1</p> <table border="1" data-bbox="834 405 1424 552"> <thead> <tr> <th>負荷名称</th> <th>負荷容量(kW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>モニタリングポスト用測定部</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>通信設備</td> <td>0.64</td> </tr> <tr> <td>その他負荷*2</td> <td>20.79</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>22.03</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記*1：モニタリングポスト用発電機は3台設置されており、発電機1台あたりの負荷容量の合計が最大となるモニタリングポスト8周辺エリアに設置しているモニタリングポスト用発電機の負荷リストを示す。 *2：その他負荷は、エアコン、照明設備、ダストサンプラ、気象観測設備である。</p>	負荷名称	負荷容量(kW)	モニタリングポスト用測定部	0.6	通信設備	0.64	その他負荷*2	20.79	合計	22.03		<ul style="list-style-type: none"> ・表現上の差異（※1と同様）
負荷名称	負荷容量(kW)												
モニタリングポスト用測定部	0.6												
通信設備	0.64												
その他負荷*2	20.79												
合計	22.03												
	3.4 可搬型の非常用発電装置	3.3 可搬型の非常用発電装置											
	3.4.1 電源車	3.3.1 電源車											
	<p>電源車は、設計基準事故対処設備の交流電源が喪失（全交流動力電源喪失）した場合に、必要な設備に電力を供給できる設計とする。また、設計基準事故対処設備の交流電源及び直流電源が喪失した場合に、AM用直流125V充電器と組み合わせて使用することで、重大事故等時の対応に必要な直流設備に電力を供給できる設計とする。電源車の容量は、表3-10、図3-8に示すメタルクラッド開閉装置7C及びメタルクラッド開閉装置7D又はAM用MCCへの給電時の負荷(795kW)、表3-11に示す熱交換器ユニット(221kW)への給電時の負荷*、直流母線への給電時の負荷(AM用直流125V充電器へ給電するため表3-10に包含される)に対し、十分な容量を確保できるよう、800kW(400kW×2台)の出力を有する設計とし、設定した発電機出力を発電機の効率で除することにより、内燃機関の必要な出力を算出する。</p>	<p>電源車は、設計基準事故対処設備の交流電源が喪失（全交流動力電源喪失）した場合に、必要な設備に電力を供給できる設計とする。また、設計基準事故対処設備の交流電源及び直流電源が喪失した場合に、AM用直流125V充電器と組み合わせて使用することで、重大事故等時の対応に必要な直流設備に電力を供給できる設計とする。電源車の容量は、表3-9、図3-8に示すメタルクラッド開閉装置6C及びメタルクラッド開閉装置6D又はAM用MCCへの給電時の負荷(710kW)、表3-10に示す熱交換器ユニット(221kW)への給電時の負荷*、直流母線への給電時の負荷(AM用直流125V充電器へ給電するため表3-9に包含される)に対し、十分な容量を確保できるよう、800kW(400kW×2台)の出力を有する設計とし、設定した発電機出力を発電機の効率で除することにより、内燃機関の必要な出力を算出する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表番号の差異 ・設備構成の差異 										
	電源車用内燃機関の出力及び発電機の容量を以下のとおりとする。	電源車用内燃機関の出力及び発電機の容量を以下のとおりとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・差異無し 										
	<p>なお、可搬形発電設備技術基準を準用し、「2.2 可搬型の非常用発電装置の出力に関する設計方針」に記載の設計とする。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・表現上の差異（※1と同様） 										

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
：前回提出時からの変更箇所


本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考
	注記* : 電源車は2台を使用して熱交換器ユニット1台へ給電を行い、熱交換器ユニットへの給電と他の負荷への給電は同時に行わない。	注記* : 電源車は2台を使用して熱交換器ユニット1台へ給電を行い、熱交換器ユニットへの給電と他の負荷への給電は同時に行わない。	・差異無し
	(1) 内燃機関	(1) 内燃機関	
	発電機の出力800kWから、内燃機関の出力は次式により <input type="text"/> 以上の946kW (473kW×2台) とする。	発電機の出力800kWから、内燃機関の出力は次式により <input type="text"/> 以上の946kW (473kW×2台) とする。	・差異無し
	$P_E \geq P \div \eta = 800 \div \frac{\text{}}{\text{}}$ P _E : 内燃機関の出力(kW) P : 発電機の定格出力(kW) = 800 η : 発電機の効率 = <input type="text"/>	$P_E \geq P \div \eta = 800 \div \frac{\text{}}{\text{}}$ P _E : 内燃機関の出力(kW) P : 発電機の定格出力(kW) = 800 η : 発電機の効率 = <input type="text"/>	・差異無し
	(2) 発電機	(2) 発電機	
	発電機の容量は、次式により1000kVA (500kVA×2台) とする。	発電機の容量は、次式により1000kVA (500kVA×2台) とする。	・差異無し
	$Q = P \div p f = 800 \div 0.8 = 1000$ Q : 発電機の容量(kVA) P : 発電機の定格出力(kW) = 800 p f : 力率 = 0.8	$Q = P \div p f = 800 \div 0.8 = 1000$ Q : 発電機の容量(kVA) P : 発電機の定格出力(kW) = 800 p f : 力率 = 0.8	・差異無し

青字 : 柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
 : 前回提出時からの変更箇所

本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考																																				
	<p data-bbox="825 289 1463 363">表3-10 <u>メタルクラッド開閉装置7C及びメタルクラッド開閉装置7D又はAM用MCCへの給電時の負荷</u></p> <table border="1" data-bbox="834 394 1454 737"> <thead> <tr> <th>負荷名称</th> <th>負荷容量(kW)*1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蓄電池用充電器</td> <td>321</td> </tr> <tr> <td>交流120V中央制御室計測用主母線盤7A, 7B*2</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>照明設備</td> <td>112</td> </tr> <tr> <td>復水移送ポンプB ()内は起動時</td> <td>55 (112)</td> </tr> <tr> <td>復水移送ポンプC</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>燃料プール冷却浄化ポンプB ()内は起動時</td> <td>87 (144)</td> </tr> <tr> <td>その他必要な負荷*3</td> <td>158</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>795</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="834 745 1463 856">注記*1 : 電磁弁及び電動弁は負荷容量が小さく又は動作時間が短時間であるため、負荷容量には含めない。 *2 : 必要な負荷は、計装設備である。 *3 : その他必要な負荷は、空調設備、計装設備、火災防護設備である。</p>	負荷名称	負荷容量(kW)*1	蓄電池用充電器	321	交流120V中央制御室計測用主母線盤7A, 7B*2	7	照明設備	112	復水移送ポンプB ()内は起動時	55 (112)	復水移送ポンプC	55	燃料プール冷却浄化ポンプB ()内は起動時	87 (144)	その他必要な負荷*3	158	合計	795	<p data-bbox="1498 289 2136 363">表3-9 <u>メタルクラッド開閉装置6C及びメタルクラッド開閉装置6D又はAM用MCCへの給電時の負荷</u></p> <table border="1" data-bbox="1507 384 2122 726"> <thead> <tr> <th>負荷名称</th> <th>負荷容量(kW)*1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蓄電池用充電器</td> <td>283</td> </tr> <tr> <td>交流120V中央制御室計測用主母線盤6A*2</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>照明設備</td> <td>112</td> </tr> <tr> <td>復水移送ポンプB ()内は起動時</td> <td>46 (95)</td> </tr> <tr> <td>復水移送ポンプC</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>燃料プール冷却浄化ポンプB ()内は起動時</td> <td>76 (158)</td> </tr> <tr> <td>その他必要な負荷*3</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>710</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1507 735 2136 846">注記*1 : 電磁弁及び電動弁は負荷容量が小さく又は動作時間が短時間であるため、負荷容量には含めない。 *2 : 必要な負荷は、計装設備である。 *3 : その他必要な負荷は、空調設備、計装設備、火災防護設備である。</p>	負荷名称	負荷容量(kW)*1	蓄電池用充電器	283	交流120V中央制御室計測用主母線盤6A*2	7	照明設備	112	復水移送ポンプB ()内は起動時	46 (95)	復水移送ポンプC	46	燃料プール冷却浄化ポンプB ()内は起動時	76 (158)	その他必要な負荷*3	140	合計	710	<p data-bbox="2172 289 2377 363">・表番号の差異 ・設備構成の差異</p>
負荷名称	負荷容量(kW)*1																																						
蓄電池用充電器	321																																						
交流120V中央制御室計測用主母線盤7A, 7B*2	7																																						
照明設備	112																																						
復水移送ポンプB ()内は起動時	55 (112)																																						
復水移送ポンプC	55																																						
燃料プール冷却浄化ポンプB ()内は起動時	87 (144)																																						
その他必要な負荷*3	158																																						
合計	795																																						
負荷名称	負荷容量(kW)*1																																						
蓄電池用充電器	283																																						
交流120V中央制御室計測用主母線盤6A*2	7																																						
照明設備	112																																						
復水移送ポンプB ()内は起動時	46 (95)																																						
復水移送ポンプC	46																																						
燃料プール冷却浄化ポンプB ()内は起動時	76 (158)																																						
その他必要な負荷*3	140																																						
合計	710																																						

青字 : 柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
 : 前回提出時からの変更箇所


本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考
	<p>図 3-8 <u>メタルクラッド開閉装置 7C 及びメタルクラッド開閉装置 7D 又は AM 用 MCC への給電時の負荷積算イメージ</u></p>	<p>図 3-8 <u>メタルクラッド開閉装置 6C 及びメタルクラッド開閉装置 6D 又は AM 用 MCC への給電時の負荷積算イメージ</u></p>	<p>・設備構成の差異</p>

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
 黄色：前回提出時からの変更箇所


本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考																												
	<p><u>表3-11</u> 熱交換器ユニットへの給電時の負荷</p> <table border="1" data-bbox="834 327 1466 585"> <thead> <tr> <th rowspan="2">負荷名称</th> <th colspan="2">負荷容量(kW)</th> </tr> <tr> <th>P27-D2000 P27-D3000 P27-D4000</th> <th>P27-D1000 P27-D5000</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td>220 (110kW×2台)</td> <td>210</td> </tr> <tr> <td>制御電源</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>221</td> <td>211</td> </tr> </tbody> </table>	負荷名称	負荷容量(kW)		P27-D2000 P27-D3000 P27-D4000	P27-D1000 P27-D5000	代替原子炉補機冷却水ポンプ	220 (110kW×2台)	210	制御電源	1	1	合計	221	211	<p><u>表3-10</u> 熱交換器ユニットへの給電時の負荷</p> <table border="1" data-bbox="1495 327 2128 585"> <thead> <tr> <th rowspan="2">負荷名称</th> <th colspan="2">負荷容量(kW)</th> </tr> <tr> <th>P27-D2000 P27-D3000 P27-D4000</th> <th>P27-D1000 P27-D5000</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td>220 (110kW×2台)</td> <td>210</td> </tr> <tr> <td>制御電源</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>221</td> <td>211</td> </tr> </tbody> </table>	負荷名称	負荷容量(kW)		P27-D2000 P27-D3000 P27-D4000	P27-D1000 P27-D5000	代替原子炉補機冷却水ポンプ	220 (110kW×2台)	210	制御電源	1	1	合計	221	211	<p>・表番号の差異</p>
負荷名称	負荷容量(kW)																														
	P27-D2000 P27-D3000 P27-D4000	P27-D1000 P27-D5000																													
代替原子炉補機冷却水ポンプ	220 (110kW×2台)	210																													
制御電源	1	1																													
合計	221	211																													
負荷名称	負荷容量(kW)																														
	P27-D2000 P27-D3000 P27-D4000	P27-D1000 P27-D5000																													
代替原子炉補機冷却水ポンプ	220 (110kW×2台)	210																													
制御電源	1	1																													
合計	221	211																													
	<p><u>3.4.2 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備</u></p>																														
	<p><u>最大所要負荷は、重大事故等発生時に5号機原子炉建屋内緊急時対策所で要求される負荷の57.02kWである。負荷リストを表3-12に示す。</u></p>		<p>・表現上の差異（※1と同様）</p>																												
	<p><u>発電機の出力は、十分な容量が確保できるよう、160kWの出力を有する設計とし、設定した発電機出力を発電機の効率で除すことにより、内燃機関の必要な出力を算出する。</u></p>		<p>・表現上の差異（※1と同様）</p>																												
	<p><u>最大所要負荷に基づき、内燃機関の出力及び発電機の容量を以下のとおりとする。</u></p>		<p>・表現上の差異（※1と同様）</p>																												
	<p><u>また、可搬形発電設備技術基準を準用し、「2.2 可搬型の非常用発電装置の出力に関する設計方針」に記載の設計とする。</u></p>		<p>・表現上の差異（※1と同様）</p>																												
	<p><u>(1) 内燃機関</u></p> <p><u>発電機の出力160kWから、内燃機関の出力は次式により203kW以上とする。</u></p>		<p>・表現上の差異（※1と同様）</p>																												


青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
：前回提出時からの変更箇所

本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考												
	$P_E \geq P \div \eta = 160 \div 0.788 \approx 203$ $P_E : \text{内燃機関の出力 (kW)}$ $P : \text{発電機の定格出力 (kW) = 160}$ $\eta : \text{発電機の効率} = 0.788$		<ul style="list-style-type: none"> ・表現上の差異 (※1と同様) 												
	(2) 発電機														
	$Q = P \div \text{p f} = 160 \div 0.80 = 200$ $Q : \text{発電機の容量 (kVA)}$ $P : \text{発電機の定格出力 (kW) = 160}$ $\text{p f} : \text{力率} = 0.80$		<ul style="list-style-type: none"> ・表現上の差異 (※1と同様) 												
	<p>表 3-12 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備の負荷リスト</p> <table border="1" data-bbox="825 1045 1454 1213"> <thead> <tr> <th>負荷</th> <th>負荷容量 (kW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5号機原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 二酸化炭素吸収装置</td> <td>5.49</td> </tr> <tr> <td>照明設備 (コンセント・火災感知器等)</td> <td>23.45</td> </tr> <tr> <td>安全パラメータ表示システム (SPDS) 通信連絡設備等</td> <td>19.41</td> </tr> <tr> <td>放射線管理設備*</td> <td>8.67</td> </tr> <tr> <td>負荷総合計</td> <td>57.02</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記*: 5号機原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 可搬型陽圧化空調機 (ファン) 1個, 5号機原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 可搬型陽圧化空調機 (ファン) 2個 及び 5号機原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 可搬型外気取入送風機 2個 (計 1.85kW) を含む。</p>	負荷	負荷容量 (kW)	5号機原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 二酸化炭素吸収装置	5.49	照明設備 (コンセント・火災感知器等)	23.45	安全パラメータ表示システム (SPDS) 通信連絡設備等	19.41	放射線管理設備*	8.67	負荷総合計	57.02		<ul style="list-style-type: none"> ・表現上の差異 (※1と同様)
負荷	負荷容量 (kW)														
5号機原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 二酸化炭素吸収装置	5.49														
照明設備 (コンセント・火災感知器等)	23.45														
安全パラメータ表示システム (SPDS) 通信連絡設備等	19.41														
放射線管理設備*	8.67														
負荷総合計	57.02														
	3.4.3 可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備														
	$\text{可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備の最大所要負荷は、可搬型窒素供給装置 1 台運転時の 49.5kW である。}$		<ul style="list-style-type: none"> ・表現上の差異 (※1と同様) 												
	$\text{発電機の出力は、十分な容量が確保できるように、80kW の出力を有する設計とし、設定した発電機出力を発電機の効率で除すことにより、内燃機関の必要な出力を算出する。}$		<ul style="list-style-type: none"> ・表現上の差異 (※1と同様) 												

青字 : 柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
 : 前回提出時からの変更箇所

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考
	<u>最大所要負荷に基づき、内燃機関の出力及び発電機の容量を以下のとおりとする。</u>		<ul style="list-style-type: none"> ・表現上の差異（※1と同様）
	<u>なお、可搬形発電設備技術基準を準用し、「2.2 可搬型の非常用発電装置の出力に関する設計方針」に記載の設計とする。</u>		<ul style="list-style-type: none"> ・表現上の差異（※1と同様）
	(1) <u>内燃機関</u>		
	<u>発電機の出力80kWから、内燃機関の出力は次式により89.9kW以上の96.3kWとする。</u>		<ul style="list-style-type: none"> ・表現上の差異（※1と同様）
	$P_E \geq P \div \eta = 80 \div 0.89 \approx 89.9$ <u>P_E：内燃機関の出力</u> <u>P：発電機の定格出力(kW) = 80</u> <u>η：発電機の効率 = 0.89</u>		<ul style="list-style-type: none"> ・表現上の差異（※1と同様）
	(2) <u>発電機</u>		
	<u>発電機の容量は、次式により100kVAとする。</u>		<ul style="list-style-type: none"> ・表現上の差異（※1と同様）
	$Q = P \div p f = 80 \div 0.80 = 100$ <u>Q：発電機の容量(kVA)</u> <u>P：発電機の定格出力(kW) = 80</u> <u>$p f$：力率 = 0.80</u>		<ul style="list-style-type: none"> ・表現上の差異（※1と同様）

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
：前回提出時からの変更箇所

本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。